

営繕積算システム RIBC2

内訳書作成システム Ver.13

リファレンスマニュアル

お問い合わせ先

■ヘルプデスク（システムの内容、操作方法についてのお問い合わせ）

9:00～12:00 および 13:00～17:30（土日祝祭日、指定の休業日を除く）

TEL 03-5425-2518

E-Mail ribchelp@ribc.or.jp

一般財団法人 建築コスト管理システム研究所 技術専門員

■契約窓口（お申込み、契約等についてのお問い合わせ）

9:00～12:00 および 13:00～17:30（土日祝祭日、指定の休業日を除く）

- ・都道府県、政令指定都市、国土交通省（協議会ユーザー）

TEL 03-6453-0857

- ・その他の公共発注機関（公共機関ユーザー）

TEL 03-3434-3715

- ・設計・積算事務所等（一般ユーザー）

TEL 03-3434-3290

一般財団法人 建築コスト管理システム研究所 システム部

〒105-0003 東京都港区西新橋 3-25-33 フロンティア御成門 5F

■発行図書の内容についてのお問い合わせ

TEL 03-3434-1530

■コスト研ホームページ URL

<https://www.ribc.or.jp/>

- ・Microsoft、Windows、Excel および Word は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
 - ・Adobe、Acrobat、Acrobat Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
 - ・その他の製品名、会社名は各社の商標または登録商標です。
 - ・本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載することはおやめください。
 - ・本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
-

総目次

はじめに

I. 共通メニュー	I -1
II. 内訳書ファイル	II -1
III. 見積比較ファイル	III -1
IV. 歩掛りファイル	IV -1
V. 共通費情報ファイル	V -1
VI. 単価登録	VI -1

操作説明（eラーニング）

内訳書作成システムの操作説明は、下記のeラーニングを参照してください。

https://www.ribc.or.jp/ribc/ribc4_1.html



はじめに

目次

はじめに

内訳書ファイルの作成に必要なデータファイル

データファイルの入手先について	2
データファイルを保存する場所について	2
各データファイルについて	2

内訳書作成システムの起動

内訳書作成システムの起動方法	4
数量入力モードの起動方法	5
異常終了したファイルの回復画面が表示されたとき	5
システム設定（共通費情報）画面が表示されたとき	6

ファイルの開き方

内訳書ファイル、見積比較ファイル、歩掛りファイルの開き方	7
システム設定画面について	9

各データファイルの機能説明について

セキュリティ機能によるデータ表示の制限について

データ公開内容の種類	11
セキュリティ設定の内容確認と変更	12

画面構成と各部の名称

内訳書作成システムの画面	13
内訳書画面	15
代価表画面	18
仕分け画面	20

リファレンスマニュアルについて

リファレンスマニュアル全体を表示させたい場合	21
他のリファレンスマニュアルに移動する場合	22
QRコード	23

- I. 共通メニュー
- II. 内訳書ファイル
- III. 見積比較ファイル
- IV. 歩掛りファイル
- V. 共通費情報ファイル

内訳書ファイルの作成に必要なデータファイル

内訳書作成システムでは、標準単価作成システムで作成した標準単価ファイルや歩掛りファイルを参照することができます。

データファイルの入手先について

公共工事発注機関の方は、単価作成を行う部署から標準単価ファイル等を受領します。

設計・積算事務所の方は、業務の発注元から標準単価ファイル等を受領します。

※標準単価ファイルは、建築・電気・機械や新営・改修等、データの内容により複数のファイルがあります。

データファイルを保存する場所について

データファイルは、パソコンのハードディスクにコピーします。

保存する場所について、お客様の決まりがあるときは、それに従って作業を行ってください。

特に指定の場所がないときは、デスクトップやマイドキュメントに任意の名前のフォルダを作成し、そのフォルダ内に関連するファイルをまとめて保存することをお勧めします。

※USB接続によるフラッシュメモリや外付けHDD等は、データの保存場所にしないでください。

※内訳書ファイルの作成で参照するデータファイルや、端数処理等の設定が登録されるシステムファイルは、ネットワークで各パソコンから共有することもできます。

各データファイルについて

標準単価ファイル



内訳書の作成に必須のファイルです。

内訳書作成システムでは、以下の作業で標準単価ファイルを参照します。

・行挿入画面

新規に内訳書ファイルを作成したときや、既存の内訳書ファイルに標準単価ファイルを追加参照させるときに実行します。

・標準単価ファイル行の単価を一括で入れ替え画面

標準単価ファイル行の単価を一括で入れ替え画面では、内訳書ファイルで参照している標準単価ファイルを別の標準単価ファイルに差し替え、内訳書ファイルに登録されている標準単価ファイル行の名称や単価欄を更新することができます。

前回と今回の標準単価ファイルを差し替える場合などに実行します。

※内訳書作成システムでは、標準単価ファイルを直接開くことはできません。

※公共工事発注機関から設計・積算事務所に貸与された標準単価ファイルは、データセキュリティ機能により、マスク表示で表示されます。

歩掛りファイル(オプション)

歩掛り

標準単価ファイルを作成する部署から必要に応じて受領するファイルです。

RIBC

内訳書ファイルに挿入された標準単価ファイル行の単価の構成（材料費、労務費の名称や数量等）を確認することができます。

また、標準単価ファイルの計算根拠となった歩掛りファイルを受領することにより、歩掛りをコピーして代価表を作成することもできます。

※歩掛りファイルは、標準単価ファイルと同じ保存先に保存してください。

共通費情報ファイル(オプション)

共通費RIBC

共通費の算定に使用する率や算定式などが登録されているファイルです。

「公共建築工事共通費積算基準」に準じて共通費計算を行う場合は、システムファイル（内訳書作成システムに付属）を使用します。

ユーザーが共通費情報ファイルを用意する必要はありません。

なお、共通費情報ファイルを編集してユーザーが独自に定めた共通費の率で共通費の算定を行うこともできます。

内訳書の書式ファイル(オプション)



「公共建築工事内訳書標準書式」に準じて内訳書を作成する場合は、システムファイル（内訳書作成システムに付属）を使用します。

種目別内訳および科目別内訳、中科目別内訳の行挿入画面において、名称メニューにユーザーが独自に作成した名称を表示させるときは、Excel 形式で内訳書の書式のファイルを作成します。

印刷書式設定を保存した Excel ファイル(オプション)



ユーザー独自の印刷書式を保存するファイルです。

ユーザー独自の共通費算定用 Excel ファイル(オプション)

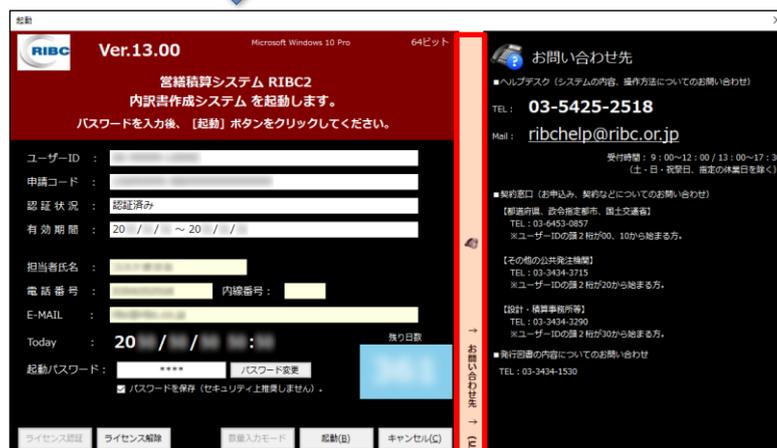
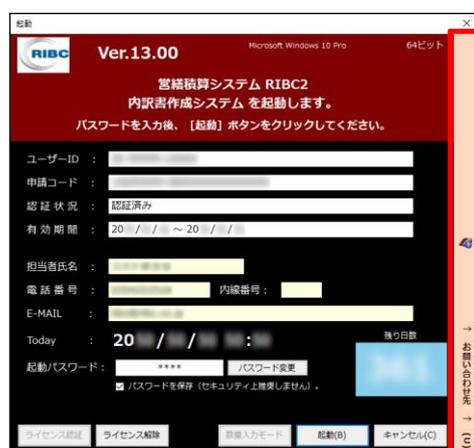


ユーザー独自の基準で共通費計算を行う場合に必要となるファイルです。

内訳書作成システムの起動

内訳書作成システムの起動方法

- 以下のいずれかを実行します。
 - (Windows11 の場合) スタートメニューの[すべてのアプリ]から [RIBC2] フォルダを開き、[内訳書作成システム] をクリックする。
 - (Windows10 の場合) スタートメニューの [RIBC2] フォルダを開き、[内訳書作成システム] をクリックする。
 - デスクトップの  アイコンをダブルクリックする。
- [起動] 画面が表示されます。有効期限やユーザーID もこの画面に表示されます。



※「お問い合わせ先」をクリックすると、「お問い合わせ」欄の表示を切り替えることができます。

3. 起動パスワード（ライセンス認証の実行時に表示された4桁の英数字）を入力し、[起動] ボタンをクリックします。

数量入力モードの起動方法

[起動パスワード]を空白にすると、[数量入力モード]で起動できます。



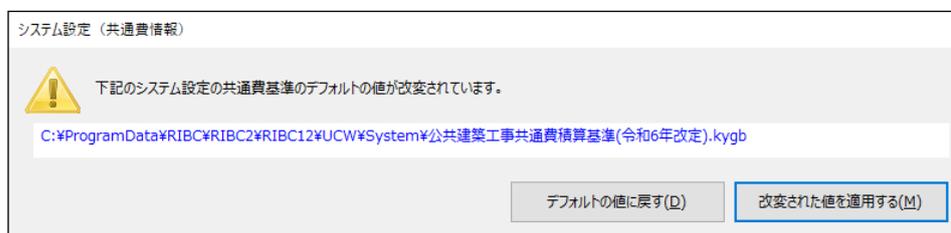
異常終了したファイルの回復画面が表示されたとき

[回復する] ボタンをクリックすると、前回のシステム起動中に異常終了したファイルを回復することができます。



システム設定（共通費情報）画面が表示されたとき

内訳書作成システムを起動したときに、システム設定のファイル初期値の共通費基準に設定されている共通費情報ファイルが変更されている場合は、システム設定（共通費情報）画面が表示されます。



- **デフォルトの値に戻す**

参照している共通費情報ファイルの設定値を、内訳書作成システムがインストールされたときの初期の状態に戻します。

- **変更された値を適用する**

参照している変更された共通費情報ファイルを別名で保存して、システム設定のファイル初期値として設定します。

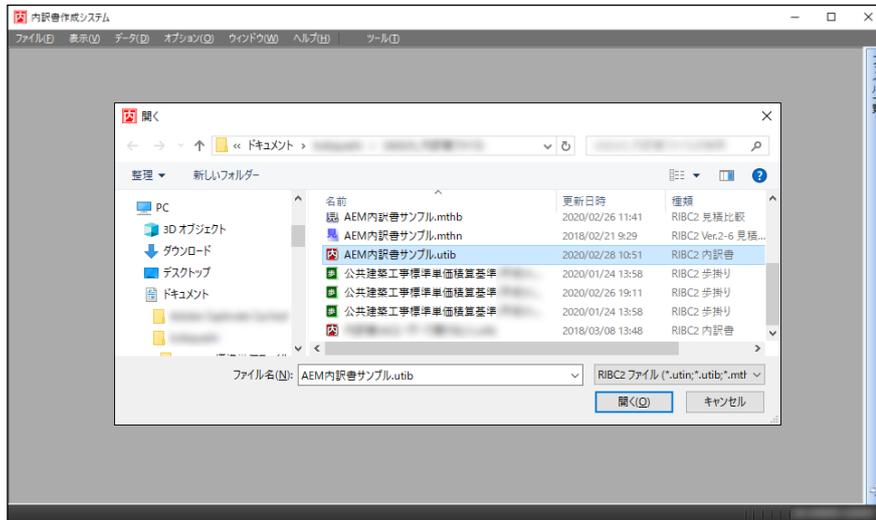
なお、参照していた共通費情報ファイルの設定値は、内訳書作成システムがインストールされたときの初期の状態に戻ります。

ファイルの開き方

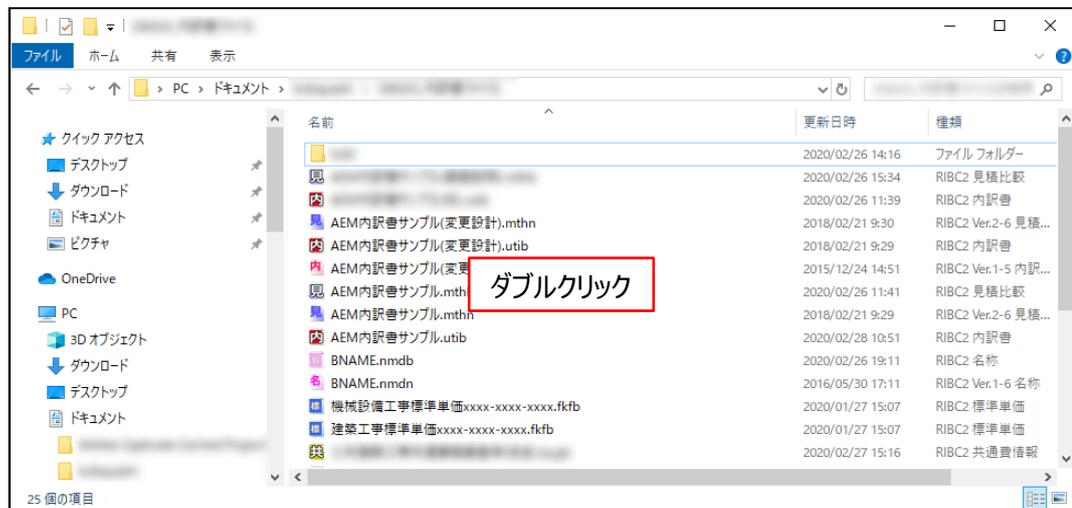
内訳書ファイル、見積比較ファイル、歩掛りファイルの開き方

ファイルを開くには、以下のいずれかを実行します。

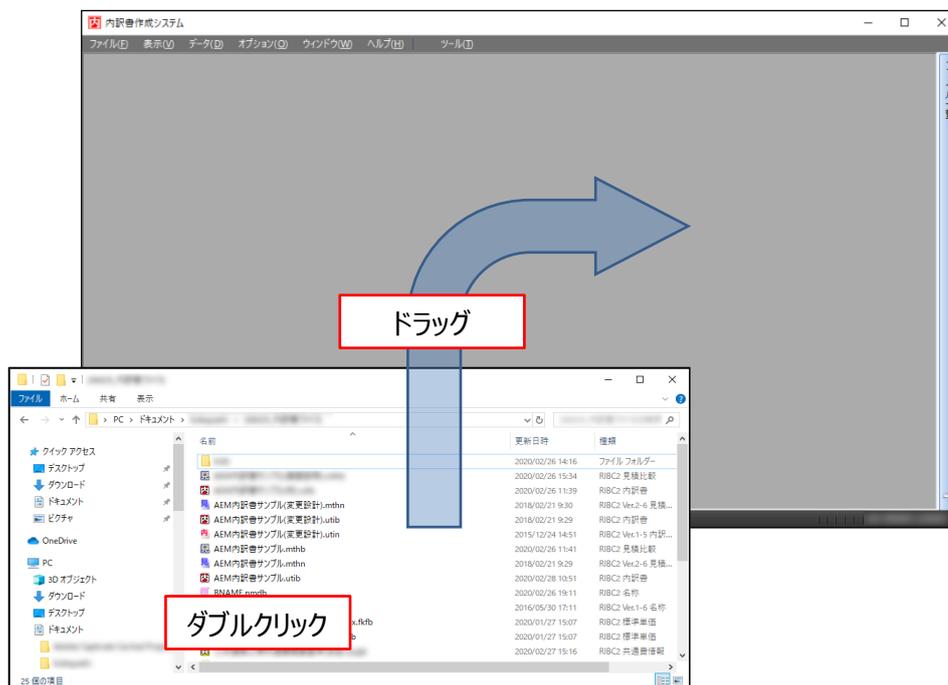
- ・ ファイルメニューから開く。



- ・ エクスプローラーでファイルの保存場所を開き、ファイルをダブルクリックする。



- ・ エクスプローラーでファイルの保存場所を開き、ファイルのアイコンを内訳書作成システムの画面にドラッグする。



システム設定画面について

内訳書ファイルを開くと、システム設定画面が表示されることがあります。

システム設定

この内訳書ファイルの印刷書式設定、共通費基準がシステム設定と異なります。
システム設定を取り込みますか？

端数処理設定： システム設定と同じです

印刷書式設定： システム設定を取り込む(F)
 そのまま(G)

共通費基準： システム設定を取り込む(S)
システム設定 C:*ProgramData*RIBC*RIBC2*RIBC12*UCW*System*公共建築工事共通費積算基準(令和6年改定).kygb
 プロパティで参照している共通費基準の値を取り込む(P)
プロパティ C:*ProgramData*RIBC*RIBC2*RIBC12*UCW*System*公共建築工事共通費積算基準(令和5年改定).kygb
 内訳書ファイルに取り込まれている共通費基準の値をそのまま適用する(U)
内訳書ファイル プロパティと内訳書ファイルに取り込まれている共通費基準の値は同じです。

OK

この画面は、内訳書ファイルに保存されている端数処理設定、印刷書式設定、及び、共通費基準が、パソコンの設定と異なっているときに表示されます。

端数処理設定、印刷書式設定の場合

- ・ **システム設定を取り込む**
パソコンに保存されている設定を取り込んで内訳書ファイルを開きます。
- ・ **そのまま**
内訳書ファイルに保存されている設定で内訳書ファイルを開きます。

共通費基準の場合

- ・ **システム設定を取り込む**
パソコンに保存されている設定値を取り込んで、内訳書ファイルを開きます。
- ・ **プロパティで参照している共通費基準の値を取り込む**
内訳書ファイルが参照している共通費情報ファイルの設定値を読み込み直して、内訳書ファイルを開きます。
- ・ **内訳書ファイルに取り込まれている共通費基準の値をそのまま適用する**
内訳書ファイルに保存されている設定値のまま、内訳書ファイルを開きます。

各データファイルの機能説明について

各データファイルの機能説明に記載されている説明の意味は、以下のとおりです。

メニュー名

メニューアイコン

ショートカットキー

新規作成  **Ctrl + N**
Alt + F + N

内訳書 代価表 仕分け

表紙 工事概要 工事費 工事種別 種目別 科目別 中科目別 細目別・別紙明細 共通費積み上げ等 すべて 分類 一覧

内訳書 内訳書ファイルを新規作成します。

使用可能な画面を示しています。

名称 数量 単位 金額 備考

名称	数量	単位	金額	備考
建築工事	1		134,128.704	WP
電気設備工事				
機材設備工事				

元に戻す(U) Ctrl+Z
やり直す(S) Ctrl+Y
切り取り(T) Ctrl+X
コピー(C) Ctrl+C
貼り付け(P) Ctrl+V
コピーした行の挿入(I)
行挿入(I)...
削除(D) Del
単価表から名称と単価を再取得または参照している単価表を変更(H)...
設定(S)
すべて選択(A) Ctrl+A
名前簿検索(L) F2
検索(E) Ctrl+F

コンテキストメニュー(右クリックで表示されるメニュー)に表示されるかを示しています。

コピー  **Ctrl + C**
Alt + E + C

内訳書 代価表 仕分け

表紙 工事概要 工事費 工事種別 種目別 科目別 中科目別 細目別・別紙明細 共通費積み上げ等 すべて 分類 一覧

セルまたは選択した行をコピーします。

セキュリティ機能によるデータ表示の制限について

他のユーザーが作成した内訳書ファイルを最初に開いたときは、その内訳書ファイルの公開情報に登録されているデータ公開内容に従って、単価・金額および備考欄が表示されます。

データ公開内容の種類

- **すべて**

すべての行の単価・金額および備考欄がそのまま表示されます。

- **0円クリア**

内訳書に登録されているすべての行の単価・金額欄が0円で表示されます。

- **標準単価ファイルから取得した単価行のみ0円クリア**

内訳書に登録されている標準単価ファイル行の単価・金額欄が0円で表示されます。見積り・刊行物等行の単価・金額欄は、そのまま表示されます。

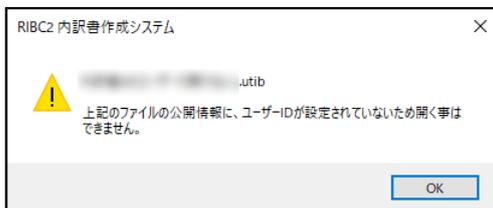
- **マスク表示**

内訳書に登録されているすべての行の単価・金額欄がマスク表示で表示されます。また、備考欄の2段目、3段目に備考が入力されている場合はマスク表示で表示されます。

- **標準単価ファイルから取得した単価行のみマスク表示**

内訳書に登録されている標準単価ファイル行の単価・金額欄がマスク表示で表示されます。また、その標準単価ファイル行の備考欄の2段目、3段目に備考が入力されている場合は、マスク表示で表示されます。見積り・刊行物等行の単価・金額および備考欄は、そのまま表示されます。

- **ファイルを開けない**



ファイルを開こうとしたときに、上記のメッセージが表示されたときは、当該のファイルを開くことはできません。ファイルの提供元にご確認ください。

セキュリティ設定の内容確認と変更

セキュリティ機能はファイル毎に設定されます。

公開情報画面の所有者欄に表示されているユーザーID 番号が、お使いのユーザーID と合致している場合に限り、公開情報の設定を変更することができます。

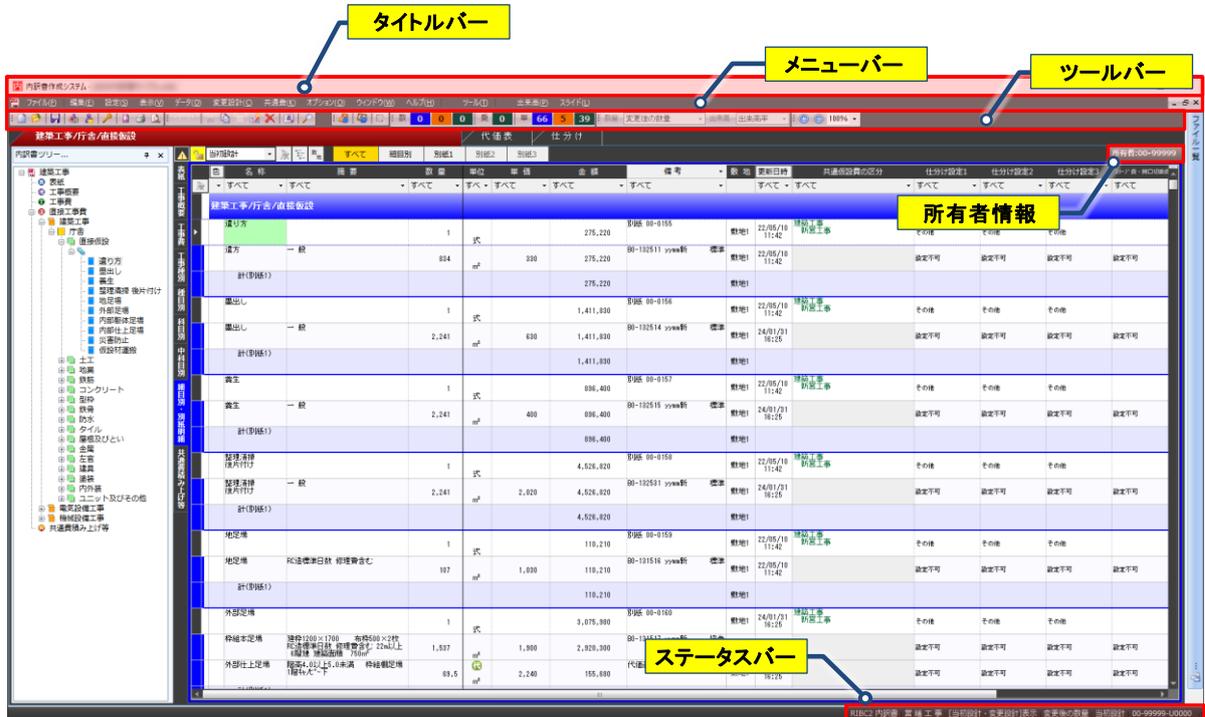
ユーザーID	データ公開内容	ユーザー名	公開情報
00.*****	標準単価ファイルから取得した単価行のみ 0円クリア	協議会ユーザー	<input checked="" type="radio"/>
10.*****	標準単価ファイルから取得した単価行のみ 0円クリア	協議会ユーザー	<input type="radio"/>
20.*****	標準単価ファイルから取得した単価行のみ 0円クリア	公共機関ユーザー	<input type="radio"/>
30.*****	標準単価ファイルから取得した単価行のみ マスク表示	一般ユーザー	<input checked="" type="radio"/>

公開情報の設定変更ができない内訳書ファイルについては、設定変更の権限が当該ファイルの所有者（所有者欄に表示されているユーザー）にあります。

※標準単価ファイルのセキュリティ設定の確認や変更は、当該ファイルを作成した標準単価作成システムでのみ設定を変更することができます。

画面構成と各部の名称

内訳書作成システムの画面



1. タイトルバー



現在表示しているファイルのファイル名が表示されます。

右端には、 (最小化) ボタン、 (最大化/元に戻す) ボタン、 (閉じる) ボタンがあります。

2. メニューバー



ファイル (F)、編集 (E)、設定 (S)、表示 (V) 等、操作可能な項目が一行に並んでいます。

3. ツールバー



操作を簡易化するために用意されたボタン等の集まりです。

4. ステータスバー

21/10/28 11:16	建築工事 新築工事	その他	その他	その他	
21/10/28 11:16		設定不可	設定不可	設定不可	設定不可
21/10/28 11:16		設定不可	設定不可	設定不可	設定不可

RIBC2 内訳書 [互換モード] 営繕工事 [当初設計・変更設計]表示 変更後の数量 当初設計

開いている内訳書の状態やユーザーIDが表示されます。

- RIBC2内訳書

内訳書のバージョンが表示されます。

- 営繕工事

内訳書工事の種類（営繕工事、住宅工事）が表示されます。

- [当初設計・変更設計] 表示

内訳書の種類（当初設計、変更設計、出来高設計）が表示されます。

- 変更後の数量

内訳書の数量入力モードが表示されます。

- 当初設計

内訳書の変更回数が表示されます。

- ユーザーID

ユーザーIDが表示されます。

5. 所有者情報



開いている内訳書の所有者の情報が表示されます。

所有者:00-99999

システムのユーザーID と所有者情報のユーザーID が同じ場合。

所有者:00-99999

システムのユーザーID と所有者情報のユーザーID が異なる場合。

内訳書画面



1. 内訳書ツリー

内訳書の構成が表示されます。

2. 見出し

内訳書画面の見出しをクリックすると、各画面に移動します。

3. アイコン



①公開情報アイコン

内訳書の公開情報の設定が表示されます。

- 所有者以外のユーザーに単価欄、金額欄、備考欄を表示しない設定。
- 国土交通省、都道府県及び政令指定都市、国・市町村・公団・事業団のユーザーに対しては、単価欄、金額欄、備考欄が表示される設定。
- 設計・積算事務所のユーザーに対して、単価欄、金額欄、備考欄が表示される設定。

※アイコンをクリックすると、公開情報画面が表示されます。

②パスワードアイコン

内訳書のパスワード設定状況が表示されます。

- パスワードが設定されています。
- パスワードが設定されていません。

※アイコンをクリックすると、パスワード画面が表示されます。

③設計回数プルダウンメニュー

内訳書の設計回数が表示されます。

④フィルタ表示クリアアイコン

階層フィルタ、敷地フィルタ、列フィルタのフィルタ状況が表示されます。

※アイコンをクリックすると、フィルタが解除されます。

⑤階層フィルタアイコン

アイコンをクリックすると、階層フィルタを設定することができます。

⑥敷地フィルタアイコン

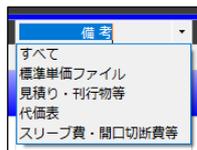
アイコンをクリックすると、敷地フィルタを設定することができます。

⑦内訳書フィルタ

細目別・別紙明細画面と共通費積み上げ等画面で表示されます。

	細目別 内訳	別紙 1		別紙 2		別紙 3	
		別紙行	別紙明細行	別紙行	別紙明細行	別紙行	別紙明細行
すべて	○	○	○	○	○	○	○
細目別	○	○	×	×	×	×	×
別紙 1	×	○	○	○	×	×	×
別紙 2	×	×	×	○	○	○	×
別紙 3	×	×	×	×	×	○	○

4. 列フィルタ



列フィルタをクリックすると、行の種類でフィルタを設定することができます。

列フィルタは、細目別・別紙明細画面と共通費積み上げ等画面で使用できます。

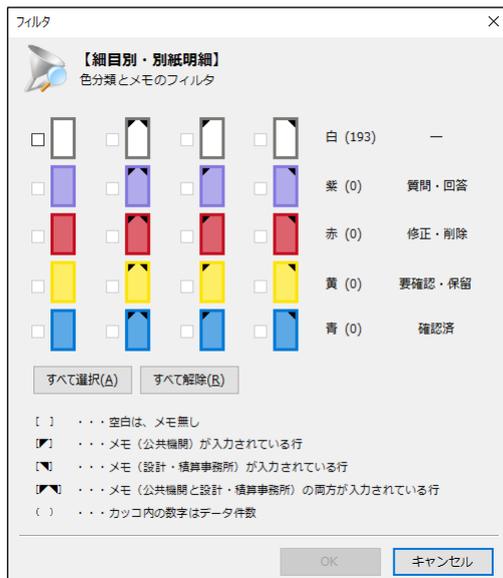
5. 更新日時



更新日時をクリックすると、更新日時によって、行または各セルの背景色を変更することができます。

更新日時は、細目別・別紙明細画面と共通費積み上げ等画面、代償表画面で使用できます。

6. 色



色をクリックすると、色分類やメモの有無でフィルタを設定することができます。

色は、細目別・別紙明細画面と共通費積み上げ等画面、代価表画面で使用できます。

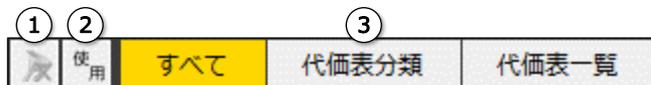
代価表画面



1. 代価表ツリー

代価表の一覧が表示されます。

2. アイコン



①フィルタ表示クリアアイコン

使用フィルタと列フィルタのフィルタ状況が表示されます。

※アイコンをクリックすると、フィルタが解除されます。

②使用代価表フィルタアイコン

アイコンをクリックすると、使用代価表フィルタを設定することができます。



③内訳書フィルタ

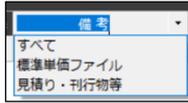
表示される行の種類を変更することができます。

すべて すべての行が表示されます。

代価表分類 代価表分類行のみが表示されます。

代価表一覧 代価表分類行と代価表一覧行のみが表示されます。

3. 列フィルタ



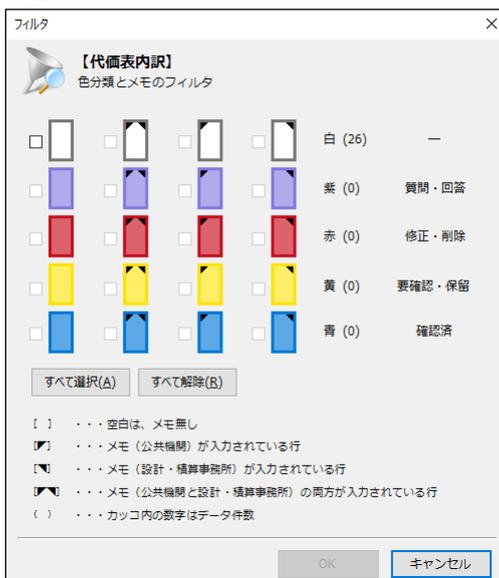
列フィルタをクリックすると、行の種類でフィルタを設定することができます。

4. 更新日時



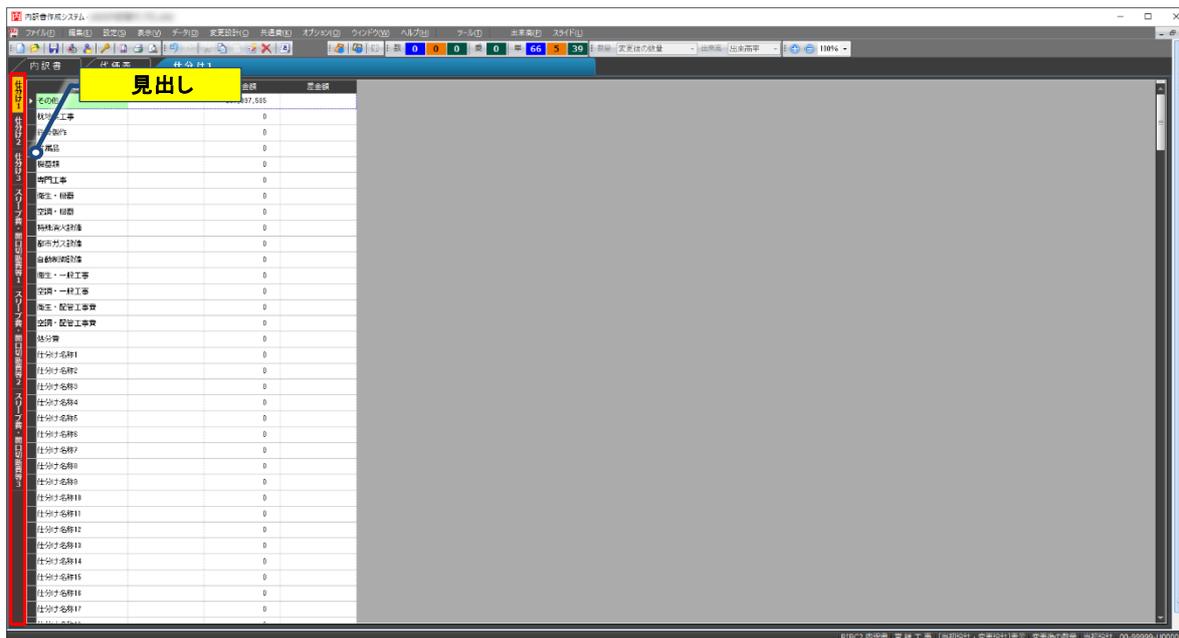
更新日時をクリックすると、更新日時によって、行またはセルの背景色を変更することができます。

5. 色



色をクリックすると、色分類やメモの有無でフィルタを設定することができます。

仕分け画面



1. 見出し

見出しをクリックすると、各画面に移動します。

仕分け 1～3

名称を登録すると、細目別・別紙明細画面で仕分け名称毎の金額を集計することができます。

スリーブ費・開口切断費等 1～3

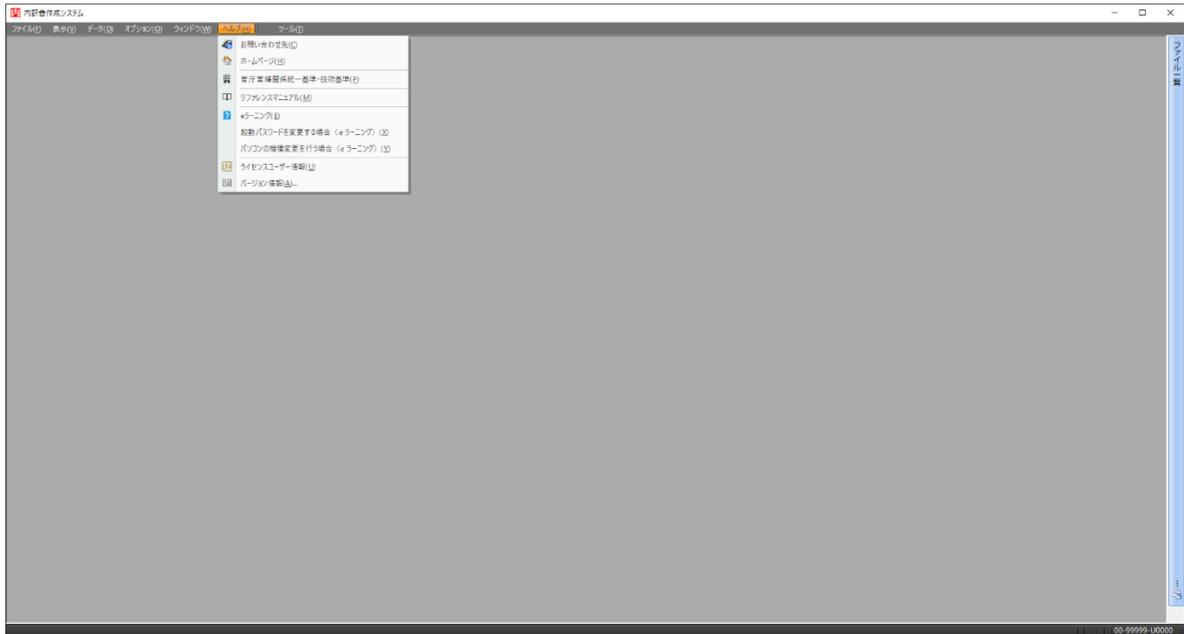
名称を登録すると、機械設備工事のスリーブ費を計算することができます。

リファレンスマニュアルについて

内訳書作成システムでは、ヘルプメニューから表示しているファイルに関するリファレンスマニュアル（本書）を閲覧することができます。

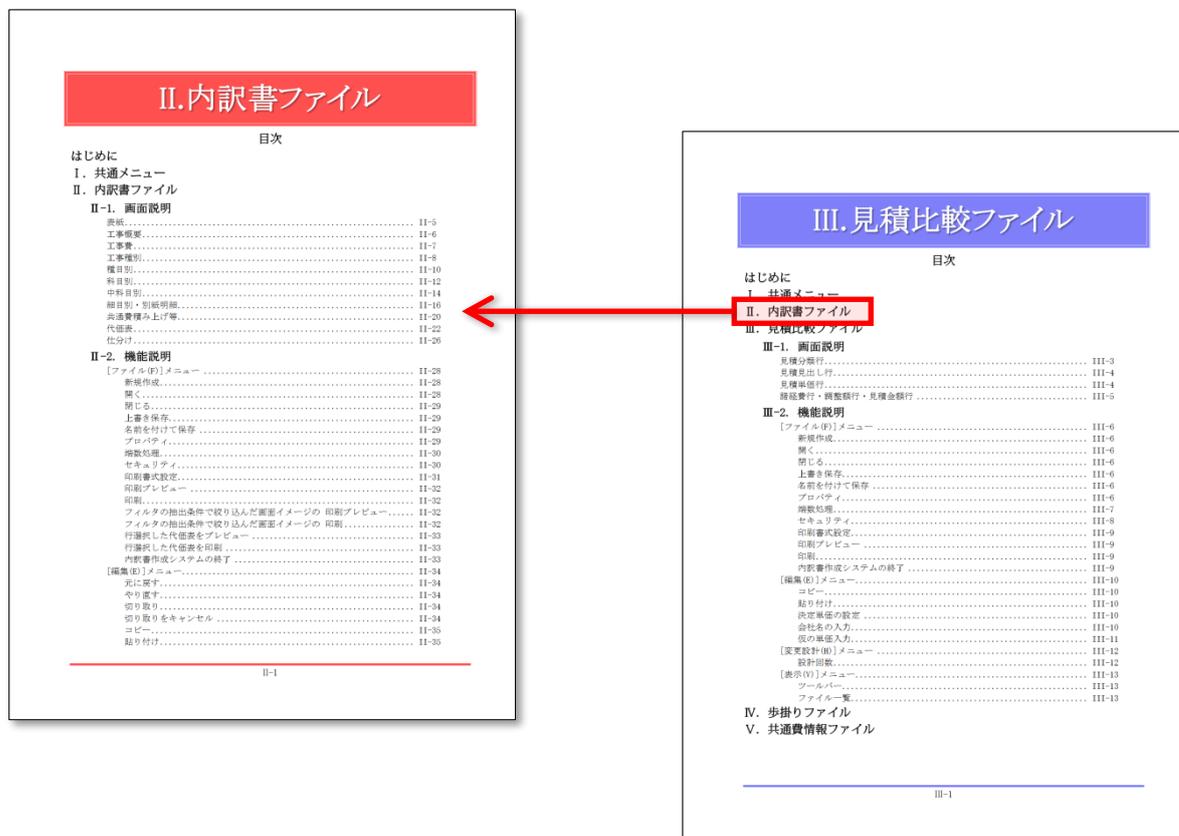
リファレンスマニュアル全体を表示させたい場合

内訳書作成システムで開いているファイルをすべて閉じた状態で、ヘルプメニューからリファレンスマニュアルを表示させます。

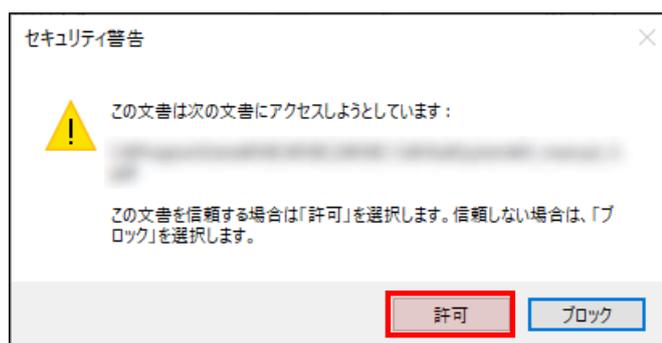


他のリファレンスマニュアルに移動する場合

各リファレンスマニュアルの目次のタイトル部分をクリックすると、他のリファレンスマニュアルが開かれます。

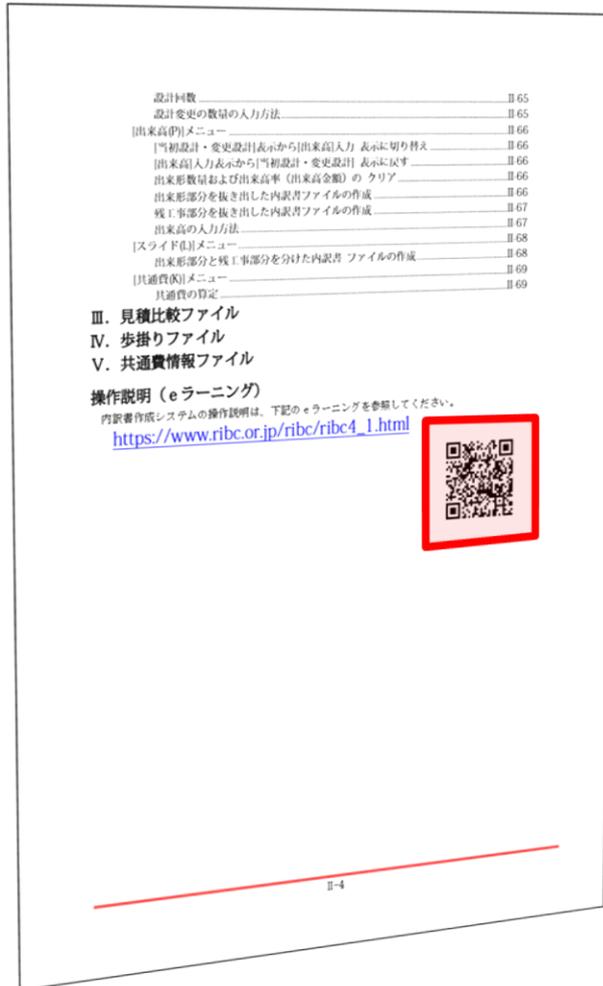


《注》他のリファレンスマニュアルが開かれるときに、セキュリティ警告メッセージが表示されますので、[許可] ボタンをクリックします。



QRコード

スマートフォンやタブレット等から各リファレンスマニュアルに記載されている QR コードを読み取ることで、eラーニングのページにアクセスして、説明動画を再生することができます。



I. 共通メニュー

目次

はじめに

I. 共通メニュー

I-1. 機能説明

[オプション(O)]メニュー.....	I-3
システム設定.....	I-3
自動回復用ファイルの保存設定.....	I-4
自動回復用ファイルを開く.....	I-4
独自書式印刷用テンプレート.....	I-5
[ウィンドウ(W)]メニュー.....	I-6
重ねて表示.....	I-6
上下に並べて表示.....	I-6
左右に並べて表示.....	I-6
ウィンドウ枠の固定.....	I-6
二画面一杯にウィンドウを最大化.....	I-6
[ヘルプ(H)]メニュー.....	I-7
お問い合わせ先.....	I-7
ホームページ.....	I-7
官庁営繕関係統一基準・技術基準.....	I-7
リファレンスマニュアル.....	I-8
eラーニング.....	I-8
起動パスワードを変更する場合(eラーニング).....	I-8
パソコンの機種変更を行う場合(eラーニング).....	I-8
ライセンスユーザー情報.....	I-9
バージョン情報.....	I-9
[ツール(T)]メニュー.....	I-10
共通費基準(独自基準)を作成・編集.....	I-10
マトリクス表を印刷.....	I-10
内訳書ファイルの一括変換.....	I-10
標準単価ファイルの単価名称・コードを データ交換コード対応テーブル(Excel・CSV)に出力.....	I-10
内訳書で参照している標準単価ファイルの単価名称を集計して 集計結果をExcelファイルに出力.....	I-11
単価登録.....	I-11
[★更新プログラムがあります...(U)]メニュー.....	I-12
最新版のアップデート.....	I-12

II. 内訳書ファイル

III. 見積比較ファイル

IV. 歩掛りファイル

V. 共通費情報ファイル

操作説明（eラーニング）

内訳書作成システムの操作説明は、下記のeラーニングを参照してください。

https://www.ribc.or.jp/ribc/ribc4_1.html



I-1.機能説明

[オプション(O)]メニュー

システム設定



Ctrl + M
Alt + O + S

・作業で参照するフォルダとバックアップの設定

既定のファイルの場所

ファイルを開いたり、保存したりするときに表示されるフォルダを設定します。

標準単価ファイル（歩掛りファイル）の保存場所

標準単価ファイルや歩掛りファイルを開くときに表示されるフォルダを設定します。

バックアップファイルを作成する

見積比較ファイルや経年比較内訳書ファイルなどを保存したときに、バックアップフォルダにもファイルを保存します。

システム起動時に、更新プログラムの有無を確認する

「最新版のアップデート」画面を表示し、バージョンアップを行うかを設定できます。

・新規作成する内訳書ファイルの初期値設定

システムファイル

内訳書ファイルの新規作成時に設定されるシステムファイル（端数処理や印刷書式設定など）を設定します。

また、ネットワークを使って、サーバーの共有フォルダに保存されたシステムファイルを指定することもできます。

※公開情報、端数処理、印刷書式の参照先を別々に設定することができます。ファイル名は変更できません。

項目	ファイル名
公開情報	RibcUser.ribcsysb
端数処理	RibcUwHs.ribcsysb
印刷書式	RibcUwPr.ribcsysb

編集

内訳書ファイルの編集動作を設定します。

表示

内訳書ファイルの別紙明細番号や科目比率などの表示を設定します。

カスタマイズ

内訳書ファイルの共通費の算定情報を設定します。

・システムの起動方法

子ウィンドウで開く

内訳書作成システムを起動するときに、1つのウィンドウ内に子ウィンドウを作ります。

※子ウィンドウ間で行を「コピー」して「コピーした行の挿入」が可能です。

新しいウィンドウで開く

内訳書作成システムを起動するたびに新しいウィンドウを作ります。

※ウィンドウ間で行を「コピー」して「コピーした行の挿入」はできません。

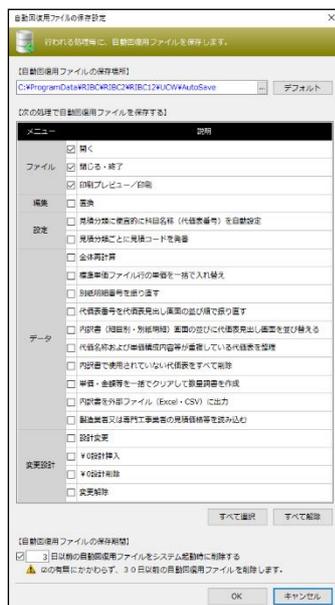
自動回復用ファイルの保存設定



Alt + 0 + S

「ファイルを開く」や「ファイルを閉じる」など、設定された処理が実行されたときに、内訳書ファイルを決められた保存場所に自動回復用として保存します。

※内訳書作成システムを起動したときに、設定された日数が経過した自動回復用ファイルを自動的に削除することもできます。

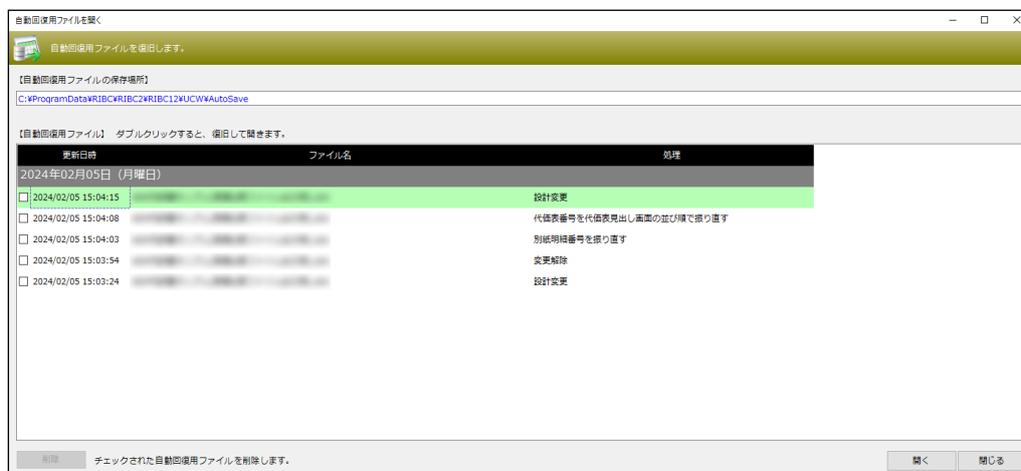


自動回復用ファイルを開く



Alt + 0 + O

保存された自動回復用ファイルを開きます。



※不要になった自動回復用ファイルを削除することもできます。

独自書式印刷用テンプレート



Alt + 0 + T

独自書式印刷用のテンプレート（Excel ファイル）が表示されます。

※使用するときには、表示されたファイルを複製して使用します。

[ウィンドウ(W)]メニュー

重ねて表示



Alt + W + C

複数のファイルを重ねて表示します。

上下に並べて表示



Alt + W + V

複数のファイルを上下に並べて表示します。

左右に並べて表示



Alt + W + H

複数のファイルを左右に並べて表示します。

ウィンドウ枠の固定



Alt + W + H

細目別・別紙明細画面でウィンドウ枠の固定位置を指定します。

▶ 名称	Alt+W+H+M
▶ 摘要	Alt+W+H+N
▶ 数量	Alt+W+H+S
▶ 単位	Alt+W+H+T
▶ 単価	Alt+W+H+P
▶ 金額	Alt+W+H+K
▶ 備考	Alt+W+H+B

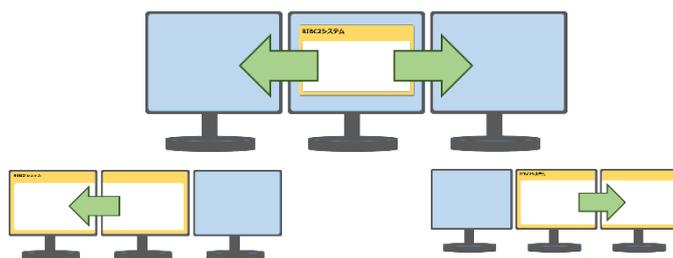
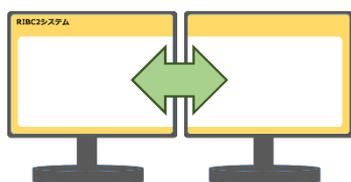
二画面一杯にウィンドウを最大化



Alt + W + M

1つのPCに複数のモニターを接続している場合、内訳書作成システム画面を2画面一杯に広げて表示します。

※ディスプレイに異なる解像度を設定している場合は、同じ解像度に設定してから本機能をお使いください。



[ヘルプ(H)]メニュー

お問い合わせ先



Alt + H + C

■ ヘルプデスク (システムの内容、操作方法についてのお問い合わせ)

9:00～12:00 および 13:00～17:30 (土日祝祭日、指定の休業日を除く)

TEL 03-5425-2518

E-Mail ribchelp@ribc.or.jp

一般財団法人 建築コスト管理システム研究所 技術専門員

■ 契約窓口 (お申込み、契約等についてのお問い合わせ)

9:00～12:00 および 13:00～17:30 (土日祝祭日、指定の休業日を除く)

- ・ 都道府県、政令指定都市、国土交通省 (協議会ユーザー)

TEL 03-6453-0857

- ・ その他の公共発注機関 (公共機関ユーザー)

TEL 03-3434-3715

- ・ 設計・積算事務所等 (一般ユーザー)

TEL 03-3434-3290

一般財団法人 建築コスト管理システム研究所 システム部

ホームページ



Alt + H + H

■ コスト研ホームページ URL

<https://www.ribc.or.jp/>

官庁営繕関係統一基準・技術基準



Alt + H + P

国の統一基準類を閲覧できるページが表示されます。

官庁営繕関係統一基準		PDF	Web
公共建築工事積算基準 (改定)	第1編 総則 (表3-1-1 建築工事 表3-1-2 電気設備工事 表3-1-3 機械設備工事)	PDF	Web
公共建築工事標準単価積算基準 (改定)	第2編 建築工事 第3編 電気設備工事 第4編 機械設備工事	PDF	Web
公共建築数量積算基準 (改定)	第1編 総則	PDF	Web
公共建築設備数量積算基準 (改定)	第2編 共通事項 第3編 電気設備工事 第4編 機械設備工事	PDF	Web
公共建築工事共通費積算基準 (改定)	第1編 総則	PDF	Web
公共建築工事内訳書標準書式	公共建築工事内訳書標準書式 建築工事編 (改定) 3-1 建築工事内訳書標準書式 3-2 建築改修工事内訳書標準書式	PDF	Web
公共建築工事見積標準書式	公共建築工事見積標準書式 設備工事編 (改定) (1) 電気設備工事内訳書標準書式 (2) 機械設備工事内訳書標準書式 (3) 屋外機械設備工事内訳書標準書式	PDF	Web
公共建築工事見積標準書式	公共建築工事見積標準書式 建築工事編 (改定) 第2章 電気設備工事 第4章 機械設備工事	PDF	Web
公共建築工事標準仕様書	公共建築工事標準仕様書 (建築工事編) 版 公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事編) 版 公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) 版	PDF	Web

リファレンスマニュアル



Alt + H + M

表示しているファイルに関するリファレンスマニュアルが表示されます。

eラーニング



Alt + H + E

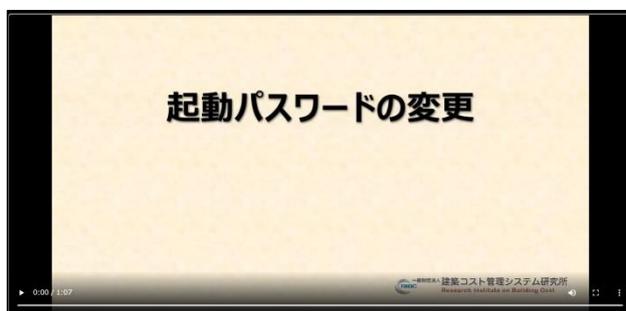
■ コスト研ホームページ (eラーニング) URL

https://www.ribc.or.jp/ribc/ribc4_1.html

起動パスワードを変更する場合(eラーニング)

Alt + H + X

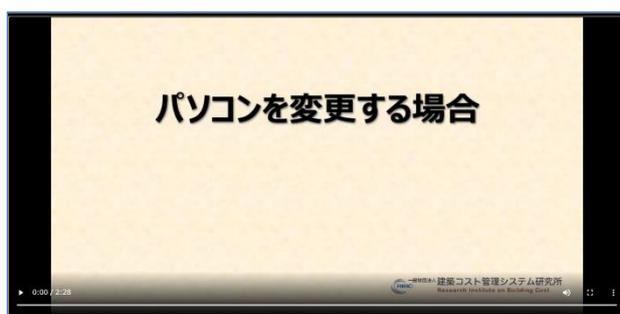
起動パスワードを変更する場合の操作方法を確認できる動画が表示されます。



パソコンの機種変更を行う場合(eラーニング)

Alt + H + Y

パソコンの機種変更を行う場合の操作方法が確認できる動画が表示されます。



ライセンスユーザー情報



Alt + H + U

ライセンス認証のユーザー情報を確認できます。



ライセンスユーザー情報

担当者氏名:

電話番号: 内線番号:

E-MAIL:

閉じる(C)

バージョン情報



Alt + H + A



[ツール(T)]メニュー

共通費基準（独自基準）を作成・編集



Alt + T + K

共通費情報保守を起動し、共通費情報ファイルを編集します。

マトリクス表を印刷



Alt + T + N

マトリクス表印刷ツールを起動し、標準単価ファイルに登録されている単価の名称をマトリクス形式で印刷します。印刷と同じデザインの PDF ファイルを作成することもできます。

※設計・積算事務所では、単価欄はマスク表示されます。

ただし、標準単価作成システムで印刷制限を設定した標準単価ファイルや利用期限が過ぎている標準単価ファイルは、ファイルを開くことができません。

内訳書ファイルの一括変換



Alt + T + U

内訳書作成コンバータを起動し、RIBC 形式の内訳書 (*.utf、*.utg、*.uth、*.uti、*.kmi) や RIBC2 Ver1-5 内訳書ファイル (*.utin) を RIBC2 内訳書ファイル形式 (*.utib) に変換します。

標準単価ファイルの単価名称・コードを データ交換コード対応テーブル (Excel・CSV) に出力



Alt + T + D

データ交換コード対応テーブル出力を起動し、CAD や数量拾い等の外部システムで作成した数量データを内訳書ファイルへ変換します。

■内訳書数量データ交換コード対応テーブル URL

https://www.ribc.or.jp/ribc/ribc9_1koukan_fmt.html#01



内訳書で参照している
標準単価ファイルの単価名称を集計して
集計結果を Excel ファイルに出力



Alt + T + S

標準単価使用頻度集計ツールを起動し、内訳書ファイルで参照している標準単価の数をカウントし、結果を Excel ファイルに出力します。

単価登録



Alt + T + T

内訳書作成システムで、標準単価ファイルを作成し、独自単価等を登録したり、標準単価ファイルを印刷したりすることができます。

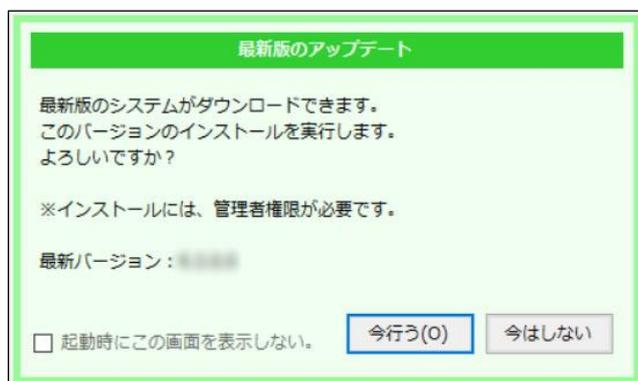
(例) 都道府県より提供を受けた標準単価ファイルとは別に、市の独自単価等を登録したい場合に使用します。

[★更新プログラムがあります...(U)]メニュー

最新版のアップデート

Alt + U

このメニューが表示されている場合、当研究所のホームページから最新の内訳書作成システムを取得することができます。メニューをクリックすると、以下の画面が表示されます。



※画面左下の [起動時にこの画面を表示しない] にチェックをすると表示されなくなります。

再度表示させたい場合は [オプション] メニューから [システム設定] - [システム設定] タブから設定できます。

II.内訳書ファイル

目次

はじめに

I. 共通メニュー

II. 内訳書ファイル

II-1. 画面説明

表紙	II-5
工事概要	II-6
工事費	II-7
工事種別	II-8
種目別	II-9
科目別	II-11
中科目別	II-12
細目別・別紙明細	II-13
共通費積み上げ等	II-17
代価表	II-19
仕分け	II-22

II-2. 機能説明

[ファイル(F)]メニュー	II-23
新規作成	II-23
開く	II-23
閉じる	II-24
上書き保存	II-24
名前を付けて保存	II-24
プロパティ	II-24
端数処理	II-25
セキュリティ	II-25
印刷書式設定	II-26
印刷プレビュー	II-27
印刷	II-27
フィルタの抽出条件で絞り込んだ画面イメージの印刷プレビュー	II-27
フィルタの抽出条件で絞り込んだ画面イメージの印刷	II-27
行選択した代価表をプレビュー	II-27
行選択した代価表を印刷	II-28
内訳書作成システムの終了	II-28
[編集(E)]メニュー	II-29
元に戻す	II-29
やり直す	II-29
切り取り	II-29
切り取りをキャンセル	II-29
コピー	II-29
貼り付け	II-30
コピーした行の挿入	II-30

切り取った行の挿入.....	II-31
行挿入.....	II-31
行挿入.....	II-32
行挿入【代価表分類】.....	II-33
行挿入【代価表】.....	II-33
行挿入【代価表内訳】.....	II-34
行挿入.....	II-35
削除.....	II-35
すべて選択.....	II-35
置換.....	II-36
置換.....	II-38
1行下のコメント行を結合.....	II-38
メモ（公共機関）のコピー.....	II-39
メモ（公共機関）の貼り付け.....	II-39
メモ（公共機関）の削除.....	II-39
メモ（設計・積算事務所）のコピー.....	II-39
メモ（設計・積算事務所）の貼り付け.....	II-40
メモ（設計・積算事務所）の削除.....	II-40
直接工事費行を上へ移動	
直接工事費行を下へ移動.....	II-40
コメント行の挿入.....	II-40
負担金計行の挿入.....	II-40
負担金行の移動.....	II-40
請負比率を乗じる行の挿入.....	II-41
調査基準価格行の挿入.....	II-41
名称の編集.....	II-41
摘要の編集.....	II-41
数量の編集.....	II-41
乗率の編集.....	II-41
補正率の編集.....	II-42
単位の編集.....	II-42
単価の編集.....	II-42
金額の編集.....	II-42
備考の編集.....	II-42
単位の選択.....	II-42
見積コードの編集.....	II-43
テキストの編集.....	II-43
検索.....	II-43
代価表の参照先へ移動.....	II-43
[設定(S)]メニュー.....	II-44
仕分け設定.....	II-44
刈-ブ 費・開口切断費に対応する配管工事の工事費を 集計するための区分設定.....	II-44
行またはセルを選択した見積り行に見積分類を設定.....	II-44
見積分類に便宜的に「科目名称（代価表番号）」を自動設定.....	II-44
見積分類ごとに見積コードを発番.....	II-45
変更設計時の小計行・コメント行の印刷の有無.....	II-45
工事種別の区分.....	II-45
共通仮設費の区分.....	II-46

積み上げの区分.....	II-46
新たな追加の工事の区分.....	II-47
営繕工事のいずれかと営繕工事以外の工事を一括して発注する場合の 営繕工事と営繕工事以外の工事の区分.....	II-48
敷地が異なる複数の工事を一括して発注する場合の敷地の区分.....	II-48
代価表の単価構成内容の数量・乗率・補正率を一括で変更.....	II-49
代価表で算定した単価の端数処理.....	II-49
「その他」の率.....	II-49
数式欄に設定した数式の単価、金額または合計金額の値を単価欄に取得.....	II-50
数式を解除.....	II-50
リンク設定.....	II-51
色分類設定.....	II-51
[表示(V)]メニュー.....	II-52
内訳書と代価表を並べて表示.....	II-52
内訳書と代価表を並べて表示解除.....	II-52
内訳書と仕分けを並べて表示.....	II-52
内訳書と仕分けを並べて表示解除.....	II-52
ファイル一覧.....	II-53
内訳書ツリー.....	II-53
代価表ツリー.....	II-54
画面分割.....	II-55
画面分割解除.....	II-55
ツールバー.....	II-56
ズーム.....	II-56
内訳書の見出し行の背景色.....	II-57
階層フィルタ.....	II-57
敷地フィルタ.....	II-58
代価表使用フィルタ.....	II-58
色分類とメモのフィルタ.....	II-59
フィルタ解除.....	II-59
[データ(D)]メニュー.....	II-60
全体再計算.....	II-60
標準単価ファイル行の単価を一括で入れ替え.....	II-60
標準単価ファイルから名称と単価を再取得または参照している 標準単価ファイルを変更.....	II-61
別紙明細番号を振り直す.....	II-61
代価表番号を代価表見出し画面の並び順で振り直す.....	II-61
内訳書（細目別・別紙明細）画面の並び順に代価表見出し画面を並べ替える... ..	II-62
代価名称および単価構成内容等が重複している代価表を整理.....	II-63
内訳書で使用されていない代価表をすべて削除.....	II-63
単価・金額等を一括でクリアして数量調書を作成.....	II-63
内訳書数量データ交換書式（Excel・CSV）を読み込む.....	II-64
内訳書（代価表は除く）を外部ファイル（Excel・CSV）に出力.....	II-65
見積依頼する見積り行の単価名称等を出力.....	II-66
製造業者又は専門工事業者の見積価格等を読み込む.....	II-67
内訳書の経年・地区比較を確認.....	II-67
標準単価ファイル行の歩掛り構成内容を確認.....	II-68
[変更設計(C)]メニュー.....	II-69
設計変更.....	II-69

¥0 設計挿入.....	II-69
¥0 設計削除.....	II-70
変更解除.....	II-70
最終設計→当初設計.....	II-71
設計回数.....	II-71
設計変更の数量の入力方法.....	II-71
[共通費(K)]メニュー.....	II-72
共通費の算定.....	II-72
共通費の算定オプション.....	II-73
[出来高(P)]メニュー.....	II-74
[当初設計・変更設計]表示から[出来高]入力表示に切り替え.....	II-74
[出来高]入力表示から[当初設計・変更設計]表示に戻す.....	II-74
出来形数量および出来高率（出来高金額）のクリア.....	II-74
出来高の入力方法.....	II-74
[スライド(L)]メニュー.....	II-75
出来形部分の共通費算定（単品スライドは適用外）.....	II-75
出来形部分と残工事部分を分けた内訳書ファイルの作成.....	II-76
出来形部分を抜き出した内訳書ファイルの作成.....	II-76
残工事部分を抜き出した内訳書ファイルの作成.....	II-76

Ⅲ. 見積比較ファイル

Ⅳ. 歩掛りファイル

Ⅴ. 共通費情報ファイル

操作説明（eラーニング）

内訳書作成システムの操作説明は、下記のeラーニングを参照してください。

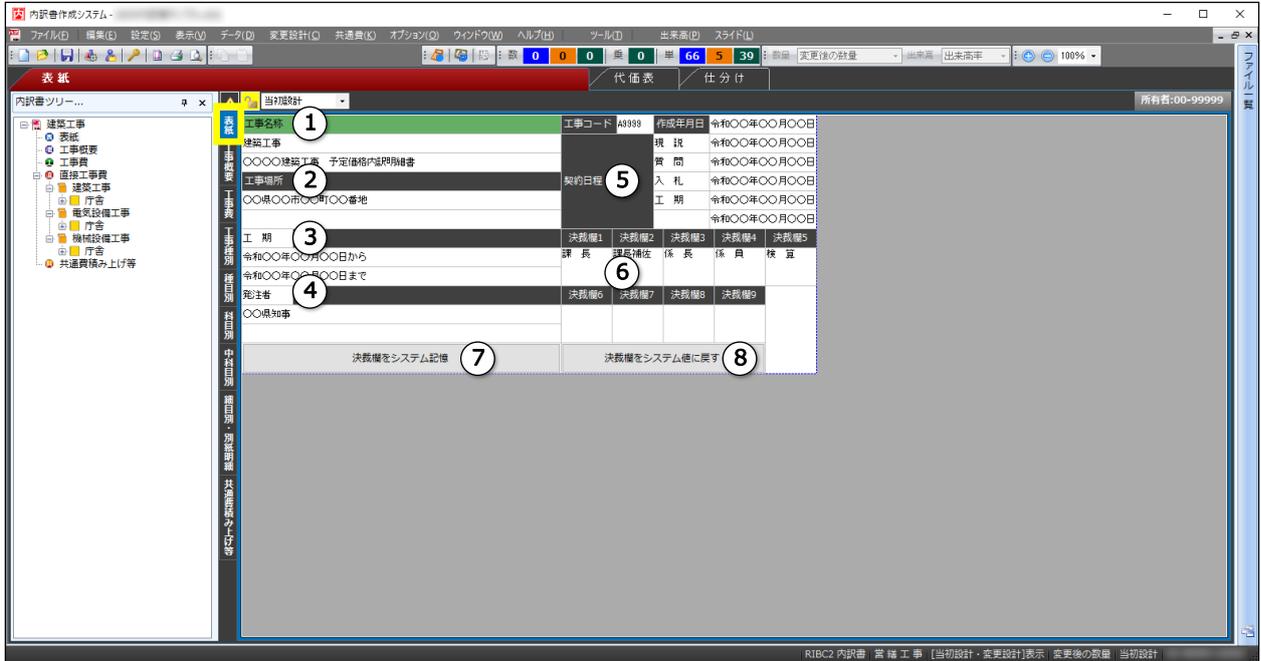
https://www.ribc.or.jp/ribc/ribc4_1.html



Ⅱ-1.画面説明

表紙

表紙画面は、印刷物の表紙頁に印刷する項目を表示します。



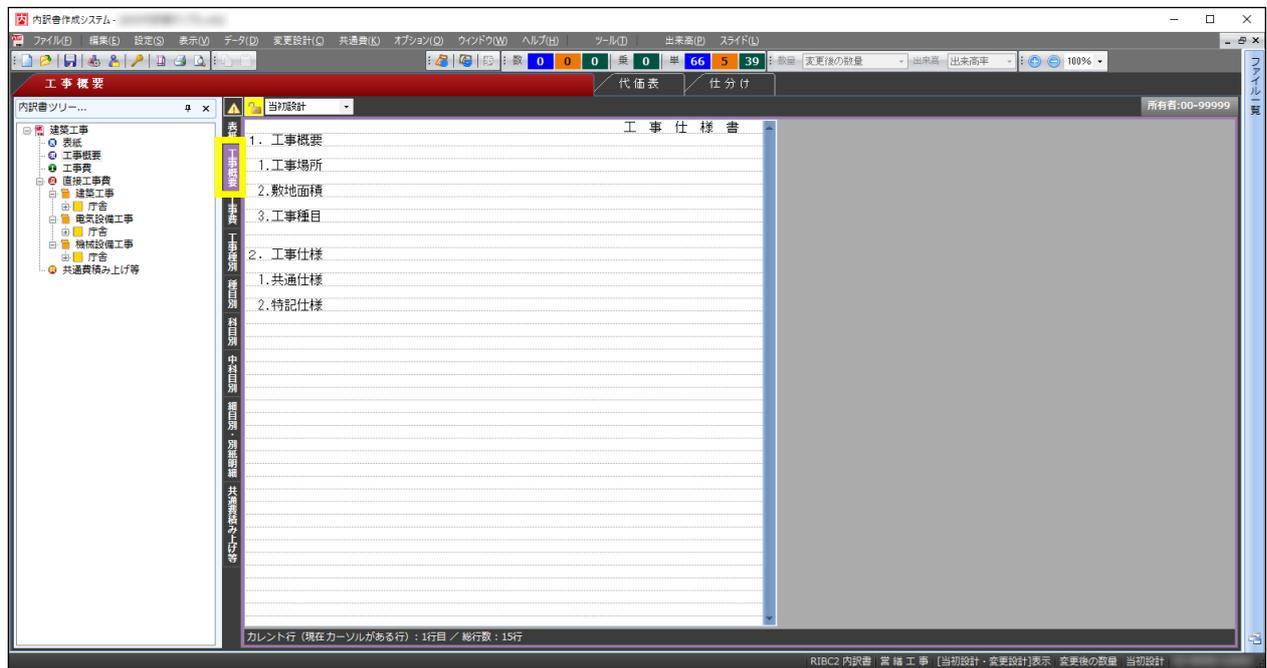
説明
① 工事名称を入力します。
② 工事場所を入力します。
③ 工期を入力します。
④ ①から③以外の任意の項目を入力します。
⑤ 契約日程を入力します。
⑥ 決裁欄を入力します。

システム記憶

説明
⑦ 現在の表紙の決裁欄に入力されている内容をシステム値として保存します。 保存した内容は、新規作成される内訳書に反映されます。
⑧ システム値として保存されている決裁欄の内容を現在の表紙の決裁欄に戻します。

工事概要

工事概要画面は、印刷物の工事概要頁に印刷する項目を表示します。



工事費

印刷物の工事費内訳書の内容を表示します。直接工事費、共通費、工事価格等が表示されます。



列見出し

工事費画面の列見出しには、以下の項目が表示されます。

	名称	説明
①	名 称	各項目の名前を表示します。
②	金 額	共通費計算を行った結果が表示されます。
③	備 考	2 段目と 3 段目にメモ等を入力できます。

ショートカットキー一覧

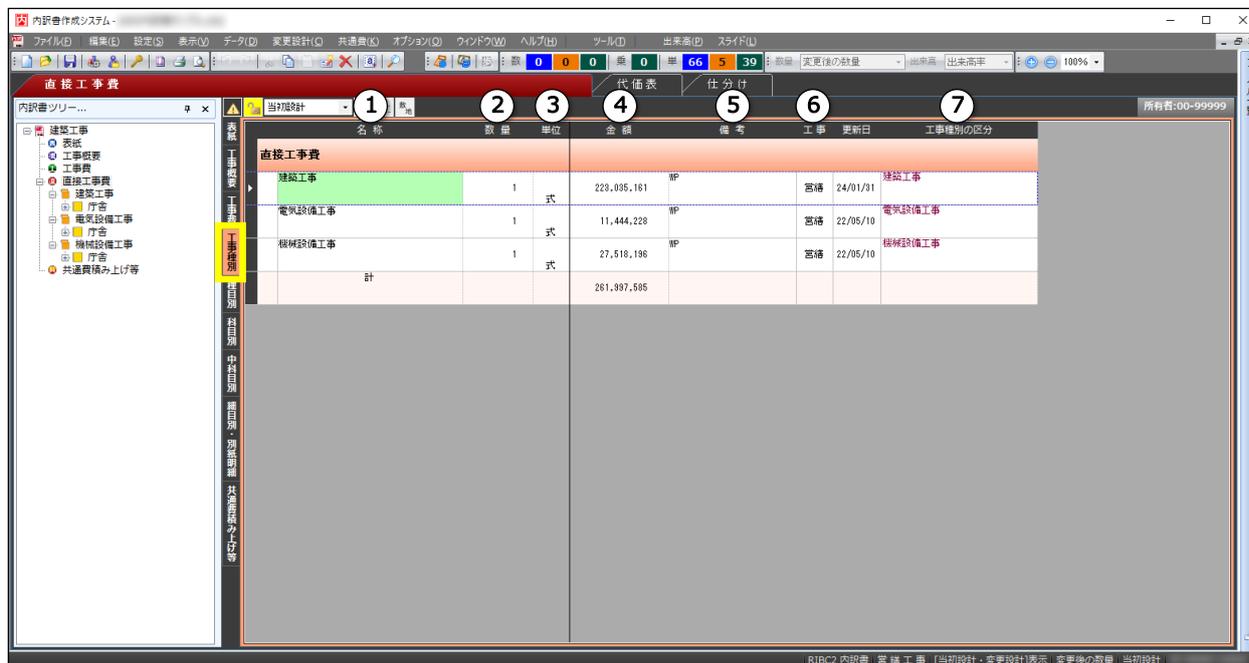
工事費画面には、以下のショートカットキーがあります。

キー	動 作
Enter	工事種別内訳書を表示します。(直接工事費選択時)
	共通費の算定画面を表示します。(共通費の名称欄選択時)
Home	代価表画面、仕分け画面から内訳書画面へ移動します。
End	内訳書画面、代価表画面から仕分け画面へ移動します。
F2	名称欄、備考欄を再編集します。

工事種別

印刷物の工事種別内訳書の内容を表示します。

建築工事、電気設備工事、機械設備工事及び昇降機設備工事等の金額を一式表示します。



列見出し

工事種別画面の列見出しには、以下の項目が表示されます。

名称	説明
① 名称	入力または選択された工事種別名称を表示します。
② 数量	「1」が表示されます。変更はできません。
③ 単位	「式」が表示されます。変更はできません。
④ 金額	下位の種目別内訳の合計金額を表示します。
⑤ 備考	2段目と3段目にメモ等を入力できます。
⑥ 工事	共通費を算定するときの設定です。 「営繕工事」または、「営繕工事以外」の工事を設定します。
⑦ 工事種別の区分	共通費を算定するときの工事種別の区分を設定します。

ショートカットキー一覧

工事種別画面には、以下のショートカットキーがあります。

キー	動作
Enter	種目別内訳書を表示します。
Back Space	工事費内訳書を表示します。
Home	代価表画面、仕分け画面から内訳書画面へ移動します。
End	内訳書画面、代価表画面から仕分け画面へ移動します。
F2	名称欄、備考欄を再編集します。
Space	行挿入【工事種別】画面を開きます。

種目別

印刷物の種目別内訳書の内容を表示します。

工事種別内訳行において区分した各工事の設計図書を表示に従い建物別と屋外に区分し、その種目の金額を一式表示します。

【例】庁舎、本館、別館、渡り廊下、等

名称	数量	単位	金額	備考	敷地	更新日	共通仮設費の区分 (初期値)
建築工事							
庁舎	1	式	228,085,181	001	敷地1	24/01/31	建築工事 新設工事
計			228,085,181				
電気設備工事							
庁舎	1	式	11,444,228	001	敷地1	22/05/10	電気設備工事 新設工事
計			11,444,228				
機械設備工事							
庁舎	1	式	27,518,188	001	敷地1	22/05/10	機械設備工事 新設工事
計			27,518,188				

列見出し

種目別画面の列見出しには、以下の項目が表示されます。

	名称	説明
①	名称	入力または選択された種目名称を表示します。
②	数量	「1」が表示されます。変更はできません。
③	単位	「式」が表示されます。変更はできません。
④	金額	下位の科目別内訳の合計金額を表示します。
⑤	備考	2段目と3段目にメモ等を入力できます。
⑥	敷地	共通費を算定するときの敷地区分を設定します。
⑦	共通仮設費の区分 (初期値)	共通費を算定するときの設定です。 種目別内訳書に属する細目別内訳書での [共通仮設費の区分] を設定します。

ショートカットキー一覧

種目別画面には、以下のショートカットキーがあります。

キー	動 作
Enter	科目別内訳書を表示します。
Back Space	工事種別内訳書を表示します。
Home	代価表画面、仕分け画面から内訳書画面へ移動します。
End	内訳書画面、代価表画面から仕分け画面へ移動します。
F2	名称欄、備考欄を再編集します。
Space	行挿入【種目別】画面を開きます。

科目別

印刷物の科目別内訳書の内容を表示します。

種目別内訳において区分した工事種目の直接工事費を主要な構成に従い区分し、その科目の金額を一式表示します。

【例】直接仮設、土工、電灯設備、動力設備、空気調和設備、衛生器具設備、等

名称	数量	単位	金額	備考	敷地	更新日
直接仮設	1	式	17,612,588	001	敷地!	24/01/31
土工	1	式	5,345,670	002	敷地!	22/05/10
地業	1	式	28,914,871	003	敷地!	22/05/10
鉄筋	1	式	15,388,375	004	敷地!	22/05/10
コンクリート	1	式	68,451,300	005	敷地!	22/05/10
型枠	1	式	19,898,834	006	敷地!	22/05/10
鉄骨	1	式	3,643,984	007	敷地!	22/05/10
防水	1	式	3,552,670	008	敷地!	22/05/10
タイル	1	式	14,743,200	011	敷地!	22/05/10
屋根及びとい	1	式	97,222	018	敷地!	22/05/10
金網	1	式	3,817,377	014	敷地!	22/05/10
左官	1	式	4,515,041	015	敷地!	22/05/10
建具	1	式	25,268,406	016	敷地!	22/05/10
塗装	1	式	2,028,167	018	敷地!	22/05/10

列見出し

科目別画面の列見出しには、以下の項目が表示されます。

名称	説明
① 名称	入力または選択された科目名称を表示します。
② 数量	「1」が表示されます。変更はできません。
③ 単位	「式」が表示されます。変更はできません。
④ 金額	下位の中科目別内訳の合計金額を表示します。
⑤ 備考	2段目と3段目にメモ等を入力できます。

ショートカットキー一覧

科目別画面には、以下のショートカットキーがあります。

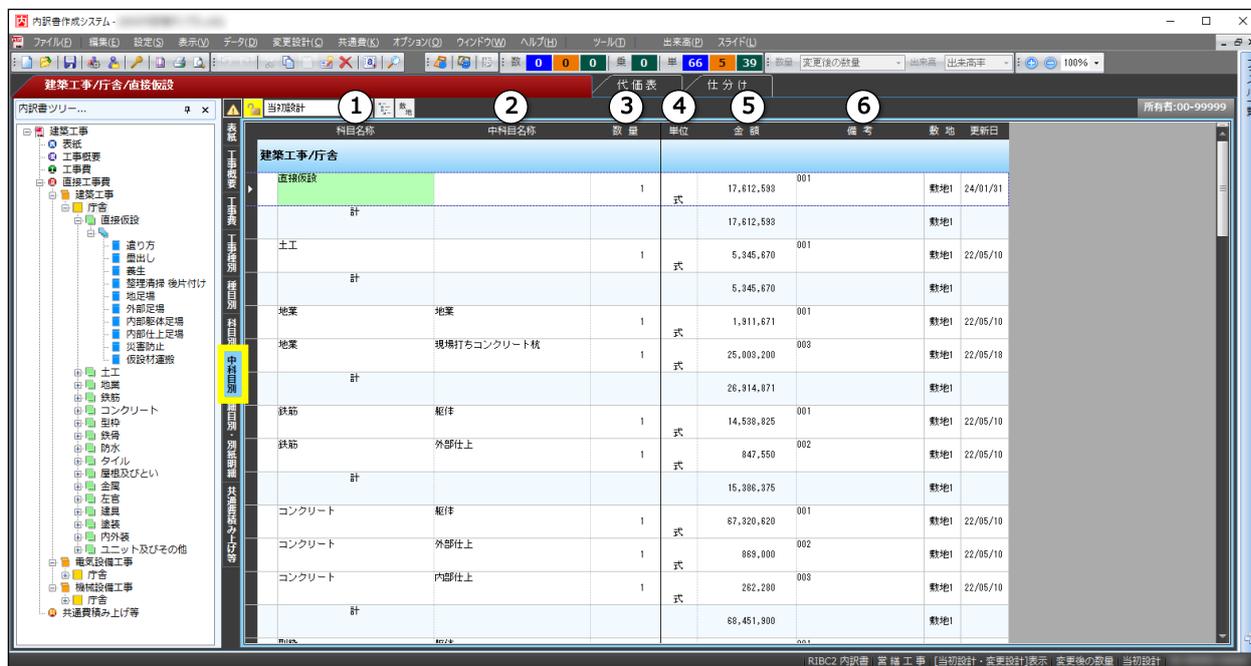
キー	動作
Enter	中科目別内訳書を表示します。
Back Space	種目別内訳書を表示します。
Home	代価表画面、仕分け画面から内訳書画面へ移動します。
End	内訳書画面、代価表画面から仕分け画面へ移動します。
F2	名称欄、備考欄を再編集します。
Space	行挿入【科目別】画面を開きます。

中科目別

印刷物の中科目別内訳書の内容を表示します。

科目別内訳において区分した科目をさらに主要な構成に従い区分し、その中科目の金額を一式表示します。

【例】外部、内部、電灯幹線、電灯分岐、機器設備、ダクト設備、等



列見出し

中科目別画面の列見出しには、以下の項目が表示されます。

名称	説明
① 科目名称	上位の科目別内訳の名称が表示されます。 この画面では編集不可です。
② 中科目名称	入力または選択された中科目名称を表示します。
③ 数量	「1」が表示されます。変更はできません。
④ 単位	「式」が表示されます。変更はできません。
⑤ 金額	下位の細目別内訳の合計金額を表示します。
⑥ 備考	2段目と3段目にメモ等を入力できます。

ショートカットキー一覧

中科目別画面には、以下のショートカットキーがあります。

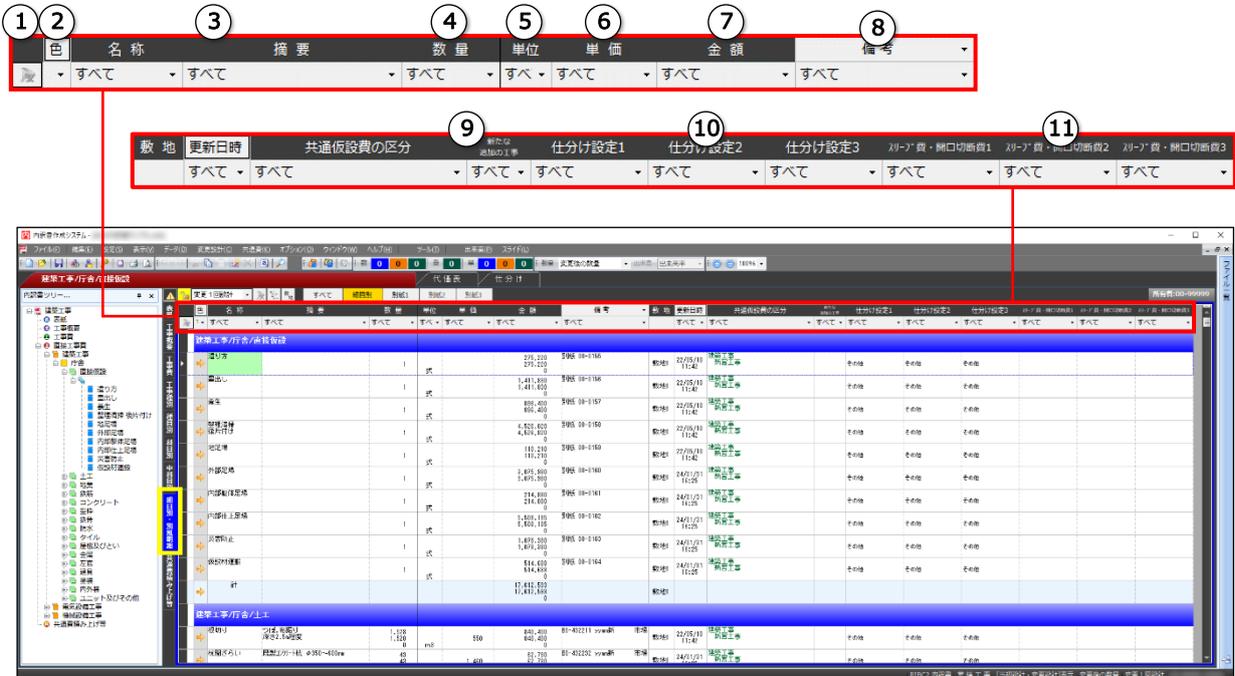
キー	動作
Enter	細目別・別紙明細内訳書を表示します。
Back Space	科目別内訳書を表示します。
Home	代価表画面、仕分け画面から内訳書画面へ移動します。
End	内訳書画面、代価表画面から仕分け画面へ移動します。
F2	名称欄、備考欄を再編集します。
Space	行挿入【中科目別】画面を開きます。

細目別・別紙明細

印刷物の細目別内訳書、別紙明細書の内容を表示します。

各科目あるいは中科目に属する細目ごとに数量・単価・金額を表示します。

なお、必要に応じて別紙明細書を作成し、1式で登録することもできます。



列見出し

細目別・別紙明細画面の列見出しには、以下の項目が表示されます。

名称	説明
①	変更設計時に金額の増減等や、出来高設計時に払済かどうかなどを表示します。
②	色分類やユーザーメモを表示します。
③ 名称 摘要	標準単価ファイルから選択した内容、または画面で直接入力された内容が表示されます。
④ 数量	入力された値を表示します。 別紙行の数量は「1」となり、変更できません。
⑤ 単位	単位を表示します。また、別紙行の単位は「式」となり、変更できません。 (住宅工事の内訳書では変更できます。)
⑥ 単価	単価の種類に応じた値を表示します。 別紙行では空白となり、代価表行では単価は変更できません。
⑦ 金額	単価の種類に応じた計算結果を表示します。 単位が「式」の見積り・刊行物等行は、値を入力できます。 別紙行では別紙明細の合計金額が表示されます。
⑧ 備考	1 段目は、行の種類ごとに表示が異なります。 2 段目と 3 段目にメモ等を入力できます。

名 称	説 明
⑨ 共通仮設費の 区 分	共通費を算定するときの「共通仮設費の区分」を表示します。 別紙明細行では使用できません。
新たな追加の 工 事	共通費を算定するときの新たな追加の工事の区分を設定します。 別紙明細行では使用できません。(当初設計では表示されません。)
⑩ 仕 分 け 設 定 1 ~ 3	任意の細目行の金額を集計するための仕分け名称を表示します。 仕分け名称は、仕分け画面の仕分け 1～3 画面で登録します。
⑪ スリーブ費・ 開 口 切 断 費 1 ~ 3	機械設備工事のスリーブ費・開口切断費の計上のための名称を表示します。 スリーブ費・開口切断費の名称は、仕分け画面のスリーブ費・開口切断費等 1～3 画面で登録します。

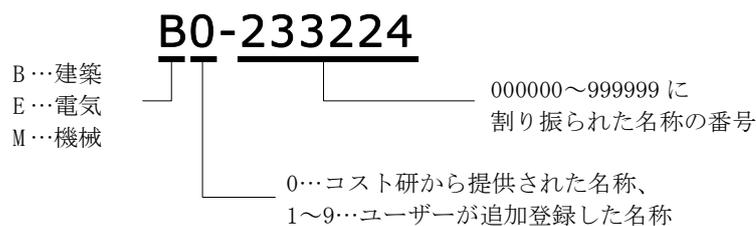
備考欄（1 段目）

備考欄 1 段目は、行の種類ごとに表示が異なります。

・標準単価ファイル行

表示例	説 明
B0-233224 H3004 標準	標準単価ファイルから登録された行です。 細目コード、単価ファイル識別用の名前、歩掛り区分を表示します。

細目コード



ファイル情報

以下のいずれかが表示されます。

- ・  標準単価ファイルのプロパティ画面に登録されている文字列
- ・ 標準単価ファイル行の単価を一括で入れ替え画面の備考表示欄に入力した文字列
- ・ 上記が空白の場合は、標準単価ファイル行の単価を一括で入れ替え画面の No. 欄

歩掛り区分

標準単価を計算した歩掛りの出典根拠が表示されます。

区分	出典
標準	公共建築工事標準単価積算基準（ 標準 歩掛り）
市場	公共建築工事標準単価積算基準（ 市場 単価）
参考	公共建築工事積算研究会 参考 歩掛り
資料	公共建築工事積算基準等 資料
補市	補正 市場単価
補算	補正 算出用 ※補正率の算定に使用している参考歩掛り等
市加	市場 単価加工 ※市場単価±材料単価、市場単価±複合単価
協議	営繕積算システム等開発利用 協議 会歩掛り ※標準歩掛りの補足資料
協参	営繕積算システム等開発利用 協議 会 参考 資料 ※見積単価等の検討資料
参資	上記単価以外の 参考 資料
独自	独自歩掛り ※ユーザーが作成した歩掛り
施工	一次単価（複合単価）

区分	出典
合成	一次単価（他の単価と組み合わせて使う単価）
材工	一次単価（市場単価）
材料	一次単価（材料単価）
労務	一次単価（労務単価）
住標	公共 住 宅建設工事積算基準（ 標準 歩掛り）
住市	公共 住 宅建設工事積算基準（ 市場 単価）

※歩掛り区分の前に「※」が表示されている行は、名称や摘要、単位が修正されていますが、標準単価ファイルとの関連付けは残っています。

・見積り・刊行物等行

表示例	説明
(見積り・刊行物等)	標準単価ファイルにない項目（見積り単価等）を手入力で登録した行です。見積分類、見積コードを入力できます。

・別紙行

表示例	説明
別紙 00-0001	別紙明細の先頭行です。 最初の2桁は、設計回数を表します。 後ろの4桁は、設計回数毎に0001から登録順に発番します。

・代価表行

表示例	説明
代価表 0001	代価表行です。0001から発番されます。

・スリーブ費・開口切断費行

表示例	説明
スリーブ費等 1-002	スリーブ費・開口切断費の名称を登録した行です。

・小計行

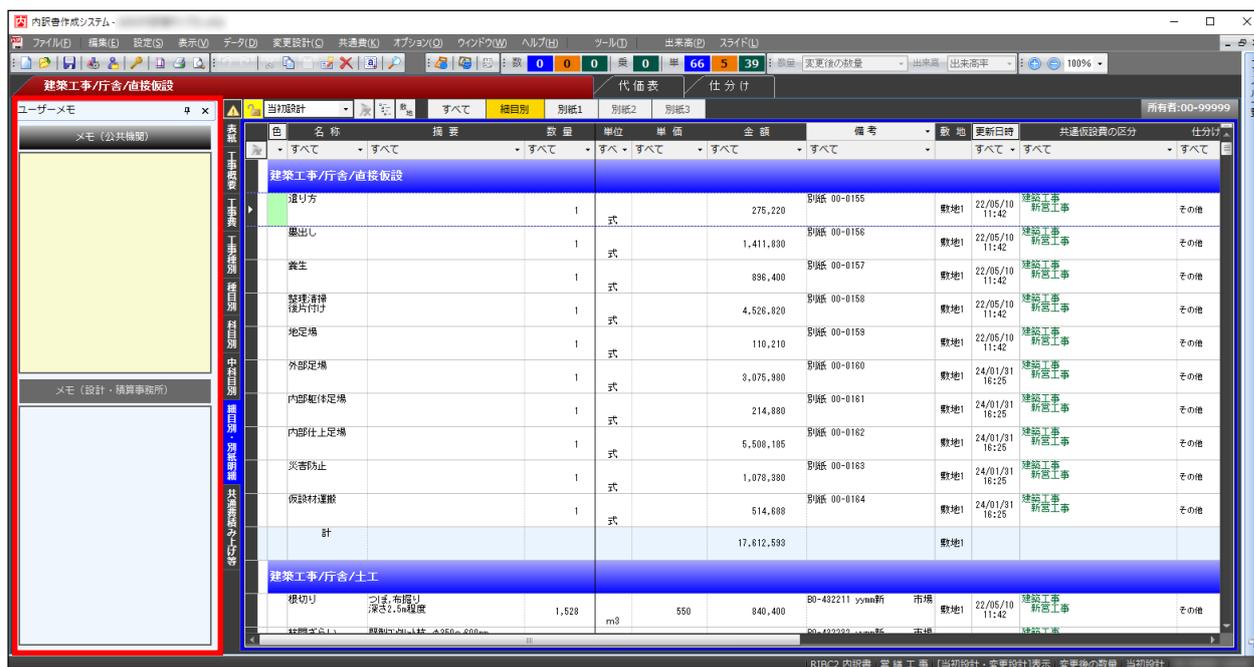
表示例	説 明
(小計)	小計行です。

・コメント行

表示例	説 明
(コメント)	コメント行です。

メモ

細目別・別紙明細画面において、名称欄の左の欄をクリックすると、「ユーザーメモ」が表示され、メモを登録することができます。



協議会ユーザーならびに、公共機関ユーザーは、「メモ (公共機関)」を使用することができ、一般ユーザーは、「メモ (設計・積算事務所)」を使用することができます。

ショートカットキー一覧

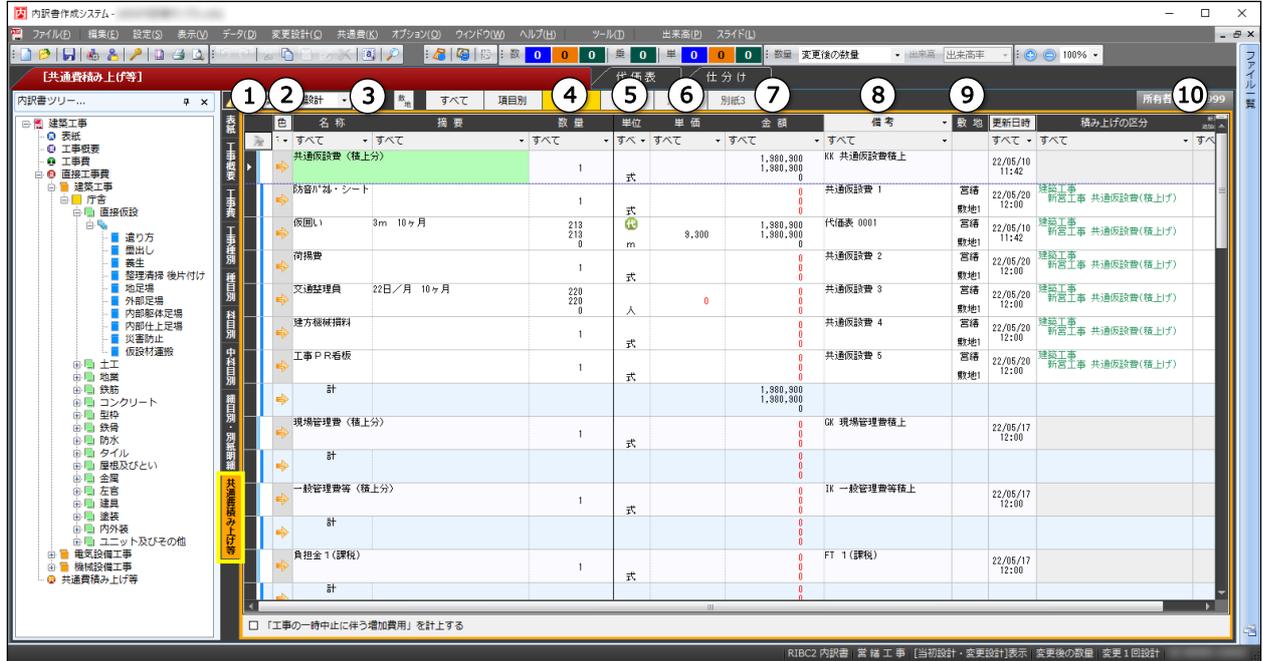
細目別・別紙明細画面には、以下のショートカットキーがあります。

キー	動 作
Enter	別紙明細行の表示／非表示を切り替えます。(別紙行の名称欄、摘要欄選択時)
	代価表画面を表示します。(代価表行の名称欄、摘要欄選択時)
Back Space	中科目別内訳書を表示します。
Home	代価表画面、仕分け画面から内訳書画面へ移動します。
End	内訳書画面、代価表画面から仕分け画面へ移動します。
F2	名称欄から備考欄を再編集します。
Space	行挿入画面を開きます。

共通費積み上げ等

共通仮設費や現場管理費の積み上げ分や負担金等の項目を表示します。

なお、必要に応じて別紙明細書を作成し、1式で登録することもできます。



列見出し

共通費積み上げ等画面の列見出しには、以下の項目が表示されます。

名称	説明
①	変更設計時に金額の増減等や、出来高設計時に払済かどうかなどを表示します。
②	色分類やユーザーメモを表示します。
③	名称 摘要 標準単価ファイルから選択した内容、または画面で直接入力された内容が表示されます。
④	数 量 入力された値を表示します。 別紙行の数量は「1」となり、変更できません。
⑤	単 位 単位を表示します。 また、別紙行の単位は「式」となり、変更できません。
⑥	単 価 単価の種類に応じた値を表示します。 別紙行では空白となり、代価表行では単価は変更できません。
⑦	金 額 単価の種類に応じた計算結果を表示します。 単位が「式」の見積り・刊行物等行は、値を入力できます。 別紙行では別紙明細の合計金額が表示されます。
⑧	備 考 1段目は、行の種類ごとに表示が異なります。 2段目と3段目にメモ等を入力できます。
⑨	敷 地 共通費を算定するときの敷地の区分を設定します。

名 称	説 明
⑩ 積み上げの 区 分 新たな追加の 工 事	共通費を算定するときの「積み上げの区分」を表示します。 別紙明細行では使用できません。
	共通費を算定するときの新たな追加の工事の区分を設定します。 別紙明細行では使用できません。(当初設計では表示されません。)

備考欄（1 段目）

細目別・別紙明細画面と同様です。

メモ

細目別・別紙明細画面と同様です。

ショートカットキー一覧

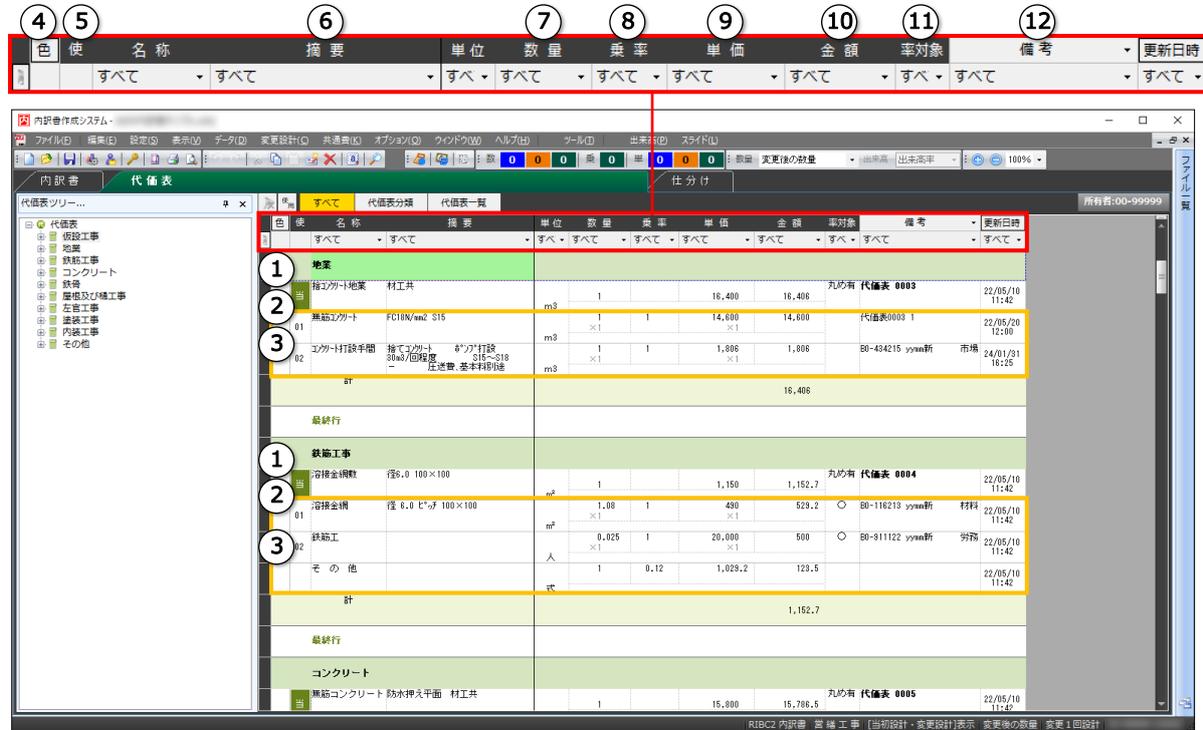
共通費積み上げ等画面には、以下のショートカットキーがあります。

キー	動 作
Enter	明細行の表示／非表示を切り替えます。(項目行の名称欄選択時)
	別紙明細行の表示／非表示を切り替えます。(別紙行の名称欄、摘要欄選択時)
	代価表画面を表示します。(代価表行の名称欄、摘要欄選択時)
Home	代価表画面、仕分け画面から内訳書画面へ移動します。
End	内訳書画面、代価表画面から仕分け画面へ移動します。
F2	名称欄から備考欄を再編集します。
Space	行挿入画面を開きます。

代価表

内訳書ファイルで作成された代価表を一覧で表示します。

また、代価表分類を登録して、作成した代価表を整理することができます。



行の種類

代価表画面では、次の行を表示します。

種類	説明
① 代価表分類行	代価表をグループ分けするための行です。
② 代価表一覧行	内訳書で表示される行です。
③ 代価表内訳行	代価表を構成する行です。材料費や労務費、その他の行などです。

列見出し (代価表一覧行)

代価表一覧行の場合の列見出しには、以下の項目を表示します。

名称	説明
④	色分類やユーザーメモを表示します。
⑤ 使	「当」や「変1」等が表示されている行は細目別・別紙明細画面または共通費積み上げ等画面に登録されている代価表です。 当：当初設計 変1等の数字：変更設計の回数 空白表示の行は内訳書には登録されていない代価表です。
⑥ 名称	入力された内容が表示されます。
摘要	
単位	

名 称	説 明
⑦ 数 量	デフォルトは、「1」を表示します。 金額に表示された値を単位当たりで割り戻すときに入力します。
⑧ 乗 率	使用しません。
⑨ 単 価	金額欄を単位数量で割り、端数処理を適用した値が表示され、内訳書の単価欄にも表示されます。手入力することはできません。
⑩ 金 額	代価表内訳行の合計金額が表示されます。 手入力することはできません。
⑪ 率 対 象	単価欄に表示される値を端数処理するかどうかを表示します。 「丸め有」が表示されている行は、単価欄に端数処理が行われます。 端数処理を行わないようにするには、率対象欄をクリックし、設定メニューの「代価表で算定した単価の端数処理」から「端数処理は行わない」をクリックします。
⑫ 備 考	1 段目は代価表の番号です。 2 段目と 3 段目にメモ等を入力できます。

列見出し (代価表内訳行)

代価表内訳行の場合の列見出しには、以下の項目を表示します。

名 称	説 明
④	色分類やユーザーメモを表示します。
⑤ 使	行番号を表示します。01～99 までです。
⑥ 名 称 摘 要 単 位	標準単価ファイルから選択した内容、または、画面で入力された内容が表示されます。
⑦ 数 量	1 段目：代価を構成する単価の歩掛りまたは数量、率を表示します。 (整数 4 桁、小数点以下 5 桁) 2 段目：「×1.2」等の表示は、数量欄に補正率を設定していることを表します。 補正率は、整数 2 桁、小数点以下 5 桁まで入力できます。
⑧ 乗 率	初期状態では 1 を表示します。 数量欄に割増または低減を行う場合に入力します。 (整数 3 桁、小数点以下 5 桁) なお、「その他」行は、「その他」の率を入力します。 小数点以下 2 桁まで入力することができます。
⑨ 単 価	1 段目：単価の種類に応じた値を表示します。 標準単価ファイル行と見積り・刊行物等行は、直接入力することができます。 2 段目：「×1.2」等の表示は、単価欄に補正率を設定していることを表します。 補正率は整数 2 桁、小数点以下 5 桁まで入力できます。
⑩ 金 額	数量×乗率×単価×補正率を表示します。
⑪ 率 対 象	「その他」の率の対象かどうかを表します。 [○] が表示されている行は「その他」の率の対象となる行です。
⑫ 備 考	1 段目は行の種類毎に表示が異なります。 2 段目と 3 段目にメモ等を入力できます。

備考欄（1 段目）

細目別・別紙明細画面と同様です。

メモ

細目別・別紙明細画面と同様です。

ショートカットキー一覧

代価表画面には、以下のショートカットキーがあります。

キー	動 作
Enter	代価表分類や代価表を開きます。
Back Space	代価表や代価表内訳を閉じます。
Home	代価表画面、仕分け画面から内訳書画面へ移動します。
End	内訳書画面、代価表画面から仕分け画面へ移動します。
F2	代価表分類行の名称欄を再編集します。
	代価表一覧行と代価表内訳行の名称欄から備考欄を再編集します。
Space	行挿入画面を開きます。

仕分け

仕分け画面の [仕分け1] ～ [仕分け3]、[スリーブ費・開口切断費等1] ～ [スリーブ費・開口切断費等3] 画面には、細目別内訳から任意の行の金額を集計して表示させることができます。

[仕分け1] ～ [仕分け3] 画面の出力結果は、内訳書（代価表は除く）を外部ファイル（Excel・CSV）に出力する機能や印刷機能を使って Excel ファイルに出力することができます。

また、[スリーブ費・開口切断費等1] ～ [スリーブ費・開口切断費等3] 画面の名称と集計金額は、行挿入画面を使って内訳書で引用することができます。

列見出し

仕分け1～スリーブ費・開口切断費等3の列見出しには、以下の項目を表示します。

名称	説明
① 名称	登録した名称を表示します。
② 前回金額	変更設計書を開いているときに、前回設計での集計金額を表示します。
③ 今回金額	現在の表示している設計回数集計金額を表示します。
④ 差金額	変更設計書を開いているときに、今回金額と前回金額の差額を表示します。
⑤ 出来高金額	出来高の入力時に表示されます。出来高の金額の集計値を表示します。

ショートカットキー一覧

仕分け画面には、以下のショートカットキーがあります。

キー	動作
Home	代価表画面、仕分け画面から内訳書画面へ移動します。
End	内訳書画面、代価表画面から仕分け画面へ移動します。
F2	名称欄を再編集します。
Space	行挿入画面を開きます。

Ⅱ-2.機能説明

[ファイル(F)]メニュー

新規作成
Ctrl + N
Alt + F + N

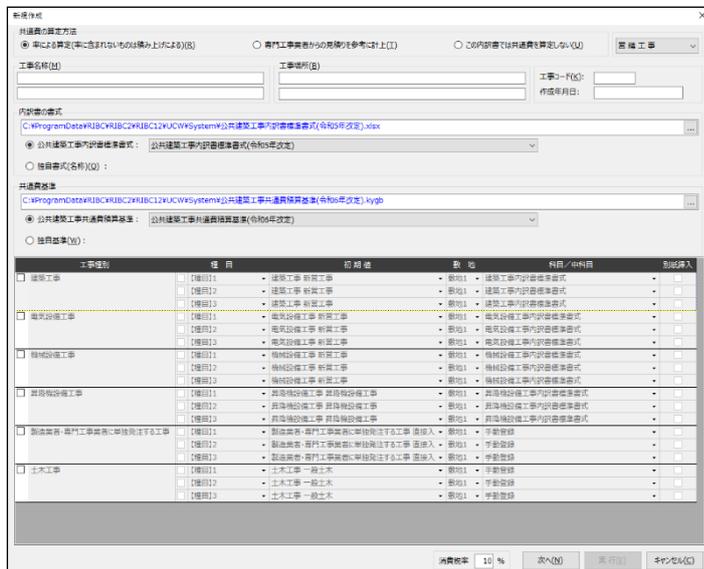
内訳書
代償表
仕分け

表紙
工事概要
工事費
工事種別
種目別
科目別
中科目別
細目別・別紙明細
共通費積み上げ等
すべて
分類
一覧

内訳書ファイルを新規作成します。

※ 内訳書の書式に「公共建築工事内訳書標準書式（令和5年改定）」を選択し、工事種別や種目などを設定することにより、書式に沿った形で 内訳書ファイルを自動作成することができます。

※ そのまま、次へボタンをクリックすると、内訳書作成の過程で、工事種別や種目などを手動で作成することができます。



開く
Ctrl + O
Alt + F + O

内訳書
代償表
仕分け

表紙
工事概要
工事費
工事種別
種目別
科目別
中科目別
細目別・別紙明細
共通費積み上げ等
すべて
分類
一覧

内訳書ファイル、 経年比較内訳書ファイル、 見積比較ファイル、 歩掛りファイルを開きます。

閉じる  Ctrl + W
Alt + F + C

内訳書 代価表 仕分け

表紙 工事概要 工事費 工事種別 種目別 科目別 中科目別 細目別・別紙明細 共通費積み上げ等 すべて 分類 一覧

作業中のファイル ( 内訳書ファイル、  経年比較内訳書ファイル) を閉じます。

上書き保存  Ctrl + S
Alt + F + S

内訳書 代価表 仕分け

表紙 工事概要 工事費 工事種別 種目別 科目別 中科目別 細目別・別紙明細 共通費積み上げ等 すべて 分類 一覧

作業中のファイル ( 内訳書ファイル、  経年比較内訳書ファイル) を上書き保存します。

名前を付けて保存 F12
Alt + F + A

内訳書 代価表 仕分け

表紙 工事概要 工事費 工事種別 種目別 科目別 中科目別 細目別・別紙明細 共通費積み上げ等 すべて 分類 一覧

作業中のファイル ( 内訳書ファイル、  経年比較内訳書ファイル) に名前を付けて保存します。

プロパティ Ctrl + B
Alt + F + R

内訳書 代価表 仕分け

表紙 工事概要 工事費 工事種別 種目別 科目別 中科目別 細目別・別紙明細 共通費積み上げ等 すべて 分類 一覧

 内訳書ファイルで参照している書式ファイルや共通費情報ファイルを変更したりします。

- **共通費の算定方法**
共通費計算の方法を選択します。
- **参照ファイル**
 - **内訳書の書式**
 - a) 「公共建築工事内訳書標準書式」に準じた内訳書を作成します。
 - b) ユーザー独自の種目・科目・中科目メニューを参照して内訳書を作成します。
 - **共通費基準**
 - a) 「公共建築工事共通費積算基準」に掲載の共通费率等を使って共通費を算定します。
 - b) ユーザー独自の共通費情報ファイルを使って共通費を算定します。
- **編集**
内訳書ファイルの動作設定を変更します。
- **表示**
科目別内訳書の備考欄に表示される科目比率や細目別内訳書の備考欄に表示される別紙明細番号などの表示方法を変更します。

・カスタマイズ

共通費の算定を RIBC2 でおこなうか、ユーザーが独自に作成した外部ファイルを利用しておこなうかを設定します。

端数処理 Alt + F + H

内訳書
代価表
仕分け

表紙
工事概要
工事費
工事種別
種目別
科目別
中科目別
細目別・別紙明細
共通費積み上げ等
すべて
分類
一覧

内訳 内訳書ファイル毎に、丸め処理の種類や有効桁の設定をおこないます。

- ・直接工事費
- ・代価表
- ・細目別内訳書等に計上する金額（数量×単価）
- ・共通費
- ・工事価格
- ・出来高数量

※ 端数処理のデフォルト設定は、「公共建築工事積算基準等資料」および「工事費積算における数値の取扱い（例）（国土交通省作成）」に準じています。

セキュリティ Alt + F + L

内訳書
代価表
仕分け

表紙
工事概要
工事費
工事種別
種目別
科目別
中科目別
細目別・別紙明細
共通費積み上げ等
すべて
分類
一覧

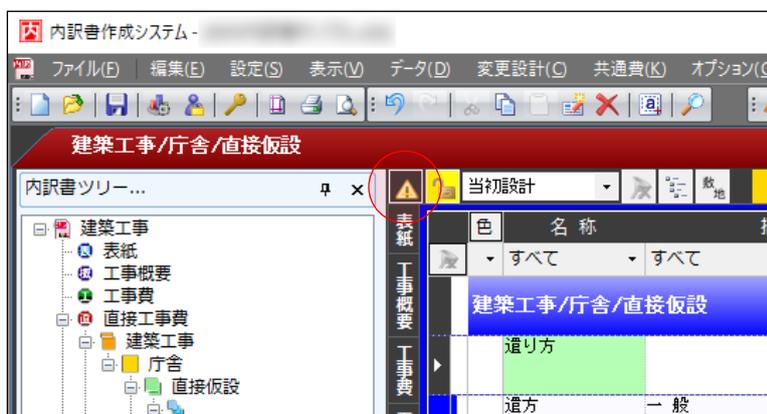
▶ 公開情報



Alt+F+L+I

内訳 内訳書ファイルを他のユーザーに提供した場合のセキュリティ機能を設定します。

内訳 内訳書ファイルでは、公開情報の設定状況がアイコンで表示されます。



II. 内訳書ファイル

II-2. 機能説明

-  所有者以外のユーザーに単価欄、金額欄、備考欄を表示しない設定。
-  国土交通省、都道府県及び政令指定都市、国・市町村・公団・事業団のユーザーに対しては、単価欄、金額欄、備考欄が表示される設定。
-  設計・積算事務所のユーザーに対して、単価欄、金額欄、備考欄が表示される設定。

・データ公開内容の種類

・すべて

他のユーザーの内訳書作成システムでも、すべてのデータが表示されます。

・マスク表示／標準単価ファイルから取得した単価行のみマスク表示

他のユーザーの内訳書作成システムでは、単価欄および金額欄、備考欄（2、3行目）が「*」で表示されます。

※「標準単価ファイルから取得した単価行のみマスク表示」を選択した場合、直接工事費、種目別、科目別、中科目別の金額表示オプションである「百万円以上は有効上位2桁より後をマスク表示。百万円未満は十万円単位より後をマスク表示。」を選択することができます。

・0円クリア／標準単価ファイルから取得した単価行のみ0円クリア

他のユーザーの内訳書作成システムでは、単価欄、金額欄を0円クリアして表示されます。

▶ パスワード



Alt+F+L+P

作業中のファイル（ 内訳書ファイル、 経年比較内訳書ファイル）にパスワードを設定して、データを保護します。

印刷書式設定



Alt + F + U

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

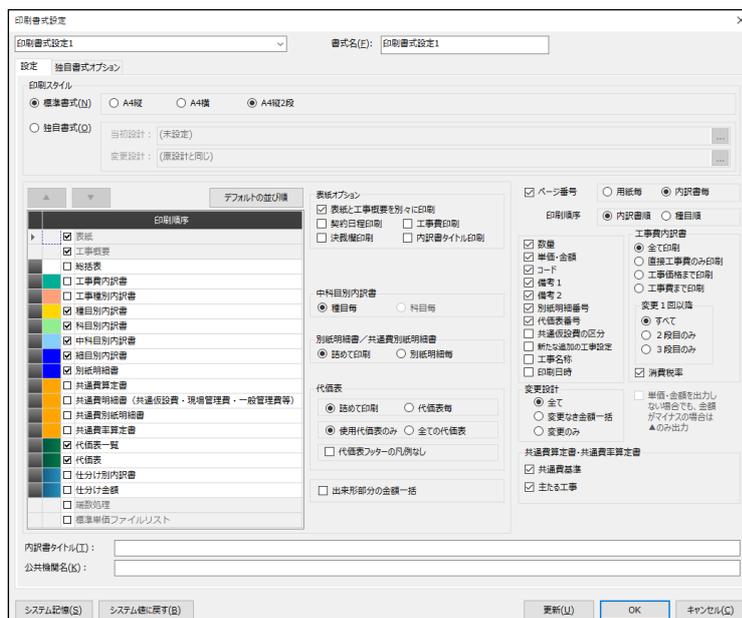
共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

印刷する内訳書や印刷スタイル及び印刷項目等を選択します。



印刷プレビュー



Alt + F + V

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

内訳書の印刷イメージを画面で確認します。

印刷



Ctrl + P

Alt + F + P

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

内訳書を印刷します。

なお、印刷イメージを PDF ファイルや Excel ファイル (*.xls、*.xlsx) に出力することもできます。

※ Excel ファイル形式での出力は、Microsoft Excel がインストールされていないと実行できません。

※ 出力した Excel ファイルや PDF ファイルの内容を 内訳書ファイルに書き戻すことはできません。

また、 Excel ファイルに計算式は設定されません。

フィルタの抽出条件で絞り込んだ画面イメージの印刷プレビュー

Alt + F + M

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

フィルタ機能を使用して、表示されている画面の印刷イメージを確認します。

フィルタの抽出条件で絞り込んだ画面イメージの印刷

Alt + F + W

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

フィルタ機能を使用して、表示されている画面を印刷します。

※ PDF ファイルや Excel ファイル (*.xls、*.xlsx) に出力する機能はありません。

行選択した代価表をプレビュー

Alt + F + M

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

代価表画面で選択されている代価表の印刷イメージを確認します。

行選択した代価表を印刷

Alt + F + W



代価表画面で選択されている代価表を印刷します。

なお、印刷イメージを  PDF ファイルや  Excel ファイル (*.xls、*.xlsx) に出力することもできます。

内訳書作成システムの終了



Alt + F + X



内訳書作成システムを終了します。

[編集(E)]メニュー

元に戻す   Ctrl + Z
Alt + E + U

内訳書 代価表 仕分け

表紙 工事概要 工事費 工事種別 種目別 科目別 中科目別 細目別・別紙明細 共通費積み上げ等 すべて 分類 一覧

前の操作を取り消します。

やり直す   Ctrl + Y
Alt + E + R

内訳書 代価表 仕分け

表紙 工事概要 工事費 工事種別 種目別 科目別 中科目別 細目別・別紙明細 共通費積み上げ等 すべて 分類 一覧

取り消した操作をやり直します。

切り取り   Ctrl + X
Alt + E + T

内訳書 代価表 仕分け

表紙 工事概要 工事費 工事種別 種目別 科目別 中科目別 細目別・別紙明細 共通費積み上げ等 すべて 分類 一覧

選択した行を切り取ります。

切り取りをキャンセル   Ctrl + X
ESC
Alt + E + T

内訳書 代価表 仕分け

表紙 工事概要 工事費 工事種別 種目別 科目別 中科目別 細目別・別紙明細 共通費積み上げ等 すべて 分類 一覧

選択した行の切り取り状態を解除します。

コピー   Ctrl + C
Alt + E + C

内訳書 代価表 仕分け

表紙 工事概要 工事費 工事種別 種目別 科目別 中科目別 細目別・別紙明細 共通費積み上げ等 すべて 分類 一覧

セルまたは選択した行をコピーします。

貼り付け Ctrl + V Alt + E + P

内訳書
代価表
仕分け

表紙
工事概要
工事費
工事種別
種目別
科目別
中科目別
細目別・別紙明細
共通費積み上げ等
すべて
分類
一覧

コピーしたセルの値を、別のセルに貼り付けます。

- ※ 貼り付けできるセル：名称、摘要、単位、備考（2行目と3行目）の相互間、数量、単価、金額（細目別内訳書、別紙明細の単位が一式の見積り行のみ）の相互間

コピーした行の挿入 Alt + E + I

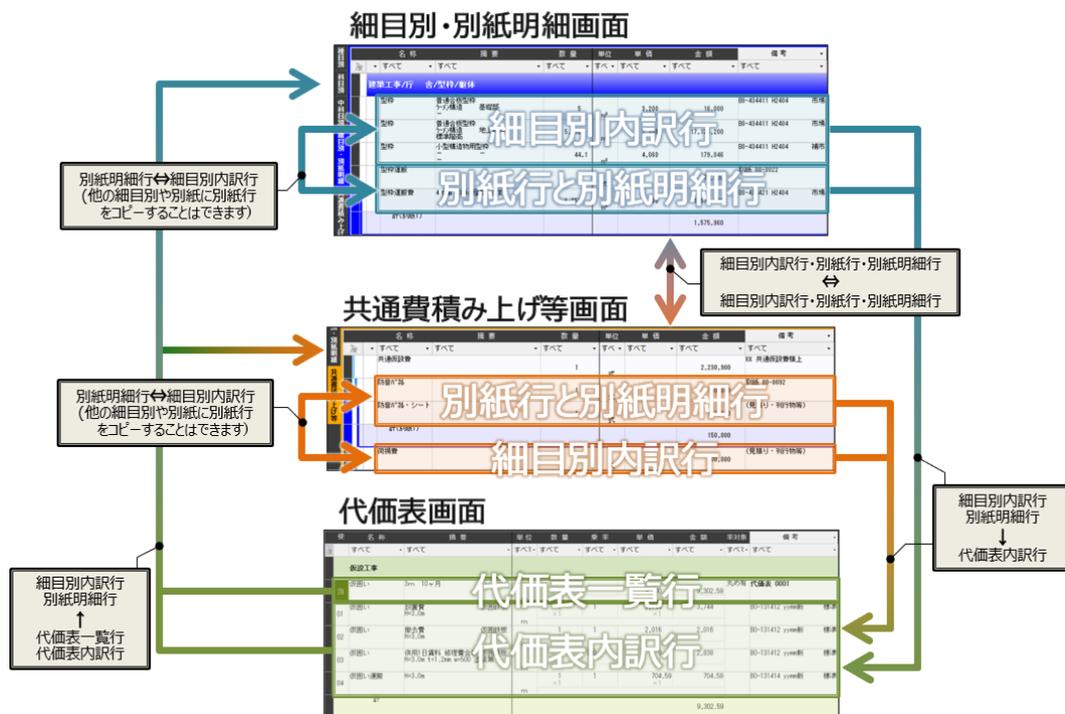
内訳書
代価表
仕分け

表紙
工事概要
工事費
工事種別
種目別
科目別
中科目別
細目別・別紙明細
共通費積み上げ等
すべて
分類
一覧

コピーをおこなった行を挿入します。

例1：コピー&行挿入で、コピーした行を同じ内訳書に挿入する時に使用します。

- ※ 選択した行に下位の内訳書が含まれる場合は、選択した行を含むすべての行がコピーされます。
- ※ 原則として、行のコピーは同じ階層の内訳書でしか実行できません。例えば、科目別内訳書の行を中科目別内訳書にコピーすることはできません。ただし、以下の場合は、コピーができます。



- ※ 細目別内訳書の代価表行をコピーすると、同じ代価表を参照する行が複製されます。
- ※ 変更設計書の行をコピーした場合は、変更後の数量がコピーされます。前回設計の数量はゼロが設定されます。
- ※ 出来高設計書の行をコピーしても、出来高数量、出来高率、出来高金額はコピーされません。

例2：コピー&行挿入で、コピーした行を別の内訳書ファイルに挿入する時に使用します。

※ 代価表が従属している行をコピーした場合は、コピー先の内訳書ファイルに参照している代価表も複製されます。代価表番号は新しい番号になります。

※ 他のユーザー等から受領した内訳書ファイルの行をコピーすると、公開情報の設定により、0円クリア処理がおこなわれる場合があります。



切り取りをおこなった行を挿入します。

例1：切り取り&行挿入で、切り取った行を同じ内訳書に挿入する時に使用します。

※ 選択した行に下位の内訳書が含まれる場合は、選択した行を含むすべての行が移動されます。

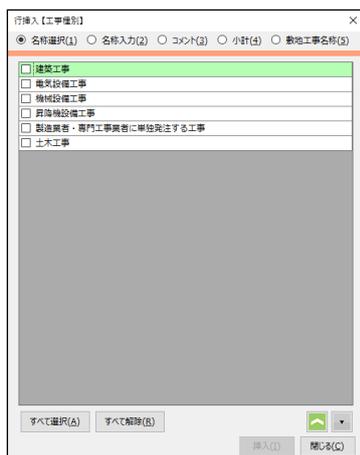
※ 原則として、行の移動は同じ階層の内訳書でしか実行できません。例えば、科目別内訳書の行を中科目別内訳書に移動することはできません。

例2：切り取り&行挿入で、切り取った行を別の内訳書ファイルに挿入する時に使用します。

※ 別の内訳書ファイルに移動する場合は、切り取りではなく、コピーが実行されます。



工事種別画面、種目別画面、科目別画面、中科目別画面に行を挿入します。



・名称選択

一覧から名称を選択して挿入します。

・名称入力

手入力した名称を挿入します。

・コメント

見出しの行や改ページの調整用に空白行を挿入します。

・小計

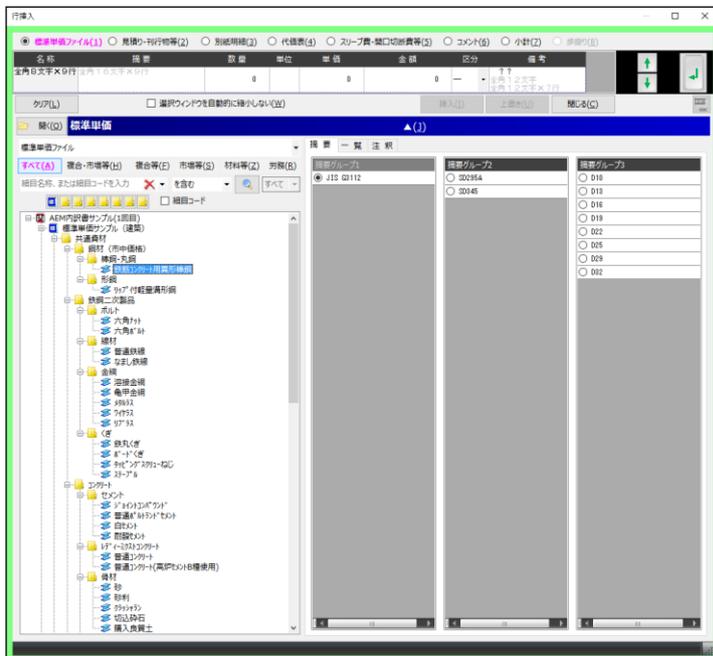
小計行までの合計金額を表示する行を挿入します。

・敷地工事名称

工事種別画面に敷地毎の見出し行（敷地工事名称行）を挿入します。



細目別・別紙明細画面、共通費積み上げ等画面に行を挿入します。



• 標準単価ファイル

 標準単価ファイルから選択した名称、摘要、単位、単価等を内訳書に登録します。

※ 赤字で表示されている行は、単価を引用している  標準単価ファイルが存在していません。

※ 利用期限が過ぎた  標準単価ファイルは、開くことができません。

• 見積り・刊行物等

 標準単価ファイルにない項目（見積単価等）に登録します。

名称、摘要、単位、数量、単価等を手入力します。

• 別紙明細

別紙行を登録し、その下に別紙明細行を登録します。

別紙行は一式計上されます。

• 代価表

代価表を参照する行を登録します。

• スリーブ費・開口切断費等

機械設備工事の配管工事のスリーブ費等を登録します。

• コメント

見出し用の行や改ページの調整用に空白行を登録します。

• 小計

小計行までの合計金額を表示する行を挿入します。

行挿入【代価表分類】



Alt + E + Z

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

代価表画面に代価表分類行を挿入します。

代価表分類 新規挿入画面

登録する名称を入力してください。

行挿入【代価表】



Alt + E + Z

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

代価表画面に代価表一覧行を挿入します。

行挿入

標準単価ファイル(L) 見積り・見積り等(2) 別紙明細(2) **代価表(A)** スロープ費・開口切替費等(S) コメント(S) 小計(Z) 歩掛り(B)

名称 検索 数量 単位 単価 金額 区分 備考

全角ひらがな×9行 半角ひらがな×9行

代価表 XXXX
全角ひらがな×7行 半角ひらがな×7行

タイプ(L) 選択オプションを自動的に隠さない(V)

代価表 ▲(J)

選択(O) コピー(O) 新規(A) 仮設工事

名称	摘要	単位	単価	備考	更新
仮設工事					
仮囲い	3m 10ヶ月	m	0	代価表 0001	23/6/12
外部土足場	高さ4.0以上5.6未満 特種足場 1層1㎡	m ²	0	代価表 0002	23/6/12
地盤					
独立枠地盤	材工共	m ³	14,800	代価表 0003	23/6/12
鉄筋工事					
溶接金種敷	径5.0 100×100	m ²	0	代価表 0004	23/6/12
コンクリート					
無筋コンクリート	防水押え平面 材工共	m ³	14,800	代価表 0005	23/6/12
無筋コンクリート	業上材 材工共	m ³	14,800	代価表 0006	23/6/12
鉄骨					
アンカーボルト	M20 L=600 (6種)	本	5,000	代価表 0007	23/6/12
屋根及び壁工事					
円錐	L=800 鋼管 100φ	カ所	0	代価表 0008	23/6/12
左官工事					
鉄筋工事	径400	m	0	代価表 0009	23/6/12

挿入するには、「挿入」ボタンをクリックしてください。

- 標準単価ファイル

標準単価ファイルの単価をコピーして代価表を作成します。

- 代価表

代価表の名称や摘要を入力して代価表を作成します。

- 歩掛り

歩掛りファイルの歩掛りをコピーして、代価表を作成します。

行挿入【代価表内訳】

Alt + E + Z

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

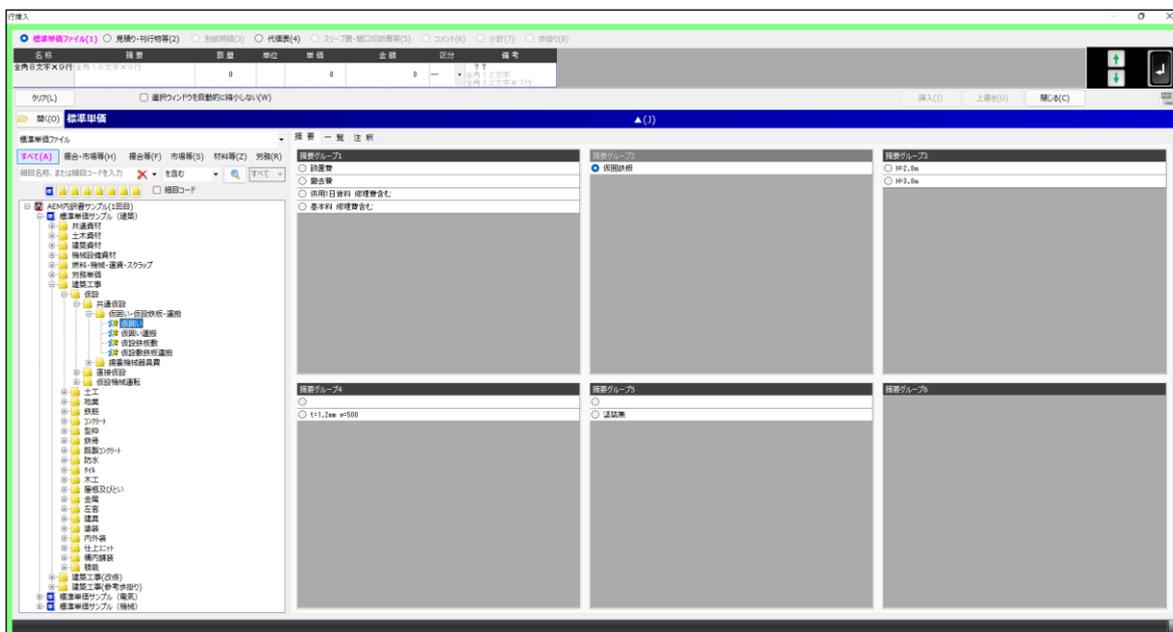
共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

代価表画面に代価表内訳行を挿入します。



• 標準単価ファイル

標準単価ファイルから選択した名称、摘要、単位、単価を代価表内訳に登録します。

※ 利用期限が過ぎた 標準単価ファイルは、開くことができません。

• 見積り・刊行物等

標準単価ファイルにない項目（見積単価等）を代価表内訳に登録します。

名称、摘要、単位、数量、単価を手入力します。

• 代価表

代価表を参照する行を代価表内訳に登録します。

行挿入



Alt + E + Z

内訳書

代価表

仕分け

表紙 工事概要 工事費 工事種別 種目別 科目別 中科目別 細目別・別紙明細 共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

仕分け画面に仕分け機能を利用するための金額集計用の名称を登録します。

仕分け 新規挿入画面 ×

登録する名称を入力してください。

スリーブ費・開口切断費等画面にスリーブ費や開口切断費等を集計するための名称を登録します。

スリーブ費・開口切断費等 新規挿入画面 ×

登録する名称を入力してください。

削除



Del

Alt + E + D

内訳書

代価表

仕分け

表紙 工事概要 工事費 工事種別 種目別 科目別 中科目別 細目別・別紙明細 共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

選択した行を削除します。

すべて選択



Ctrl + A

Alt + E + A

内訳書

代価表

仕分け

表紙 工事概要 工事費 工事種別 種目別 科目別 中科目別 細目別・別紙明細 共通費積み上げ等

すべて

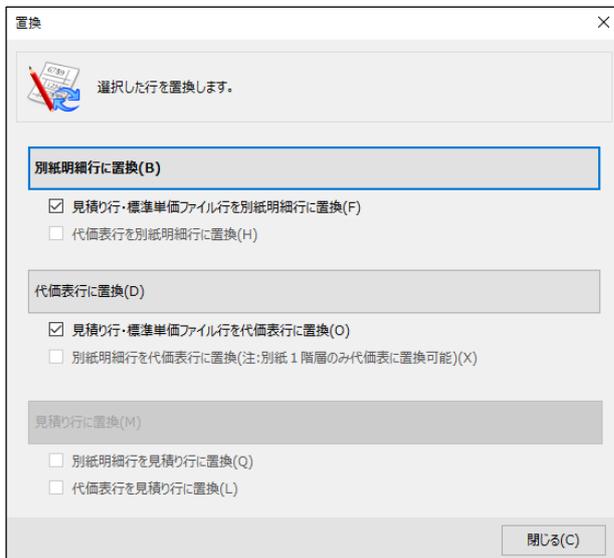
分類

一覧

すべての行を選択します。



選択した行を置換します。



・別紙明細行に置換

見積り行・標準単価ファイル行を別紙明細行に置換

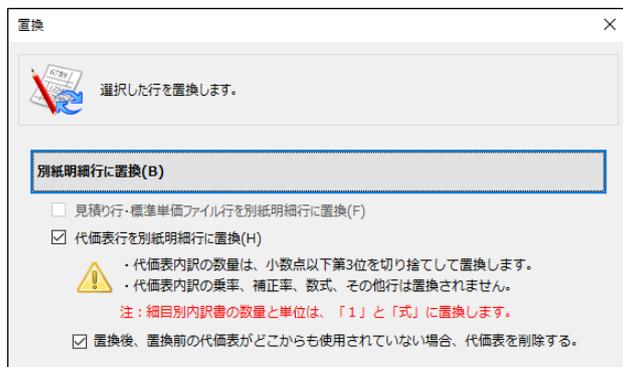
見積り行または標準単価ファイル行の名称、摘要、金額、備考を残した状態で別紙行へ置換します。
 なお、数量欄と単位欄は [1] [式] に変更されます。

代価表行を別紙明細行に置換

代価表行の名称、摘要、備考を残した状態で、代価表行を別紙行に変換し、代価表内訳行を別紙明細行に変換します。

なお、数量欄と単位欄は [1] [式] に変更されます。

また、「置換後、置換前の代価表がどこからも使用されていない場合、代価表を削除する。」にチェックをつけると、どこからも使用されていない代価表を削除することができます。



・ 代価表行に置換**見積り行・標準単価ファイル行を代価表行に置換**

見積り行または標準単価ファイル行の名称、摘要、単位欄を残した状態で、代価表一覧行へ置換します。

別紙明細行を代価表行に置換

別紙行の名称、摘要、備考を残した状態で、別紙行を代価表行に変換し、別紙明細行を代価表内訳行に変換します。

・ 見積り行に置換**別紙明細行を見積り行に置換**

別紙行の名称、摘要、金額、備考を残した状態で、別紙行を見積り行に変換し、別紙明細行を削除します。

代価表行を見積り行に置換

代価表行の名称、摘要、数量、単位、単価等を残した状態で、見積り行へ変換します。

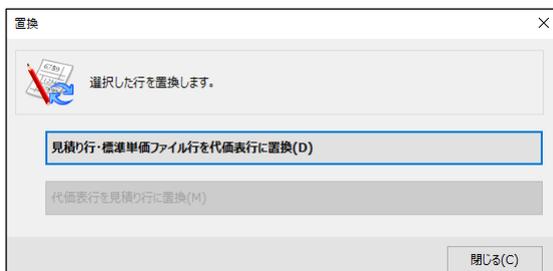
※ 参照先の代価表は削除されませんが、以降の操作で当該の代価表を編集しても結果は反映されなくなります。

置換
Ctrl + H
Alt + E + B

内訳書
代価表
仕分け

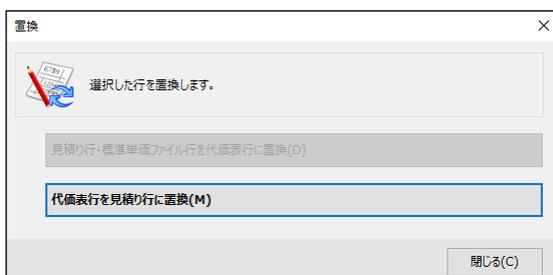
表紙
工事概要
工事費
工事種別
種目別
科目別
中科目別
細目別・別紙明細
共通費積み上げ等
すべて
分類
一覧

選択した行を置換します。



見積り行・標準単価ファイル行を代価表行に置換

見積り行または標準単価ファイル行の名称、摘要、単位欄を残した状態で、代価表一覧行へ置換します。



代価表行を見積り行に置換

代価表行の名称、摘要、数量、単位、単価等を残した状態で、見積り行へ変換します。

※ 参照先の代価表は削除されませんが、以降の操作で当該の代価表を編集しても結果は反映されなくなります。

1行下のコメント行を結合
Alt + E + K

内訳書
代価表
仕分け

表紙
工事概要
工事費
工事種別
種目別
科目別
中科目別
細目別・別紙明細
共通費積み上げ等
すべて
分類
一覧

選択したコメント行と1行下のコメント行の内容を結合します。

メモ（公共機関）のコピー



Alt + E + C

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

選択した行のメモ（公共機関）をコピーします。

色	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	敷地	更新日時	共通費積みの区分	仕分け
青	すべて	すべて	すべて	すべて	すべて	すべて	すべて	すべて	すべて	すべて	すべて
建築物/行舎/直接仮設											
	塗り方		1	式	275,220	別紙 00-0155		敷地1	22/05/10 11:42	建築物 新築工事	その他
	墨出し		1	式	1,411,830	別紙 00-0156		敷地1	22/05/10 11:42	建築物 新築工事	その他
	養生		1	式	896,400	別紙 00-0157		敷地1	22/05/10 11:42	建築物 新築工事	その他
	壁紙清掃 膜片付け		1	式	4,526,920	別紙 00-0158		敷地1	22/05/10 11:42	建築物 新築工事	その他
	地足場		1	式	110,210	別紙 00-0159		敷地1	22/05/10 11:42	建築物 新築工事	その他
	外部足場		1	式	3,075,380	別紙 00-0160		敷地1	24/01/31 18:25	建築物 新築工事	その他
	内部足場		1	式	214,880	別紙 00-0161		敷地1	24/01/31 18:25	建築物 新築工事	その他
	内部仕上足場		1	式	5,508,185	別紙 00-0162		敷地1	24/01/31 18:25	建築物 新築工事	その他
	災害防止		1	式	1,078,380	別紙 00-0163		敷地1	24/01/31 18:25	建築物 新築工事	その他
	仮設材運搬		1	式	514,688	別紙 00-0164		敷地1	24/01/31 18:25	建築物 新築工事	その他
	計				17,812,589			敷地1			
建築物/行舎/土工											
	根切り つば、掘り 深さ2.5m程度		1,528	m3	550	840,400	00-432211 yym新 市場	敷地1	22/05/10 11:42	建築物 新築工事	その他

メモ（公共機関）の貼り付け



Alt + E + P

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

選択した行にコピーしたメモ（公共機関）を貼り付けます。

メモ（公共機関）の削除



Alt + E + D

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

選択した行のメモ（公共機関）を削除します。

メモ（設計・積算事務所）のコピー



Alt + E + S

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

選択した行のメモ（設計・積算事務所）をコピーします。

メモ (設計・積算事務所) の貼り付け



Alt + E + E

内訳書										代価表	仕分け
表紙	工事概要	工事費	工事種別	種目別	科目別	中科目別	細目別・別紙明細	共通費積み上げ等	すべて	分類	一覧

選択した行にコピーしたメモ (設計・積算事務所) を貼り付けます。

メモ (設計・積算事務所) の削除



Alt + E + G

内訳書										代価表	仕分け
表紙	工事概要	工事費	工事種別	種目別	科目別	中科目別	細目別・別紙明細	共通費積み上げ等	すべて	分類	一覧

選択した行のメモ (設計・積算事務所) を削除します。

直接工事費行を上へ移動 直接工事費行を下へ移動



Alt + E + H

Alt + E + U

内訳書										代価表	仕分け
表紙	工事概要	工事費	工事種別	種目別	科目別	中科目別	細目別・別紙明細	共通費積み上げ等	すべて	分類	一覧

行選択した直接工事費行の位置を移動します。

コメント行の挿入



Alt + E + X

内訳書										代価表	仕分け
表紙	工事概要	工事費	工事種別	種目別	科目別	中科目別	細目別・別紙明細	共通費積み上げ等	すべて	分類	一覧

工事費画面の負担金行の上にコメント行を挿入します。

負担金計行の挿入



Alt + E + N

内訳書										代価表	仕分け
表紙	工事概要	工事費	工事種別	種目別	科目別	中科目別	細目別・別紙明細	共通費積み上げ等	すべて	分類	一覧

工事費画面に負担金計行を挿入します。

負担金行の移動



Alt + E + F

内訳書										代価表	仕分け
表紙	工事概要	工事費	工事種別	種目別	科目別	中科目別	細目別・別紙明細	共通費積み上げ等	すべて	分類	一覧

工事費画面の負担金行を移動します。

請負比率を乗じる行の挿入



Alt + E + J

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

工事費画面に請負比率行を挿入します。

※ 変更1回設計以外の内訳書では、請負比率行を挿入したり、編集したりすることはできません。

※ 請負比率行を編集する場合は、請負比率行の備考欄2行目に「当初請負代金額から消費税相当額を減じた額」を入力し、備考欄3行目に「当初予定価格内訳書記載の工事価格」を入力します。

調査基準価格行の挿入



Alt + E + K

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

工事費画面に調査基準価格行を挿入します。

名称の編集



F2

Alt + E + M

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

名称欄を編集します。

摘要の編集



F2

Alt + E + M

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

摘要欄を編集します。

数量の編集



F2

Alt + E + M

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

数量欄を編集します。

乗率の編集



F2

Alt + E + M

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

乗率欄を編集します。

補正率の編集



F2

Alt + E + M

内訳書

代価表 仕分け

表紙 工事概要 工事費 工事種別 種目別 科目別 中科目別 細目別・別紙明細 共通費積み上げ等 すべて 分類 一覧

補正率欄を編集します。

単位の編集



F2

Alt + E + M

内訳書

代価表 仕分け

表紙 工事概要 工事費 工事種別 種目別 科目別 中科目別 細目別・別紙明細 共通費積み上げ等 すべて 分類 一覧

単位欄を編集します。

※ 営繕工事内訳書の別紙行の単位は編集できません。

単価の編集



F2

Alt + E + M

内訳書

代価表 仕分け

表紙 工事概要 工事費 工事種別 種目別 科目別 中科目別 細目別・別紙明細 共通費積み上げ等 すべて 分類 一覧

単価欄を編集します。

※ 代価表一覧行の単価は編集できません。

金額の編集



F2

Alt + E + M

内訳書

代価表 仕分け

表紙 工事概要 工事費 工事種別 種目別 科目別 中科目別 細目別・別紙明細 共通費積み上げ等 すべて 分類 一覧

金額欄を編集します。

※ 単位が「式」の行や住宅工事内訳書の別紙行（単位が「式」以外）以外は編集できません。

備考の編集



F2

Alt + E + M

内訳書

代価表 仕分け

表紙 工事概要 工事費 工事種別 種目別 科目別 中科目別 細目別・別紙明細 共通費積み上げ等 すべて 分類 一覧

備考欄を編集します。

単位の選択



Alt + E + Y

内訳書

代価表 仕分け

表紙 工事概要 工事費 工事種別 種目別 科目別 中科目別 細目別・別紙明細 共通費積み上げ等 すべて 分類 一覧

単位選択メニューを表示して、単位欄を設定します。

※ 営繕工事内訳書の別紙行の単位は編集できません。

見積コードの編集



F2

Alt + E + M

内訳書

代価表

仕分け

表紙 工事概要 工事費 工事種別 種目別 科目別 中科目別 細目別・別紙明細 共通費積み上げ等 すべて 分類 一覧

選択している見積り・刊行物等行の備考欄（1段目）の見積コードを編集します。

また、編集状態のまま、[Enter] キーを押すと、当該行の見積分類と見積コードをクリアすることができます。

テキストの編集



F2

Alt + E + M

内訳書

代価表

仕分け

表紙 工事概要 工事費 工事種別 種目別 科目別 中科目別 細目別・別紙明細 共通費積み上げ等 すべて 分類 一覧

表紙画面の入力欄に文字列を入力します。

検索



Ctrl + F

Alt + E + F

内訳書

代価表

仕分け

表紙 工事概要 工事費 工事種別 種目別 科目別 中科目別 細目別・別紙明細 共通費積み上げ等 すべて 分類 一覧

 内訳書ファイル内の名称欄や摘要欄を検索します。

※ 別紙明細行や代価表行を番号で検索することもできます。



検索

検索対象

細目別・別紙明細(F) 共通費積み上げ等(K) 代価表(D)

名称・摘要(M) 別紙明細番号(B) 代価表番号(V)

検索(S) 前へ(P) 次へ(N) 閉じる(C)

代価表の参照先へ移動



Ctrl + J

Alt + E + G

内訳書

代価表

仕分け

表紙 工事概要 工事費 工事種別 種目別 科目別 中科目別 細目別・別紙明細 共通費積み上げ等 すべて 分類 一覧

代価表画面から代価表を参照している代価表行へ移動します。

[設定(S)]メニュー

仕分け設定  Alt + S + S

内訳書 代価表 仕分け

表紙 工事概要 工事費 工事種別 種目別 科目別 中科目別 細目別・別紙明細 共通費積み上げ等 すべて 分類 一覧

仕分け設定 1 ～ 3 欄に仕分け名称を設定します。

**スリーブ費・開口切断費に対応する配管工事の
工事費を集計するための区分設定**  Alt + S + S

内訳書 代価表 仕分け

表紙 工事概要 工事費 工事種別 種目別 科目別 中科目別 細目別・別紙明細 共通費積み上げ等 すべて 分類 一覧

スリーブ費・開口切断費等 1 ～ 3 欄にスリーブ費・開口切断費名称を設定します。

**行またはセルを選択した見積り行に見積分類を
設定**  Alt + S + U

内訳書 代価表 仕分け

表紙 工事概要 工事費 工事種別 種目別 科目別 中科目別 細目別・別紙明細 共通費積み上げ等 すべて 分類 一覧

細目別・別紙明細画面、共通費積み上げ等画面、代価表画面の選択した見積り行に見積分類を設定します。

**見積分類に便宜的に「科目名称(代価表番号)」
を自動設定**  Alt + S + W

内訳書 代価表 仕分け

表紙 工事概要 工事費 工事種別 種目別 科目別 中科目別 細目別・別紙明細 共通費積み上げ等 すべて 分類 一覧

細目別・別紙明細画面、共通費積み上げ等画面、代価表画面の見積分類が設定されていない見積り行に見積分類を設定します。

- ※ 見積分類には、科目名称が設定されます。
- ※ 同時に見積コードを自動発番することもできます。

見積分類ごとに見積コードを発番



Alt + S + A

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

見積分類ごとに見積コードを発番します。

- ・追加発番

見積コードが設定されていない見積り行のみに、続きの番号が設定されます。

- ・再発番

内訳書ファイルの登録順に、すべての見積コードを振り直します。

※ 見積コードは、備考欄の1行目を選択し、F2キーを押して修正することもできます。

変更設計時の小計行・コメント行の印刷の有無



Alt + S + N

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

印刷書式設定の変更設計を「変更なき金額一括」または「変更のみ」を選択して、変更設計の内訳書を印刷したときに、小計行やコメント行を印刷するかどうかを設定します。

※ が表示されている小計行やコメント行が印刷されます。

コメント		(コメント)							
	枕間ざらい	既製コンクリート	φ350~600mm	43 43 0	本	1,460	62,780 62,780 0	B0-482232 H2404	市場

▶ 印刷する



Alt+S+N+P

▶ 印刷しない



Alt+S+N+N

工事種別の区分



Alt + S + B

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

共通費を算定するときの工事種別の区分を設定します。

工事種別画面の工事種別の区分欄を設定します。

工事種別の区分	
公共建築工事共通費積算基準(令和6年改定)	
<input checked="" type="radio"/>	建築工事
<input type="radio"/>	電気設備工事
<input type="radio"/>	機械設備工事
<input type="radio"/>	昇降機設備工事
<input type="radio"/>	製造業等・専門工事業者に単独発注する工事
<input type="radio"/>	土木工事

設定(S) キャンセル(C)

共通仮設費の区分



Alt + S + B

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

共通費を算定する時の共通仮設費の区分を設定します。

種目別画面、細目別・別紙明細画面の共通仮設費の区分欄を設定します。

共通仮設費の区分

公共建築工事共通費積算基準(令和6年改定)

- 建築工事 新築工事
- 建築工事 新築工事 監理事務所を設けない
- 建築工事 改修工事
- 建築工事 改修工事 監理事務所を設けない
- 建築工事 リース料
- 建築工事 処分費
- 建築工事 率対象外

設定(S) キャンセル(C)

積み上げの区分



Alt + S + B

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

共通費を算定する時の積み上げ区分を設定します。

共通費積み上げ等画面の積み上げの区分欄を設定します。

積み上げの区分

公共建築工事共通費積算基準(令和6年改定)

- 建築工事 新築工事 共通仮設費(積み上げ)
- 建築工事 改修工事 共通仮設費(積み上げ)
- 電気設備工事 新築工事 共通仮設費(積み上げ)
- 電気設備工事 改修工事 共通仮設費(積み上げ)
- 機械設備工事 新築工事 共通仮設費(積み上げ)
- 機械設備工事 改修工事 共通仮設費(積み上げ)
- 昇降機設備工事 共通仮設費(積み上げ)
- 土木工事 共通仮設費(積み上げ)

設定(S) キャンセル(C)

新たな追加の工事の区分



Alt + S + D

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

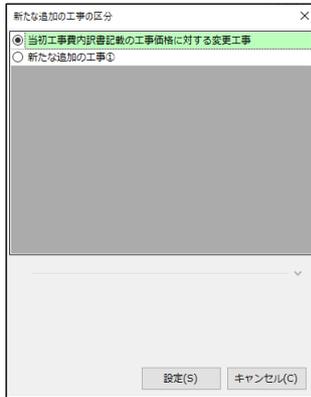
共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

「公共建築工事積算基準等資料」に記載されている「新たな追加の工事」の計算をおこなう場合に、変更設計書の細目別内訳行の新たな追加の工事欄に設定します。



・ 設定例

a) A工事の内訳書ファイルにおいて、

変更第1回に「とりこわし（地下埋設物及び埋設配管に限る）」の工事が追加された場合、当該行の新たな追加の工事欄に「①」を設定します。

変更第2回で「とりこわし（地下埋設物及び埋設配管に限る）」の工事に変更が発生し、「土壌汚染処理」工事が追加された場合は、「とりこわし（地下埋設物及び埋設配管に限る）」工事の行に「①」、「土壌汚染処理」工事の行に「②」を設定します。

b) B工事の内訳書ファイルにおいて、

変更第1回は新たな追加の工事がなく、

変更第2回に「地盤改良」と「土壌汚染処理」の工事が追加された場合、両工事の新たな追加の工事欄に「①」を設定します。

・ 共通費計算

新たな追加の工事の設定を行った場合の共通費算定画面は、

「当初請負比率を乗じる工事」、

「当該追加の工事に係る請負比率を乗じる工事」（第2回変更以降）、

「そのどちらにも当てはまらない工事」

に区分して表示します。

・ 工事費画面

新たな追加の工事の設定を行った場合は、請負比率行の下に

「当初請負比率を乗じる工事」、

「当該追加の工事に係る請負比率を乗じる工事」（第2回変更以降）、

「そのどちらにも当てはまらない工事」

の各行が表示されます。

営繕工事のいずれかと営繕工事以外の工事を一括して発注する場合の営繕工事と営繕工事以外の工事の区分



Alt + S + K

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

営繕工事のいずれか〔建築工事、電気設備工事、機械設備工事、昇降機設備工事〕と営繕工事以外の工事を一括発注する共通費の算定をおこなう場合に設定します。

工期入力画面では、一般管理費等の算定オプションを選択します。

工期入力

主たる工事を選択し、工期を入力してください

主たる工事(s): 建築工事

工事種別	敷地	工事名1	工事名2	当初	変1	変2	変3	変4	変5	変6	変7	変8	変9	変10
営繕工事	敷地1	建築工事	新築工事	5.0										
営繕工事以外	敷地1	土木工事	一般土木	-										

別敷地を一括して発注する場合、敷地毎に見出し行を追加する(B)
 別敷地を一括して発注する場合、同一工事の工事原価を合計して算定する(I)
 一般管理費等の算定
 それぞれの工事毎の共通費に関する定めにより算定(X)
 営繕工事と営繕工事以外の工事原価の合計額に対するそれぞれの工事毎の定めにより算定(Y)

実行(E) キャンセル

• それぞれの工事毎の共通費に関する定めにより算定

一般管理費等の算定を「公共建築工事積算基準等資料（平成 30 年版）」でおこないます。

• 営繕工事と営繕工事以外の工事原価の合計額に対するそれぞれの工事毎の定めにより算定

一般管理費等の算定を「公共建築工事積算基準等資料（平成 26 年版）」でおこないます。

▶ 営繕工事



Alt+S+K+E

▶ 営繕工事以外



Alt+S+K+N

敷地が異なる複数の工事を一括して発注する場合の敷地の区分



Alt + S + J

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

敷地が異なる複数の工事を一括して発注する共通費の算定を行う場合に設定します。

種目別内訳画面の敷地欄や、共通費積み上げ等画面の敷地欄に敷地区分を設定します。

代価表の単価構成内容の数量・乗率・補正率を一括で変更

Ctrl + H
Alt + S + I



代価表内訳行の数量欄、乗率欄、補正率欄を一括入力します。

代価表分類	代価表種別	名称	数量	単位	名称	数量	単位	乗率	補正率	単位	単位	単位	単位
すべて	すべて	すべて	すべて	すべて	すべて	すべて	すべて	すべて	すべて	すべて	すべて	すべて	すべて
建設工事	代価表0010	建設工事	100.000	式	建設工事	100.000	式	1.000	1	0.000	0.000	0.000	(戻数あり・利付増減)
建設工事	代価表0010	建設工事	100.000	式	建設工事	100.000	式	1.000	1	0.000	0.000	0.000	(戻数あり・利付増減)
建設工事	代価表0010	建設工事	100.000	式	建設工事	100.000	式	1.000	1	0.000	0.000	0.000	(戻数あり・利付増減)
その他	代価表0010	建設工事	100.000	式	建設工事	100.000	式	1.000	1	0.000	0.000	0.000	(戻数あり・利付増減)

代価表で算定した単価の端数処理



Alt + S + M



代価表の単価欄に端数処理をするかを設定します。

※ 「丸め有」が表示されている代価表は、端数処理がおこなわれます。

▶ 端数処理（代価表）の設定に従う



Alt+S+M+Y

▶ 端数処理は行わない



Alt+S+M+N

「その他」の率



Alt + S + S



代価表内訳行を「その他」の率の対象とするかを設定します。

※ 率対象欄1段目に「○」が表示されている行が「その他」の率対象となります。

※ 「その他」の率対象行が存在する場合、「その他」行が表示されます。

▶ 「その他」の率対象



Alt+S+S+Y

▶ 「その他」の率対象外



Alt+S+S+N

数式欄に設定した数式の単価、金額または合計金額の値を単価欄に取得



Alt + S + F

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

代価表内訳行の数式欄に数式を設定します。

数式

単価に対する率で算出(T)

T01 1行目の単価に対する率で算出
 T03 3行目の単価に対する率で算出
 T04 4行目の単価に対する率で算出

(例) 付属品 【単価格×n%】
 紐手 【単価格×n%】
 接合材等 【単価格×n%】
 支持金物 【単価格×n%】

金額・合計金額に対する率で算出(K)

K01 1行目の金額に対する率で算出
 K03 3行目の金額に対する率で算出
 K04 4行目の金額に対する率で算出

(例) 雑費 【労務費×n%】
 雑材料 【材料費×n%、材料価格×n%】
 消耗品・雑材料 【材料費×n%】
 はつ分補修 【労務費×n%】
 運搬費 【(材料費+雑材料費)×n%】
 接合材 【材料費×n%】

比較(A)

変遷 (L) 単純平均 (H) 高値 (G)

数式を解除



Alt + S + R

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

代価表内訳行の数式欄に設定した数式を解除します。

リンク設定



Alt + S + L

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

共通費の算定をおこなう前に、工事種別行との関連付けをおこないます。

※ 他の内訳書ファイルの工事種別行の関連付けをおこなうこともできます。

リンク設定

工事費画面での選定工事費行の金額の根拠を設定します

工事種別の区分(B) 名称(M) 敷地工事名称(L) 自動設定(A) 一括クリア(T)

工事費	建築工事のリンクファイル一覧					
名 称	ID	種類	ファイル名/直接工事費名	保存先	別ファイル	削除
建築工事	01	建築工事		ファイル内	別ファイル	削除
電気設備工事	02			ファイル内	別ファイル	削除
機械設備工事	03			ファイル内	別ファイル	削除
直接工事費4	04			ファイル内	別ファイル	削除
直接工事費5	05			ファイル内	別ファイル	削除
直接工事費6	06			ファイル内	別ファイル	削除
直接工事費7	07			ファイル内	別ファイル	削除
直接工事費8	08			ファイル内	別ファイル	削除
直接工事費9	09			ファイル内	別ファイル	削除
直接工事費10	10			ファイル内	別ファイル	削除

設定(S) キャンセル(C)

色分類設定



Alt + E + P

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

選択した行に色分類を設定します。

色分類設定

各行毎に、色付けを行います。
色ボタンをクリックしてください。

	白	—
	紫	質問・回答
	赤	修正・削除
	黄	要確認・保留
	青	確認済

キャンセル

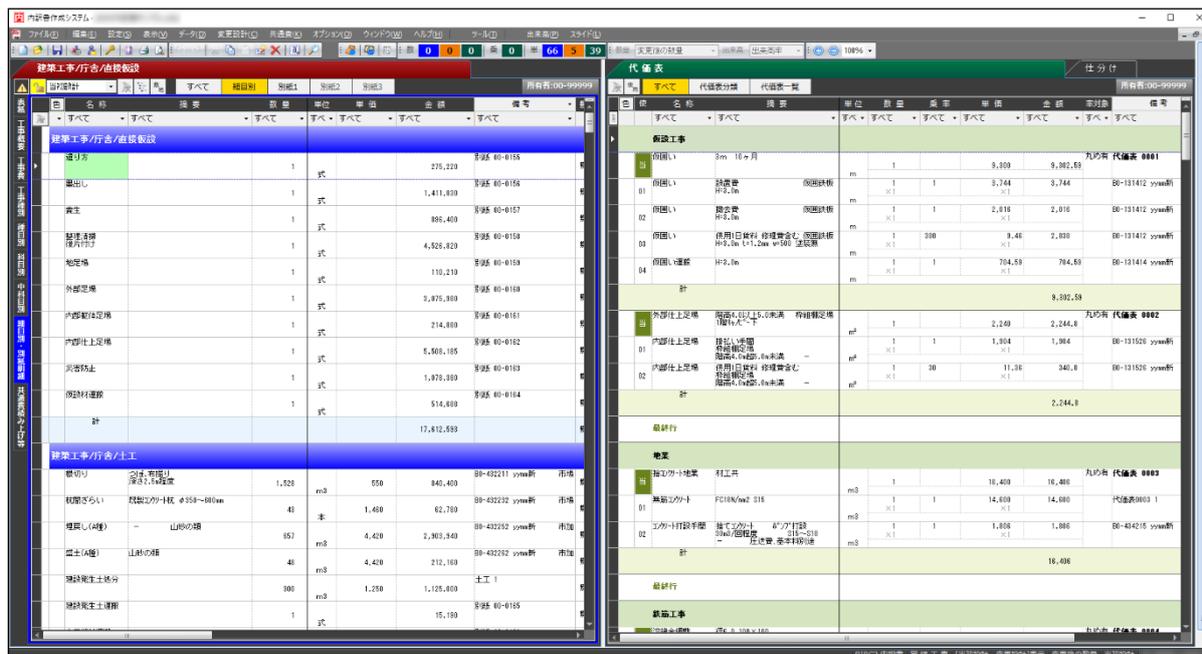
[表示(V)]メニュー

内訳書と代価表を並べて表示

Alt + V + H



内訳書画面と代価表画面を左右に並べて表示します。



内訳書と代価表を並べて表示解除

Alt + V + H



内訳書画面と代価表画面の左右に並べて表示を解除します。

内訳書と仕分けを並べて表示

Alt + V + H



内訳書画面と仕分け画面を左右に並べて表示します。

内訳書と仕分けを並べて表示解除

Alt + V + H



内訳書画面と仕分け画面の左右に並べて表示を解除します。

ファイル一覧



Alt + V + F

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

現在開いている内訳書作成システムのファイル一覧を表示します。

- ▶ 右側にタブ表示 Alt+V+F+R
- ▶ 左側にタブ表示 Alt+V+F+L
- ▶ 右側にファイル一覧表示 Alt+V+F+E
- ▶ 左側にファイル一覧表示 Alt+V+F+W
- ▶ タブ非表示 Alt+V+F+H
- ▶ 左右に並べて表示しているときは非表示 Alt+V+F+J

内訳書ツリー



Alt + V + T

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

内訳書画面の項目を階層表示します。

- ▶ 右側にタブ表示 Alt+V+T+R
- ▶ 左側にタブ表示 Alt+V+T+L
- ▶ 右側に内訳書ツリー表示 Alt+V+T+E
- ▶ 左側に内訳書ツリー表示 Alt+V+T+W
- ▶ タブ非表示 Alt+V+T+H
- ▶ 左右に並べて表示しているときは非表示 Alt+V+T+J

ファイル一覧…右側にタブ表示

内訳書ツリー…左側に内訳書ツリー表示



代価表ツリー



Alt + V + Y

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

代価表画面の項目を階層表示します。

▶ 右側にタブ表示

Alt+V+Y+R

▶ 左側にタブ表示

Alt+V+Y+L

▶ 右側に代価表ツリー表示

Alt+V+Y+E

▶ 左側に代価表ツリー表示

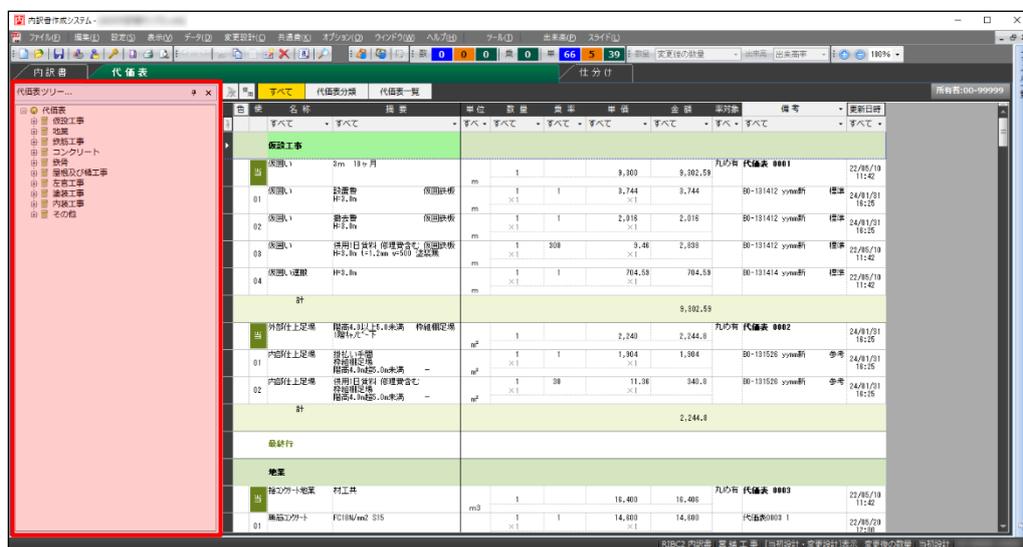
Alt+V+Y+W

▶ タブ非表示

Alt+V+Y+H

▶ 左右に並べて表示しているときは非表示

Alt+V+Y+J



画面分割

Alt + V + V

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

ファイル内の離れた部分を上下に分割表示します。

品名	数量	単位	単価	金額	備考	数量	更新日時	共通費積みの区分	仕分け
建築工事/行各/直設仮設									
送り方	1	式		275,220	別添 00-0105		22/05/18 11:42		建築工事
墨出し	1	式		1,411,000	別添 00-0106		22/05/18 11:42		建築工事
養生	1	式		896,400	別添 00-0107		22/05/18 11:42		建築工事
基礎清掃 厚削り付	1	式		4,526,820	別添 00-0108		22/05/18 11:42		建築工事
地足場	1	式		110,210	別添 00-0109		22/05/18 11:42		建築工事
外部足場	1	式		3,076,900	別添 00-0100		24/01/29 16:25		建築工事
建築工事/行各/鉄筋/外部仕上									
浮球金網 径5.0 100×100	737	㎡	1,150	847,550	代価表 0004		22/05/18 11:42		建築工事
計				847,550					
建築工事/行各/コンクリート/躯体									
普通コンクリート F224N/㎥ 015 基礎部	738	m ³	15,780	11,586,600	コンクリー 1		22/05/28 12:00		建築工事
普通コンクリート F224N/㎥ 015 土留	122	m ³	15,780	1,915,400	コンクリー 2		22/05/28 12:00		建築工事
普通コンクリート F224N/㎥ 018 1F	580	m ³	15,380	8,479,400	コンクリー 3		22/05/28 12:00		建築工事

画面分割解除

Alt + V + V

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

分割表示を解除します。

ツールバー Alt + V + B

内訳書 代価表 仕分け

表紙 工事概要 工事費 工事種別 種目別 科目別 中科目別 細目別・別紙明細 共通費積み上げ等 すべて 分類 一覧

▶ **ファイル** Alt+Y+B+F

▶ **編集** Alt+Y+B+E

▶ **データ** Alt+Y+B+D

▶ **数量ゼロ・単価ゼロ** Alt+Y+B+Z

数 0 0 0 乗 1 単 130 5 44

▶ **設計** Alt+Y+B+C

数量 変更後の数量 出来高 出来高率

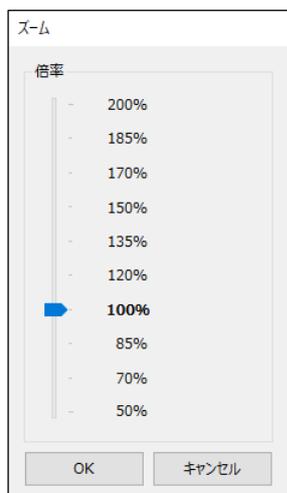
▶ **表示倍率** Alt+Y+B+V

ズーム Alt + V + Z

内訳書 代価表 仕分け

表紙 工事概要 工事費 工事種別 種目別 科目別 中科目別 細目別・別紙明細 共通費積み上げ等 すべて 分類 一覧

内訳書、代価表、仕分けの各画面の倍率を変更します。



内訳書の見出し行の背景色

Alt + V + U



各画面に表示される見出し行の背景色を変更します。

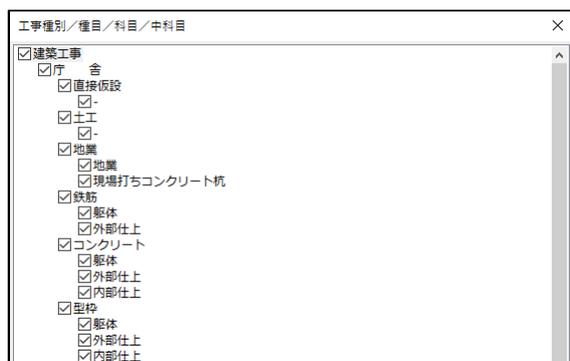
- | | |
|----------------|-----------|
| ▶ 各内訳書の見出しと同じ色 | Alt+V+U+D |
| ▶ 抑えめの色 | Alt+V+U+T |
| ▶ 各内訳書の計行と同じ | Alt+V+U+K |
| ▶ 背景色なし | Alt+V+U+N |

階層フィルタ

Alt + V + K



工事種別、種目、科目、中科目名称を選択して、内訳書画面に表示する行の絞り込みを行います。

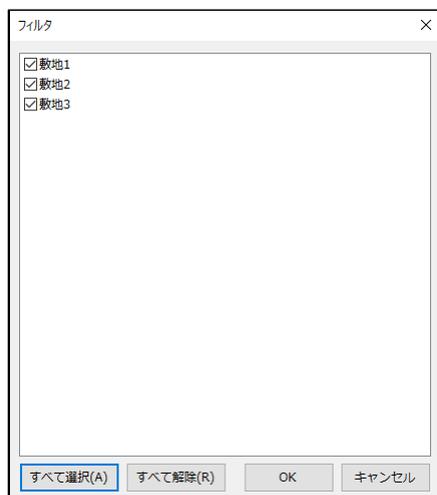


敷地フィルタ

Alt + V + S



敷地区分で内訳書画面に表示する行の絞り込みを行います。

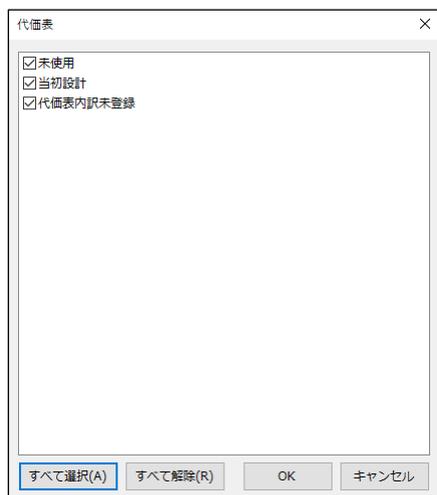


代価表使用フィルタ

Alt + V + D



代価表画面に表示する代価表の絞り込みを行います。



色分類とメモのフィルタ

Alt + V + C

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

色分類やメモの有無で内訳書画面や代価表画面に表示する行の絞り込みを行います。

フィルタ

【細目別・別紙明細】
色分類とメモのフィルタ

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	白 (351)	—
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	紫 (0)	質問・回答
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	赤 (0)	修正・削除
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	黄 (0)	要確認・保留
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	青 (0)	確認済

すべて選択(A) すべて解除(B)

[] ... 空白は、メモ無し
 ... メモ（公共機関）が入力されている行
 ... メモ（設計・積算事務所）が入力されている行
 ... メモ（公共機関と設計・積算事務所）の両方が入力されている行
() ... カッコ内の数字はデータ件数

OK キャンセル

フィルタ解除

Alt + V + R

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

フィルタ機能による表示の絞り込みを解除します。

[データ(D)]メニュー

全体再計算
Ctrl + K
Alt + D + S

内訳書
代価表
仕分け

表紙
工事概要
工事費
工事種別
種目別
科目別
中科目別
細目別・別紙明細
共通費積み上げ等
すべて
分類
一覧

金額欄を最新の値に更新します。

標準単価ファイル行の単価を一括で入れ替え
Alt + D + T

内訳書
代価表
仕分け

表紙
工事概要
工事費
工事種別
種目別
科目別
中科目別
細目別・別紙明細
共通費積み上げ等
すべて
分類
一覧

- ・ 標準単価ファイル行の名称、摘要、単位、単価を 標準単価ファイルから再取得し、直接工事費を再計算します。
 - a) 設計・積算事務所から納品された金抜きの内訳書ファイルに単価を読み込む。
 - b) 他の類似工事の内訳書に年度や地区の異なる 標準単価ファイルを入れ替えて、新たに内訳書を作成する。
 - c) 単価の大幅な物価変動によりスライド条項を適用する。
 - d) 標準選択名称修正行の名称を元に戻す。
- ・ 標準単価ファイルの保存場所や名前が変わったことにより、 内訳書ファイルから 標準単価ファイルが参照できなくなった時に、参照するフォルダやファイルを再設定します。

※ 利用期限が過ぎた 標準単価ファイルは、使用することができません。

標準単価ファイル行の単価を一括で入れ替え

標準単価 マネージング オプション

No	状態	備考表示	タイトル	標準単価ファイル名	保存先フォルダ名	変更	削除
1	<input type="radio"/>	yyymm新	令和〇〇年度〇〇月単価	標準単価サンプル (建築).fdb		変更	削除
2	<input type="radio"/>	yyymm新	令和〇〇年度〇〇月単価	標準単価サンプル (電気).fdb		変更	削除
3	<input type="radio"/>	yyymm新	令和〇〇年度〇〇月単価	標準単価サンプル (機械).fdb		変更	削除

並び替え(S)

参照する標準単価ファイルに単価が見つからなかった単価

他の標準単価ファイルを検索する

他の標準単価ファイルを検索しない

標準単価ファイルから単価が削除されて入れ替え出来なかった単価

Oクリアする(R)

Oクリアしない(T)

標準単価ファイルから選択した単価以外の単価 (見送り等)

Oクリアする(O)

Oクリアしない(P)

標準単価ファイルから選択した名称を修正した名称

名称を再取得する(G)

名称を再取得しない(H)

ログファイルを作成する(L): _____

標準単価ファイルから名称と単価を再取得 または参照している標準単価ファイルを変更



Alt + D + H

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

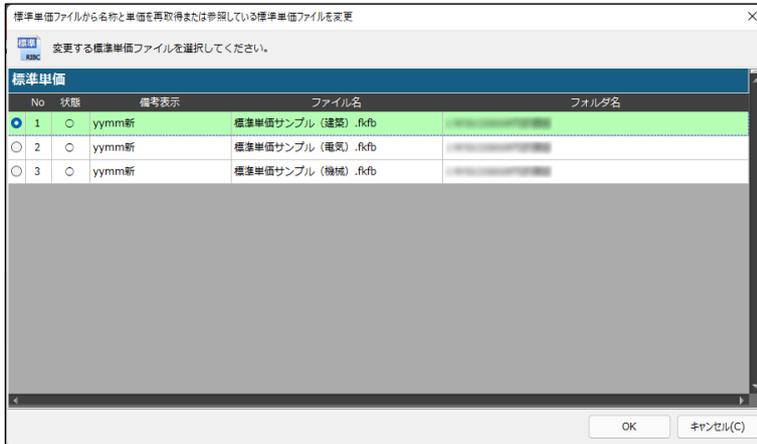
共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

選択した標準単価ファイル行が参照している  標準単価ファイルを別の  標準単価ファイルに変更します。



※ 名称欄や摘要欄、単位欄、単価欄を編集した標準単価ファイル行を元の状態に戻すときにも使用します。

※ 利用期限が過ぎた  標準単価ファイルは、使用することができません。

別紙明細番号を振り直す

Alt + D + B

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

別紙明細番号を振り直します。

※ 作業中の設計回数以降に登録された別紙明細が対象です。

代価表番号を代価表見出し画面の並び順で 振り直す

Alt + D + D

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

代価表番号を振り直します。

変更設計で振り直した場合は、作業中の設計回数以降の使用代価表及び、未使用代価表を対象とします。代価表の番号は、作業中の設計回数より1つ前で使用されている代価表番号に+1をした番号から発番します。

代価名称および単価構成内容等が重複している代価表を整理

Alt + D + G

内訳書

代価表

仕分け

表紙 工事概要 工事費 工事種別 種目別 科目別 中科目別 細目別・別紙明細 共通費積み上げ等 すべて 分類 一覧

内訳 内訳書ファイルで重複している代価表を「重複代価表グループ」フォルダへ移動します。

- 以下の項目を比較し、すべてに相違がないものを同一の代価表とみなします。
 - a) 代価表一覧行の名称、摘要、単位、数量、丸め有無、数式。
 - b) 代価表内訳行の名称、摘要、単位、数量、乗率、率対象、備考（1行目の標準単価の情報）、数式の各欄、見積分類、見積コード。

※ 代価表一覧行と代価表内訳行の単価欄については、実行時に、比較の対象に加えるかを選択することができます。
- 比較の対象となる代価表の例外
 - a) 変更設計内訳書の場合、前回設計の代価表は対象になりません。
 - b) 代価表グループの「重複代価表グループ」に収録されている代価表は比較しません。

内訳書で使用されていない代価表をすべて削除

Alt + D + N

内訳書

代価表

仕分け

表紙 工事概要 工事費 工事種別 種目別 科目別 中科目別 細目別・別紙明細 共通費積み上げ等 すべて 分類 一覧

内訳書から参照されていない代価表を一括で削除します。

単価・金額等を一括でクリアして数量調書を作成

Alt + D + C

内訳書

代価表

仕分け

表紙 工事概要 工事費 工事種別 種目別 科目別 中科目別 細目別・別紙明細 共通費積み上げ等 すべて 分類 一覧

内訳 内訳書ファイルに登録されている数量欄や備考欄等の数値や文字を一括でクリアします。

また、以下の操作をすることもできます。

- 標準単価ファイル行を一括操作で見積り行にする

すべての標準単価ファイル行の名称、摘要、数量、単位、単価を残した状態で、見積り行へ変換します。
- 代価表行を一括操作で見積り行にする

すべての代価表行の名称や摘要、数量、単位、単価等を残した状態で、見積り行へ変換します。

※ 参照先の代価表は削除されません。
- 別紙行の別紙部分だけを一括処理で削除する

すべての別紙明細行を削除し、別紙行を見積り行へ変換します。

内訳書数量データ交換書式(Excel・CSV)を読み込む



Alt + D + E

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

内訳書数量データ交換書式ファイルのデータを RIBC2 形式の内訳書ファイルに変換します。

■内訳書数量データ交換書式フォーマット URL

https://www.ribc.or.jp/ribc/ribc9_1koukan_fmt.html#01



内訳書(代価表は除く)を外部ファイル(Excel・CSV)に出力

Alt + D + 0

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

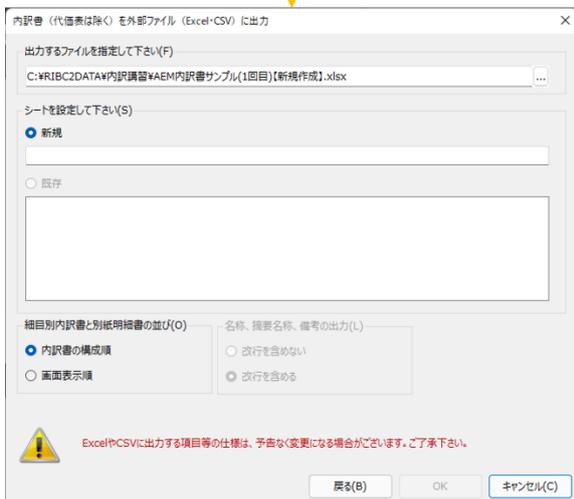
共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

内訳書ファイルの項目を  Excel ファイル (*.xls、*.xlsx) または  CSV 形式のファイルに変換します。



見積依頼する見積り行の単価名称等を出力

Alt + D + M



▶ 見積り行の単価名称等を Excel ファイルに出力

Alt+D+M+E

すべての見積り行を Excel ファイル (*.xls、*.xlsx) に出力します。

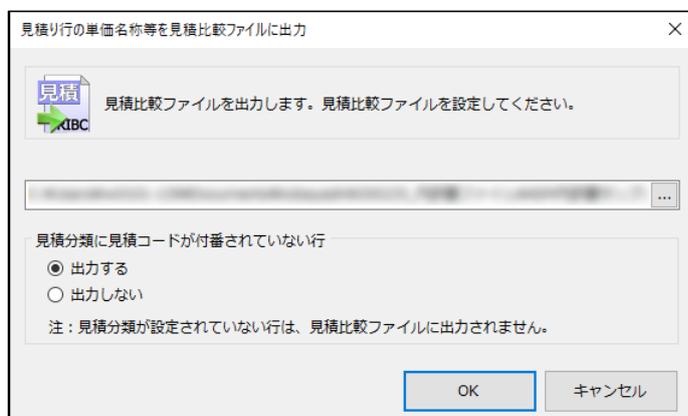
※ お使いのパソコンに Microsoft Excel がインストールされている必要があります。

※ 出力する前に、見積分類と見積コードを設定しないと、 Excel ファイルの単価を 内訳書ファイルに書き戻すことはできません。

▶ 見積り行の単価名称等を見積比較ファイルに出力

Alt+D+M+M

見積分類が設定されている見積り行を 見積比較ファイルに出力します。



※ 内訳書ファイルに、同一の [見積分類+見積コード] 行が存在した場合

- a) 見積比較ファイルでは、数量を集計した1つのデータが作成されます。
- b) 内訳書ファイル内で最初に登録されている見積り行の名称、摘要、単位、備考が出力されます。
- c) 単位が「式」の見積り行は、数量を集計せず、そのまま1式として出力します。

※ 既存の見積比較ファイルに出力した場合

- a) 見積り行と 見積比較ファイルの [見積分類+見積コード] を照合し、合致した行の名称、摘要、単位、数量、備考を上書きします。単価欄は上書きしません。
- b) 既存の 見積比較ファイルに存在しない行は追加されます。
- c) [見積分類+見積コード] をクリアして [(見積り・刊行物等)] 表示に戻した行があるときは、見積比較ファイルの当該行は削除されます。

※ 変更設計内訳書から出力した場合

- a) 画面に表示されている設計回数の見積り行のみが出力されます。
他の設計回数の見積り行は出力されません。
- b) 内訳書ファイルに表示されている設計回数の行を、見積比較ファイルの同じ設計回数へ出力します。

製造業者又は専門工事業者の見積価格等を読み込む

Alt + D + H

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

▶ Excelファイルから見積単価と備考を内訳書に読み込む

Alt+D+H+E

Excel ファイル (*.xls、*.xlsx) を出力した内訳書ファイルへ単価欄と備考欄を書き戻します。

※ お使いのパソコンに Microsoft Excel がインストールされている必要があります。

▶ 見積比較ファイルから見積単価を内訳書に読み込む



Alt+D+H+M

内訳書ファイルに見積比較ファイルの決定単価を読み込みます。

内訳書の経年・地区比較を確認

Alt + D + R

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

内訳書ファイルから経年比較内訳書ファイルを作成します。

経年比較内訳書ファイルは、単価欄が旧単価と新単価の2段表示、金額欄が旧金額、新金額、差額の3段表示となります。

標準単価ファイル行の単価を一括で入れ替えから新単価の更新をすることにより、新旧の金額を比較することができます。

名称	概要	数量	単位	単価	金額	備考	取地	更新日時	共通原資の区分	仕分け設定1	仕分け設定2
建築物工事/庁舎/直接仮設											
造り方		1	式		276,220 393,600 56,380	別紙 00-0155	敷地1	23/02/18 17:11	建設工事 新築工事	その他	その他
造方	一般	894	m ²	380 400	276,220 393,600 56,380	80-182511 yym新 標準	敷地1	23/02/18 17:11		設定不可	設定不可
計(別紙1)					276,220 393,600 56,380		敷地1				
里出し		1	式		1,411,830 1,411,830 0	別紙 00-0156	敷地1	23/02/18 17:05	建設工事 新築工事	その他	その他
里出し	一般	2,241	m ²	630 630	1,411,830 1,411,830 0	80-182514 yym新 標準	敷地1	23/02/18 17:11		設定不可	設定不可
計(別紙1)					1,411,830 1,411,830 0		敷地1				
養生		1	式		896,400 896,400 0	別紙 00-0157	敷地1	23/02/18 17:05	建設工事 新築工事	その他	その他
養生	一般	2,241	m ²	400 400	896,400 896,400 0	80-182515 yym新 標準	敷地1	23/02/18 17:11		設定不可	設定不可
計(別紙1)					896,400 896,400 0		敷地1				
整理清掃 現場片付け		1	式		4,526,820 4,526,820 0	別紙 00-0158	敷地1	23/02/18 17:05	建設工事 新築工事	その他	その他
整理清掃 現場片付け	一般	2,241	m ²	2,020 2,020	4,526,820 4,526,820 0	80-182531 yym新 標準	敷地1	23/02/18 17:11		設定不可	設定不可
計(別紙1)					4,526,820 4,526,820 0		敷地1				
地定場		1	式		110,210 110,210 0	別紙 00-0159	敷地1	23/02/18 17:05	建設工事 新築工事	その他	その他
地定場	RC造標準日割 (廊理費含む)	107	m ²	1,030 1,030	110,210 110,210 0	80-181516 yym新 標準	敷地1	23/02/18 17:05		設定不可	設定不可
計(別紙1)					110,210 110,210 0		敷地1				
外部定場		1	式		3,076,380 6,386,280 2,920,300	別紙 00-0160	敷地1	23/02/18 17:06	建設工事 新築工事	その他	その他
枠組本定場	建柱200×1700 布筋500×2枚				0	80-181517 yym新		23/02/18			

見積り・刊行物等の単価の書き換えは、次の操作で行います。

- ・手入力
- ・ Excel ファイル (*.xls、*.xlsx) から見積単価と備考を内訳書に読み込む。

標準単価ファイル行の歩掛り構成内容を確認



Alt + D + X

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

選択した標準単価ファイル行の歩掛りの構成等を確認します。

- ※  標準単価ファイル作成時に設定した歩掛りファイルが、標準単価ファイルと同じフォルダに保存されていない場合は、実行できません。

[変更設計(C)]メニュー

設計変更
Alt + C + C

内訳書
代償表
仕分け

表紙
工事概要
工事費
工事種別
種目別
科目別
中科目別
細目別・別紙明細
共通費積み上げ等
すべて
分類
一覧

当初設計内訳書に変更設計の数量を入力し、変更回数を増やします。

色	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	数地	更新日時	共通費設費の区分	仕分け設定1
建築工事/庁舎/直接仮設											
↑	送り方		1	式		275,220 280,500 5,280	別紙 00-0155	数地1	23/02/16 17:18	建設工事 新築工事	その他
↑	送り方	一統	894 850 18		330	275,220 280,500 5,280	E0-192511 yymn新 標準	数地1	23/02/16 17:17		設定不可
↑	計(別紙1)					275,220 280,500 5,280		数地1			
↓	墨出し		1	式		1,411,830 1,411,200 -630	別紙 00-0156	数地1	23/02/16 17:18	建設工事 新築工事	その他
↓	墨出し	一統	2,241 2,240 -1		630	1,411,830 1,411,200 -630	E0-192514 yymn新 標準	数地1	23/02/16 17:17		設定不可
↓	計(別紙1)					1,411,830 1,411,200 -630		数地1			
↓	養生		1	式		898,400 898,000 -400	別紙 00-0157	数地1	23/02/16 17:18	建設工事 新築工事	その他
↓	養生	一統	2,241 2,240 -1		400	898,400 898,000 -400	E0-192515 yymn新 標準	数地1	23/02/16 17:17		設定不可
↓	計(別紙1)					898,400 898,000 -400		数地1			

※ 設計変更は「変更 90 回設計」まで作成を行うことができます。

※ 「変更 11 回設計」を作成する場合は、以下の画面が表示されます。

設計変更

内訳
変更 1 1 回設計を作成しますか?

注 1 : 当初~変更 9 回までを変更 1 0 回にまとめて新しい内訳書ファイルに作成します。
 注 2 : 変更 1 0 回以前の各設計の履歴は削除されます。
 注 3 : 代償表番号は元の内訳書ファイルの番号が引き継がれます。

■新しい内訳書ファイル名を設定してください。
 D:\Users***\Desktop\変更 1 0 回 (1).utbl

別紙明細番号[XX-XXXX]形式が設定されています。
 注: 別紙明細番号は、振り直されて(00-XXXX~10-XXXX → 10-YYYY)番号が変わります。
 元の別紙明細番号を備考 1 に転記します。(備考 1 は上書きされます。)

出形数量及び出来高率が設定されています。
 出来形数量及び出来高率を引き継がない(W)
 出来形数量及び出来高率を引き継ぐ(E)
 出来高率100%の情報のみ引き継ぐ(R)

※元になる内訳書ファイルは、保存されてから実行されます。

はい(Y)
いいえ(N)

¥0設計挿入
Alt + C + S

内訳書
代償表
仕分け

表紙
工事概要
工事費
工事種別
種目別
科目別
中科目別
細目別・別紙明細
共通費積み上げ等
すべて
分類
一覧

「変更 n 回設計」を「変更 n + 1 回設計」に転記し、「変更 n 回設計」を 0 クリアします。

※ 当初設計で「¥0 設計挿入」をすると、当初設計が変更 1 回設計に転記され、0 クリアされます。

※ 他の 内訳 RIBC 内訳書ファイルとリンクして共通費計算をおこなう場合に使用します。

¥0設計削除



Alt + C + B

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

「¥0設計挿入」と逆の動作をします。

変更解除



Alt + C + R

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

今回設計のデータを削除し、設計回数を1回戻します。

最終設計→当初設計



Alt + C + D

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

最終変更設計の数量・金額を当初設計へ変換します。

設計回数

Alt + C + N

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

変更の履歴を確認します。※ 内訳書の開始設計回数により () の表示に変わります。

▶ 当初設計	(変更 10 回設計、20 回設計、・・・、変更 80 回設計)	Alt+C+N+A
▶ 変更 1 回設計	(変更 11 回設計、21 回設計、・・・、変更 81 回設計)	Alt+C+N+S
▶ 変更 2 回設計	(変更 12 回設計、22 回設計、・・・、変更 82 回設計)	Alt+C+N+D
▶ 変更 3 回設計	(変更 13 回設計、23 回設計、・・・、変更 83 回設計)	Alt+C+N+F
▶ 変更 4 回設計	(変更 14 回設計、24 回設計、・・・、変更 84 回設計)	Alt+C+N+G
▶ 変更 5 回設計	(変更 15 回設計、25 回設計、・・・、変更 85 回設計)	Alt+C+N+H
▶ 変更 6 回設計	(変更 16 回設計、26 回設計、・・・、変更 86 回設計)	Alt+C+N+J
▶ 変更 7 回設計	(変更 17 回設計、27 回設計、・・・、変更 87 回設計)	Alt+C+N+K
▶ 変更 8 回設計	(変更 18 回設計、28 回設計、・・・、変更 88 回設計)	Alt+C+N+L
▶ 変更 9 回設計	(変更 19 回設計、29 回設計、・・・、変更 89 回設計)	Alt+C+N+Z
▶ 変更 10 回設計	(変更 20 回設計、30 回設計、・・・、変更 90 回設計)	Alt+C+N+X

設計変更の数量の入力方法

Alt + C + I

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

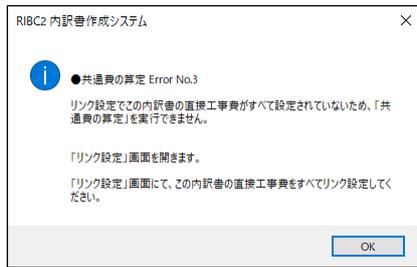
▶ 変更後の数量 Alt+C+I+L

数量欄の2段目を入力します。

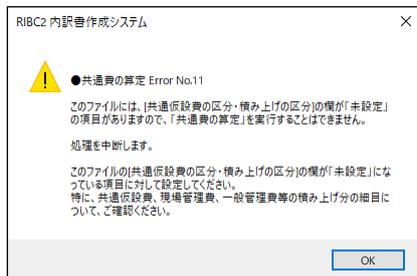
▶ 当該変更の増減数量 Alt+C+I+Z

数量欄の3段目を入力します。

下記のメッセージが表示された場合は、リンク設定を確認します。



上記のメッセージが表示された場合は、細目別・別紙明細画面の共通仮設費の区分欄や、共通費積み上げ等画面の積み上げの区分欄が「未設定」となっている行を確認します。



共通費の算定オプション

Alt + K + O



・ 共通費の算定方法

共通費計算の方法を選択します。

・ カスタマイズ

共通費の算定を RIBC2 でおこなうか、ユーザーが独自に作成した外部ファイルを利用しておこなうかを設定します。



[出来高(P)]メニュー

[当初設計・変更設計]表示から[出来高]入力表示に切り替え

Alt + P + D



[当初設計・変更設計] 表示から [出来高] 入力表示に切り替えます。

色	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	数地	更新日時	共通仮設費の区分	仕分け設定1	仕分け設定2
	建築工事/庁舎/直接仮設											
	張り方		1	式		275,220 29,982	別紙 00-0155	敷地I	24/02/07 18:18	建築工事 新設工事	その他	その他
	張り方 一般		834 250	m ²	330	275,220 29,982	別紙 00-182511 system新 標準	敷地I	24/02/07 18:18	率入力	設定不可	設定不可
	計(別紙1)					275,220 29,982		敷地I				
	墨出し		1	式		1,411,830 29,982	別紙 00-0156	敷地I	24/02/07 18:15	建築工事 新設工事	その他	その他
	墨出し 一般		2,241 872	m ²	630	1,411,830 29,982	別紙 00-182514 system新 標準	敷地I	24/02/07 18:14	率入力	設定不可	設定不可
	計(別紙1)					1,411,830 29,982		敷地I				
	養生		1	式		896,400 29,982	別紙 00-0157	敷地I	24/02/07 18:15	建築工事 新設工事	その他	その他
	養生 一般		2,241 872	m ²	400	896,400 29,982	別紙 00-182515 system新 標準	敷地I	24/02/07 18:14	率入力	設定不可	設定不可
	計(別紙1)					896,400 29,982		敷地I				
	整理清掃 残片付け		1	式		4,526,820 29,982	別紙 00-0158	敷地I	24/02/07 18:15	建築工事 新設工事	その他	その他
	整理清掃 残片付け 一般		2,241 872	m ²	2,020	4,526,820 29,982	別紙 00-182531 system新 標準	敷地I	24/02/07 18:14	率入力	設定不可	設定不可
	計(別紙1)					1,557,440 29,982		敷地I				

[出来高]入力表示から[当初設計・変更設計]表示に戻す

Alt + P + D



[出来高] 入力表示から [当初設計・変更設計] 表示に切り替えます。

出来形数量および出来高率(出来高金額)のクリア

Alt + P + R



出来高入力をおこなった  内訳書ファイルから出来高情報をクリアします。

出来高の入力方法

Alt + P + I



出来高の入力方法を「出来高率」にするか、「出来高金額」にするかを設定します。

▶ 出来高率 Alt+P+I+R

▶ 出来高金額 Alt+P+I+K

[スライド(L)]メニュー

出来形部分の共通費算定(単品スライドは適用外)

Alt + L + N

内訳書

代価表

仕分け

表紙

工事概要

工事費

工事種別

種目別

科目別

中科目別

細目別・別紙明細

共通費積み上げ等

すべて

分類

一覧

出来形部分の共通費の算定をすることができます。

名称	数量	単位	金額	備考	工事	更新日	工事種別の区分
直接工事費							
建築工事	1	式	229,095,161 95.34%		宮崎	24/02/07	建築工事
電気設備工事	1	式	11,444,228 15.76%		宮崎	24/02/07	電気設備工事
機械設備工事	1	式	27,518,198 15.84%		宮崎	24/02/07	機械設備工事
計			261,997,585 41.80%				
			109,529,428				

名称	数量	単位	金額	備考
直接工事費				
建築工事	1	式	229,095,161 46.34%	OK 直接工事費
電気設備工事	1	式	11,444,228 15.76%	OK 直接工事費
機械設備工事	1	式	27,518,198 15.84%	OK 直接工事費
計			261,997,585 OKX 直接工事費計	
			109,529,428	
共通費				
共通仮設費	1	式	12,279,255 41.86%	KK 共通仮設費
現場管理費	1	式	34,785,462 35.39%	KG 現場管理費
一般管理費等	1	式	35,727,698 41.15%	KI 一般管理費等
計			14,792,920	
			82,892,415 KS 共通費計	
			32,986,497	
工事価格				
工事価格	1	式	344,800,000	KKK 工事価格
消費税等相当額	1	式	141,889,925	
			34,400,000	消費税率 10 %
工事費	1	式	14,188,992	
			379,280,000	KH 工事費
			156,078,917	
				OH コメント

出来形部分と残工事部分を分けた内訳書ファイルの作成

Alt + L + O

内訳書 代価表 仕分け

表紙 工事概要 工事費 工事種別 種目別 科目別 中科目別 細目別・別紙明細 共通費積み上げ等 すべて 分類 一覧

残工事に対する変動前後の差額を計算することができます。

- 出来高内訳書をもとに、同一の内訳書ファイルに出来形部分の行と残工事部分の行を分けた内訳書の形で作成します。
- 残工事部分の内訳書は、標準単価ファイル行の単価を一括で入れ替えの機能で、変動後の単価に入れ替えることができます。

色	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	数量	更新日時	共通費積みの区分	仕分け設定1	
建築工事/庁舎/直接仮設												
①	造り方		1	式		276,220 182,054 -82,568	別紙 00-0156	敷地1	23/02/20 10:48	建設工事 新築工事	その他	
②	造方	一般	884		330	276,220 182,054 -82,568	BO-132511 yynn新	敷地1	23/02/20 10:48		設定不可	
③	計(別紙1)			m ²		276,220 182,054 -82,568		敷地1				
④	量出し		1	式		1,411,830 889,281 -423,549	別紙 00-0156	敷地1	23/02/20	建設工事	その他	
⑤	量出し	一般	2,241		630	1,411,830 889,281 -423,549	BO-132514 yynn新	敷地1	23/02/20 10:48		設定不可	
⑥	計(別紙1)			m ²		1,411,830 889,281 -423,549		敷地1				
⑦	養生		1	式		896,400 627,480 -268,920	別紙 00-0157	敷地1	23/02/20 10:48	建設工事 新築工事	その他	
⑧	養生	一般	2,241		400	896,400 627,480 -268,920	BO-132515 yynn新	敷地1	23/02/20 10:48		設定不可	
⑨	計(別紙1)			m ²		896,400 627,480 -268,920		敷地1				
⑩	造り方		1	式		100,000 100,000	別紙 01-0001	敷地1	23/02/20 10:48	建設工事 新築工事	その他	
⑪	造方	一般	0		400	100,000 100,000	BO-132511 No.4	敷地1	23/02/20 10:48		設定不可	
⑫	計(別紙1)			m ²		100,000 100,000		敷地1				
⑬	量出し		1	式		376,488 376,488	別紙 01-0002	敷地1	23/02/20	建設工事	その他	
⑭	量出し	一般	0		560	376,488 376,488	BO-132514 No.4	敷地1	23/02/20 10:48		設定不可	
⑮	計(別紙1)			m ²		376,488 376,488		敷地1				
⑯	養生		1	式		288,920 288,920	別紙 01-0003	敷地1	23/02/20 10:48	建設工事 新築工事	その他	
⑰	養生	一般	0		400	288,920 288,920	BO-132515 No.4	敷地1	23/02/20 10:48		設定不可	
⑱	計(別紙1)			m ²		288,920 288,920		敷地1				

出来形部分を抜き出した内訳書ファイルの作成

Alt + L + H

内訳書 代価表 仕分け

表紙 工事概要 工事費 工事種別 種目別 科目別 中科目別 細目別・別紙明細 共通費積み上げ等 すべて 分類 一覧

出来形部分を当初設計の形式で新規作成します。

残工事部分を抜き出した内訳書ファイルの作成

Alt + N + M

内訳書 代価表 仕分け

表紙 工事概要 工事費 工事種別 種目別 科目別 中科目別 細目別・別紙明細 共通費積み上げ等 すべて 分類 一覧

最終設計数量または最終設計金額から出来高内訳書で入力された出来高数量または出来高金額を引いた数量及び金額の内訳書を作成します。

III.見積比較ファイル

目次

はじめに

I. 共通メニュー

II. 内訳書ファイル

III. 見積比較ファイル

III-1. 画面説明

見積分類行	III-3
見積見出し行	III-4
見積単価行	III-4
諸経費行・調整額行・見積金額行	III-5

III-2. 機能説明

[ファイル(F)]メニュー	III-6
新規作成	III-6
開く	III-6
閉じる	III-6
上書き保存	III-6
名前を付けて保存	III-6
プロパティ	III-6
端数処理	III-9
セキュリティ	III-10
印刷書式設定	III-11
印刷プレビュー	III-11
印刷	III-11
内訳書作成システムの終了	III-11
[編集(E)]メニュー	III-12
コピー	III-12
貼り付け	III-12
決定単価の設定	III-12
会社名の入力	III-12
仮の単価入力	III-13
[変更設計(H)]メニュー	III-13
設計回数	III-13
[表示(V)]メニュー	III-14
ツールバー	III-14
ファイル一覧	III-14

IV. 歩掛りファイル

V. 共通費情報ファイル

操作説明（eラーニング）

内訳書作成システムの操作説明は、下記のeラーニングを参照してください。

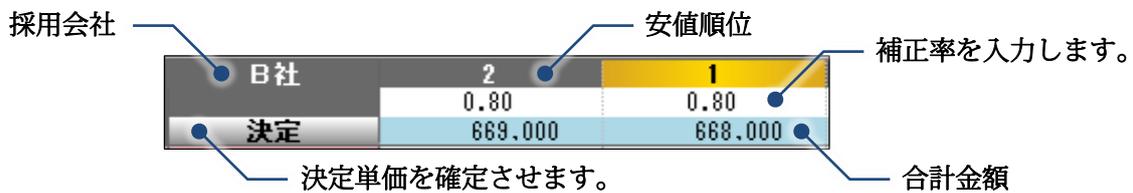
https://www.ribc.or.jp/ribc/ribc4_1.html



Ⅲ-1.画面説明

見積 見積比較ファイルを開くと、見積分類毎に見積コードを設定した見積り・刊行物等行が表示されます。

見積分類行

見積見出し行

見積比較											
No	細目	摘要	単位	数量	備考	補正率	決定単価	A社	B社		
							補正率	決定	AAA社	BBB社	
01	塗膜防水	外系 X-1	歩行用 30㎡<	当初	防水1	0.80	7,290.91 5,830	(7,200) 9,000	(7,280) 9,100	417,800	422,240

決定単価の調整率を入力します。

会社名

補正率	諸経費有無	AAA社	BBB社
0.80	<input checked="" type="checkbox"/> (すべて選択)		

チェックをすると、すべての見積り行が諸経費の対象になります。

チェックをすると、すべての見積り行に同じ調整率が設定されます。

見積単価行

見積比較											
No	細目	摘要	単位	数量	備考	補正率	決定単価	A社	B社		
							補正率	決定	AAA社	BBB社	
01	塗膜防水	外系 X-1	歩行用 30㎡<	当初	防水1	0.80	7,290.91 5,830	(7,200) 9,000	(7,280) 9,100	417,800	422,240

会社単価を入力します。

補正率をかけた金額

見積単価に諸経費や調整額を按分した値を加算した値

0.80	<input checked="" type="checkbox"/>	7,290.91	(7,200)	(7,280)
		5,830	9,000	9,100
			417,800	422,240

見積見出し行にチェックがない場合は、それぞれの調整率を入力します。

決定単価

会社金額

諸経費が按分されます。

諸経費行・調整額行・見積金額行

見積比較									
No	細目	摘要	単位	数量	備考	補正率	決定単価	A社	B社
							0.80	2	1
							0.80	0.80	0.80
							0.80	689,000	688,000
No	名称		単位	数量	備考	補正率	諸経費有無	AAA社	BBB社
01	塗膜防水	外気系 X-1	歩行用 30㎡<	当初	防水 1	0.80	<input checked="" type="checkbox"/> (すべて選択)	(7,200)	(7,280)
			㎡	58				9,000	9,100
02	塗膜防水	ゴムアスファルト系 Y-2	歩行用 30㎡<	当初	防水 2	0.80	<input checked="" type="checkbox"/>	(5,448.16)	(5,440)
			㎡	45				7,000	6,800
								252,000	244,800
	諸経費	(☑に対する)						0	1,000
	調整額							-600	-40
	見積金額							689,000	688,000

- 諸経費行

諸経費有無にチェックをすると表示されます。

- 調整額行

会社単価の合計金額を補正するときに入力します。

- 見積金額行

会社単価の積み上げ金額が表示されます。

Ⅲ-2.機能説明

[ファイル(F)]メニュー

新規作成



Ctrl + N
Alt + F + N

内訳書ファイルを新規作成します。



開く



Ctrl + O
Alt + F + O

内訳書作成システムで使用するファイルを開きます。



閉じる



Ctrl + W
Alt + F + C

見積比較ファイルを閉じます。



上書き保存



Ctrl + S
Alt + F + S

見積比較ファイルを上書き保存します。



名前を付けて保存

F12
Alt + F + A

見積比較ファイルを名前を付けて保存します。



プロパティ

Alt + F + R

現在開いている 見積比較ファイルの情報を表示します。



・ファイル情報

項目	値
工事名称	建設工事 ○○○建設工事 予定地内訳情報
最大実設計回数	設計回数
内訳書から出力された日時	2021/02/26 16:10:17
内訳書の準備が完了した日時	2021/02/26 16:10:17
ファイル更新日時	2021/02/26 16:10:18

・ 諸経費及び調整額の按分

- 「調整額」を各単価に按分しない、かつ「諸経費」と「調整額」に各社ごとの補正率を乗じない

プロパティ

ファイル情報 諸経費及び調整額の按分

「諸経費」及び「調整額」の按分計算を設定します。

「調整額」を各単価に按分しますか
 按分しない
 按分する

「諸経費」と「調整額」に各社ごとの補正率を乗じますか
 乗じない
 乗じる

■適用例 ← : 諸経費の按分

数量	備考	補正率	決定単価	A社	B社
すべて	すべて	すべて	すべて	1 0.90	2 1.00
		決定		54,700	60,000
数量	備考	決定単価1	諸経費有無 (すべて選択)	諸経費の按分単価1	
見積分類 1	数量1	1.00	325	300	単価1 1,000
10	数量1	1.00	3,000	3,000	金額1 10,000
見積分類 2	数量1	1.00	1,800	(1,800)	金額2 2,000
10	数量1	1.00	1,800	(1,800)	金額2 20,000
見積分類 3	数量1	1.00	2,775	2,700	金額3 3,000
10	数量1	1.00	2,780	3,000	金額3 30,000
				1,000	諸経費 0
				-300	
				54,700	60,000

注) ・決定単価に「物価資料の掲載価格の最低値」が設定されている場合、調整額は按分されません。

OK キャンセル(C)

決定単価1 = 単価1 + 諸経費の按分単価1

諸経費の按分単価1 = 諸経費の按分金額1 / 数量1

諸経費の按分金額1 = 諸経費 × (金額1 / (金額1 + 金額3))

- 「調整額」を各単価に按分しない、かつ「諸経費」と「調整額」に各社ごとの補正率を乗じる

プロパティ

ファイル情報 諸経費及び調整額の按分

「諸経費」及び「調整額」の按分計算を設定します。

「調整額」を各単価に按分しますか
 按分しない
 按分する

「諸経費」と「調整額」に各社ごとの補正率を乗じますか
 乗じない
 乗じる

■適用例 ← : 諸経費の按分

数量	備考	補正率	決定単価	A社	B社
すべて	すべて	すべて	すべて	1 0.90	2 1.00
		決定		54,630	60,000
数量	備考	決定単価1	諸経費有無 (すべて選択)	諸経費の按分単価1	
見積分類 1	数量1	1.00	320	300	単価1 1,000
10	数量1	1.00	3,000	3,000	金額1 10,000
見積分類 2	数量1	1.00	1,800	(1,800)	金額2 2,000
10	数量1	1.00	1,800	(1,800)	金額2 20,000
見積分類 3	数量1	1.00	2,757.5	2,700	金額3 3,000
10	数量1	1.00	2,770	3,000	金額3 30,000
				300	諸経費 0
				-270	
				-300	
				54,630	60,000

注) ・決定単価に「物価資料の掲載価格の最低値」が設定されている場合、調整額は按分されません。

OK キャンセル(C)

決定単価1 = 単価1 + 諸経費の按分単価1

諸経費の按分単価1 = 諸経費の按分金額1 / 数量1

諸経費の按分金額1 = 諸経費 × (金額1 / (金額1 + 金額3))

● 「調整額」を各単価に按分する、かつ「諸経費」と「調整額」に各社ごとの補正率を乗じない

プロパティ

ファイル情報 諸経費及び調整額の按分

「諸経費」及び「調整額」の按分計算を設定します。

「調整額」を各単価に按分しますか
 按分しない
 按分する

「諸経費」と「調整額」に各社ごとの補正率を乗じますか
 乗じない
 乗じる

■適用例 ← 諸経費の按分 → ; → 調整額の按分 ←

数量	備考	補正率	決定単価	A社	B社
すべて	すべて	すべて	すべて	1	2
		決定		54,700	60,000
数量	備考	補正率	決定単価	A社	B社
10	見積分類 1	1.00	820	8,100	10,000
10	見積分類 2	1.00	1,790	18,000	20,000
10	見積分類 3	1.00	2,750	27,000	30,000
			調整額	0	0
				54,700	60,000

注) ・決定単価に「物価資料の掲載価格の最低値」が設定されている場合、調整額は按分されません。

OK キャンセル(C)

● 「調整額」を各単価に按分する、かつ「諸経費」と「調整額」に各社ごとの補正率を乗じる

プロパティ

ファイル情報 諸経費及び調整額の按分

「諸経費」及び「調整額」の按分計算を設定します。

「調整額」を各単価に按分しますか
 按分しない
 按分する

「諸経費」と「調整額」に各社ごとの補正率を乗じますか
 乗じない
 乗じる

■適用例 ← 諸経費の按分 → ; → 調整額の按分 ←

数量	備考	補正率	決定単価	A社	B社
すべて	すべて	すべて	すべて	1	2
		決定		54,630	60,000
数量	備考	補正率	決定単価	A社	B社
10	見積分類 1	1.00	820	8,100	10,000
10	見積分類 2	1.00	1,791.15	18,000	20,000
10	見積分類 3	1.00	2,754.18	27,000	30,000
			調整額	0	0
				54,630	60,000

注) ・決定単価に「物価資料の掲載価格の最低値」が設定されている場合、調整額は按分されません。

OK キャンセル(C)

端数処理



Alt + F + H

見積比較ファイル内の端数処理と内訳書ファイルに読み込んだときの端数処理を設定します。

(1) 決定単価の端数処理

製造業者又は専門工事業者の見積価格等 《最安値の見積書(会社)を採用する場合》 ※平均値を採用する場合も、この端数処理に準じる

① 『公共建築工事積算基準等資料—国土交通省』の「単価及び価格に関する数値の取り扱い」による(1)
採用する価格の端数処理については、有効上位3桁とする。
ただし、千円未満の場合は、十円単位とし、百円未満の場合は、一円単位とし、一円未満の場合は小数点以下第2位とする。

② 代表表の有効桁設定の有効化を採用する(1) (代表表の端数処理が、上記①と同じ場合選択不可)

物価資料に基づく材料単価、市場単価等 《平均値を採用する場合 (2誌比較)》

③ 『公共建築工事積算基準等資料—国土交通省』の「単価及び価格に関する数値の取り扱い」による(2)
イ、平均値を採用する場合の端数処理は一円単位とし、一円未満の場合は、小数点以下第2位とする。
ロ、イの端数処理を行った結果が、物価資料の掲載価格の有効桁の最終桁の位と異なる場合の端数処理は、有効桁の最終桁の位が最も小さい桁の位とする。
ハ、1つの物価資料にのみ掲載される場合は、掲載された価格とし、端数処理は行わない。

④ 『公共建築工事積算基準等資料(平成29年版)—国土交通省』の「単価及び価格に関する数値の取り扱い」による(2)
イ、平均値を採用する場合の端数処理は、代表表の有効桁設定(※)の有効化とする。
ロ、イの端数処理を行った結果が、物価資料の掲載価格の有効桁の最終桁の位と異なる場合の端数処理は、有効桁の最終桁の位が最も小さい桁の位とする。

⑤ 『公共建築工事積算基準等資料(平成28年版)—国土交通省』の「単価及び価格に関する数値の取り扱い」による(2)
イ、平均値を採用する場合の端数処理は、代表表の有効桁設定(※)の有効化とする。
ロ、イの端数処理を行った結果が、物価資料の掲載価格の方が有効桁が多い場合は、掲載価格の有効化を採用する。

⑥ 代表表の有効桁設定の有効化を採用する(5)
(※) 代表表の有効桁設定のデフォルト値
有効上位3桁とする。ただし、千円未満の場合は、十円単位とし、百円未満の場合は一円単位とし、一円未満の場合は小数点以下第2位とする。

物価資料の掲載価格等 《最低値を採用する場合》

掲載価格等の最低値を採用する(端数処理は行わない)。

(注) 決定単価に調整率(1.00以外)を乗じた場合は、代表表の端数処理に従う。

(2) 細目別及び別紙明細書に計上する単価

⑦ 内訳書ファイルの代表表の端数処理の有効化を採用する(5)

⑧ 上記(1)の有効化を採用する(2)

システム記憶(S) システム態に戻す(R) デフォルト態に戻す(D) 更新(U) OK キャンセル(Q)

(1) 決定単価の端数処理

見積比較ファイルの決定単価欄の端数処理を設定します。

ABC 安価単位	会社名	合計金額
A社 1		999,000
B社 3		429,000
C社 2		405,000

見積価格等の平均値
物価資料の掲載価格等の平均値
物価資料の掲載価格等の最低値

OK キャンセル

① 製造業者又は専門工事業者の見積価格等《最安値の見積書(会社)を採用する場合》

「見積価格等の平均値」を選択した場合の端数処理を設定します。

② 物価資料に基づく材料単価、市場単価等《平均値を採用する場合(2誌比較)》

「物価資料の掲載価格等の平均値」を選択した場合の端数処理を設定します。

◎物価資料の掲載価格等《最低値を採用する場合》

「物価資料の掲載価格等の最低値」を選択した場合の端数処理です。

※会社単価が0円以外の最低値を採用します。

※採用された会社単価のセル色が「ゴールド」で表示されます。

※決定単価は端数処理されません。

(2) 細目別及び別紙明細書に計上する単価…①

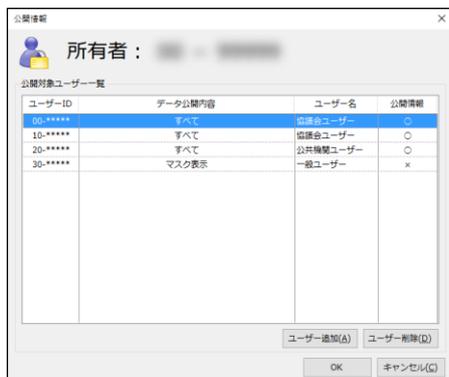
 見積比較ファイルの決定単価欄を  内訳書ファイルの細目別・別紙明細画面などに読み込むときの端数処理を設定します。

セキュリティ



Alt + F + L

 見積比較ファイルを他のユーザーに提供した場合のセキュリティ機能を  設定します。



・表示制限の種類

・すべて

他のユーザーの内訳書作成システムでも、すべてのデータが表示されます。

・マスク表示

他のユーザーの内訳書作成システムでは、単価欄、備考欄（2、3行目）が「*」で表示されます。

・0円クリア

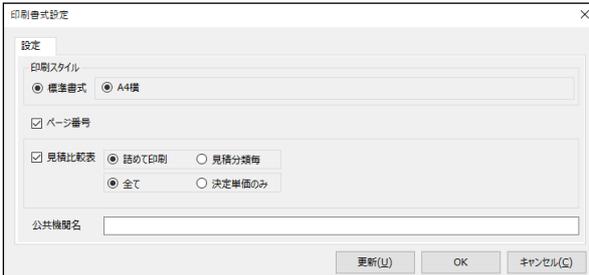
他のユーザーの内訳書作成システムでは、単価欄を0円クリアして表示されます。

印刷書式設定



Alt + F + U

 見積比較ファイルの印刷書式を設定します。

印刷プレビュー



Alt + F + V

 見積比較ファイルの印刷イメージを画面で確認します。



印刷



Ctrl + P

Alt + F + P

 見積比較ファイルを印刷します。



なお、印刷イメージを  Excel ファイル (*.xls、*.xlsx) に出力することもできます。

また、備考欄や補正率欄、決定単価欄を非表示にして出力したり、会社名を墨塗りにして出力したりすることができます。

※ Excel ファイル形式での出力は、Microsoft Excel がインストールされていないと実行できません。

※ 出力した  Excel ファイルの内容を  見積比較ファイルに書き戻すことはできません。

内訳書作成システムの終了



Alt + F + X

内訳書作成システムを終了します。



[編集(E)]メニュー

コピー   **Ctrl + C**
Alt + E + C

セルをコピーします。

貼り付け   **Ctrl + V**
Alt + E + P

コピーしたセルの値を、別のセルに貼り付けます。
 ※貼り付けできるセル：補正率、会社単価、諸経費

決定単価の設定  **Ctrl + T**
Alt + E + S

チェックをつけた見積分類の決定単価を設定します。

決定単価の設定

決定単価を確定する見積分類にチェックを入れて下さい。

決定	見積分類	ABC社	会社名
<input type="checkbox"/>	土工	A社	
<input type="checkbox"/>	地業	C社	
<input type="checkbox"/>	鉄筋	会社?	
<input type="checkbox"/>	コンクリー	会社?	
<input type="checkbox"/>	型枠	会社?	
<input type="checkbox"/>	鉄骨	会社?	
<input type="checkbox"/>	防水	会社?	
<input type="checkbox"/>	屋根及びヒ	会社?	
<input type="checkbox"/>	金網	会社?	
<input type="checkbox"/>	建具	会社?	
<input type="checkbox"/>	塗装	会社?	
<input type="checkbox"/>	内外装	会社?	
<input type="checkbox"/>	ユニット及	会社?	
<input type="checkbox"/>	欄干設備	会社?	

OK キャンセル

会社名の入力  **Ctrl + K**
Alt + E + K

見積分類毎に会社名（A社からJ社）を入力します。

会社名の入力

各見積分類毎に会社名を入力してください。

見積分類	A社	B社	C社	D社	E社	F社	G社	H社	I社	J社
土工										
地業										
鉄筋										
コンクリー										
型枠										
鉄骨										
防水										
屋根及びヒ										
金網										
建具										

OK キャンセル

仮の単価入力



Alt + E + 0

会社単価に他社の単価を「仮の単価」として入力することができます。



01	異形鉄筋	S0345	D29	当初		地案 1	1.00		0	200	0	0
			t		96			<input type="checkbox"/>	0	19,200	A	200
										19,200		0

▶ A 社

▶ B 社

▶ C 社

▶ D 社

▶ E 社

▶ F 社

▶ G 社

▶ H 社

▶ I 社

▶ J 社

[変更設計(H)]メニュー

設計回数

Alt + H + S

変更の履歴を確認します。※見積比較ファイルの開始設計回数により () の表示に変わります。



▶ 当初設計	(変更 10 回設計、変更 20 回設計、・・・、変更 80 回設計)	Alt+C+N+A
▶ 変更 1 回設計	(変更 11 回設計、変更 21 回設計、・・・、変更 81 回設計)	Alt+C+N+S
▶ 変更 2 回設計	(変更 12 回設計、変更 22 回設計、・・・、変更 82 回設計)	Alt+C+N+D
▶ 変更 3 回設計	(変更 13 回設計、変更 23 回設計、・・・、変更 83 回設計)	Alt+C+N+F
▶ 変更 4 回設計	(変更 14 回設計、変更 24 回設計、・・・、変更 84 回設計)	Alt+C+N+G
▶ 変更 5 回設計	(変更 15 回設計、変更 25 回設計、・・・、変更 85 回設計)	Alt+C+N+H
▶ 変更 6 回設計	(変更 16 回設計、変更 26 回設計、・・・、変更 86 回設計)	Alt+C+N+J
▶ 変更 7 回設計	(変更 17 回設計、変更 27 回設計、・・・、変更 87 回設計)	Alt+C+N+K
▶ 変更 8 回設計	(変更 18 回設計、変更 28 回設計、・・・、変更 88 回設計)	Alt+C+N+L
▶ 変更 9 回設計	(変更 19 回設計、変更 29 回設計、・・・、変更 89 回設計)	Alt+C+N+Z
▶ 変更 10 回設計	(変更 20 回設計、変更 30 回設計、・・・、変更 90 回設計)	Alt+C+N+X

[表示(V)]メニュー

ツールバー

Alt + V + B

▶ 設計回数

Alt+V+B+C

現在の設計回数： 当初設計

▶ 表示倍率

Alt+V+B+V

表示倍率：  100%

ファイル一覧



Alt + V + F

現在開いている内訳書作成システムのファイル一覧を表示します。

▶ 右側にタブ表示

Alt+V+F+R

▶ 左側にタブ表示

Alt+V+F+L

▶ 右側にファイル一覧表示

Alt+V+F+E

▶ 左側にファイル一覧表示

Alt+V+F+W

▶ タブ非表示

Alt+V+F+H

IV. 歩掛りファイル

目次

はじめに

- I. 共通メニュー
- II. 内訳書ファイル
- III. 見積比較ファイル
- IV. 歩掛りファイル

IV-1. 画面説明

列見出し（歩掛り一覧行）	IV-2
歩掛り区分	IV-3
列見出し（歩掛り内訳行）	IV-4

IV-2. 機能説明

[ファイル(F)]メニュー	IV-5
新規作成	IV-5
開く	IV-5
閉じる	IV-5
内訳書作成システムの終了	IV-5
[編集(E)]メニュー	IV-6
コピー	IV-6
摘要名称検索	IV-6
[表示(V)]メニュー	IV-7
ツールバー	IV-7
ファイル一覧	IV-7

V. 共通費情報ファイル

操作説明（eラーニング）

内訳書作成システムの操作説明は、下記のeラーニングを参照してください。

https://www.ribc.or.jp/ribc/ribc4_1.html



IV-1.画面説明

- 歩掛り
RIBC 歩掛りファイルは、内訳
RIBC 内訳書ファイルに挿入された標準単価ファイル行の単価を確認したり、歩掛りファイルの歩掛りをコピーして、代価表を作成したりすることができます。
- 歩掛り
RIBC 歩掛りファイルを開くと、登録されている歩掛り名称の一覧画面が表示されます。細目欄をダブルクリックすると歩掛り内訳画面が表示され、同じ名称をもう一度ダブルクリックすると、表示されていた行が非表示になります。

列見出し(歩掛り一覧行)

歩掛り一覧行には、以下の項目が表示されます。

名 称		説 明
①	細 目	歩掛りの名称が表示されます。
	摘 要	
②	単 位	単位名称と、単価計算の状態がアイコンで表示されます。
③	数 量	歩掛りの数量が表示されます。
④	乗 率	(使用しません)
⑤	単 価	歩掛り内訳行の計行（丸め処理の後）が表示されます。
⑥	金 額	歩掛り内訳行の計行（丸め処理の前）が表示されます。
⑦	率 対 象	上段：歩掛り区分が表示されます。
		下段：単価の種類が表示されます。歩掛り区分は、計算した歩掛りの出典根拠を示します。
⑧	備 考	上段：細目名称のコード番号。
		中段：摘要名称のコード番号。
		下段：メモ欄。

歩掛り区分

区分	出典
標準	公共建築工事標準単価積算基準（ 標準 歩掛り）
市場	公共建築工事標準単価積算基準（ 市場 単価）
参考	公共建築工事積算研究会 参考 歩掛り
資料	公共建築工事積算基準等 資料
補市	補正 市場単価
補算	補正算 出用 ※補正率の算定に使用している「参考歩掛り」等
市加	市場 単価加工 ※市場単価±材料単価、市場単価±複合単価
協議	営繕積算システム等開発利用 協議 会歩掛り ※「標準歩掛り」の補足資料
協参	営繕積算システム等開発利用 協議 会 参考 資料
参資	上記単価以外の 参考 資料 ※「見積り単価」等の検討資料
独自	ユーザーが 独自 に作成した歩掛り ※共通歩掛りを改変したデータも[独自]表示になります
住標	公共 住 宅建設工事積算基準（ 標準 歩掛り）
住市	公共 住 宅建設工事積算基準（ 市場 単価）

列見出し(歩掛り内訳行)

歩掛り内訳行には、歩掛り一覧行の単価の構成が表示されます。

歩掛り画面の列見出し(歩掛り内訳行)には、以下の項目が表示されます。

名 称		説 明
①	細 目	材料単価や労務単価、他の歩掛りを引用している場合は歩掛りの名称等が表示され ます。
	摘 要	
②	単 位	単位名称が表示されます。
③	数 量	歩掛り、数量または率を表示します。改修工事または撤去工事を計算した場合は 下段に補正率が表示されます。
④	乗 率	数量欄の値に割増しまたは低減を行う率が表示されます。
⑤	単 価	表示の名称の単価が表示されます。
⑥	金 額	数量、乗率、単価の各欄を乗じた値が表示されます。
—	計 算 式	数量欄～金額欄の下のボックスは計算式の欄です。
⑦	率 対 象	上段：[○]の行は「その他」行を計算するときの対象となる項目です。 中段：[☆]の行は、改修工事または撤去工事の計算において歩掛り（数量欄） に対して補正を行います。 [★]の行は、改修工事または撤去工事の計算において単価欄に対して補 正を行います。
		下段：単価の種類が表示されます。
⑧	備 考	上段：細目名称のコード番号。
		中段：摘要名称のコード番号。
		下段：メモ欄。

IV-2.機能説明

[ファイル(F)]メニュー

新規作成



Ctrl + N
Alt + F + N

 内訳書ファイルを新規作成します。



※  歩掛りファイルを新規作成することはできません。

開く



Ctrl + O
Alt + F + O

内訳書作成システムで使用するファイルを開きます。



閉じる



Ctrl + W
Alt + F + C

 歩掛りファイルを閉じます。



内訳書作成システムの終了



Alt + F + X

内訳書作成システムを終了します。



[編集(E)]メニュー

コピー



Ctrl + C
Alt + E + C

選択した行をコピーします。

例：コピー&行挿入で、コピーした歩掛り一覧行を  内訳書ファイルの代価表画面に挿入するときに使用します。



摘要名称検索



Alt + E + T

選択中の細目名称の摘要欄を検索します。



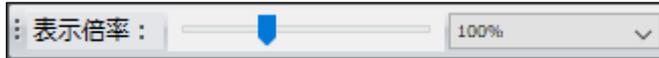
[表示(V)]メニュー

ツールバー

Alt + V + B

▶ 表示倍率

Alt+V+B+V



ファイル一覧



Alt + V + F

現在開いている内訳書作成システムのファイル一覧を表示します。

▶ 右側にタブ表示

Alt+V+F+R

▶ 左側にタブ表示

Alt+V+F+L

▶ 右側にファイル一覧表示

Alt+V+F+E

▶ 左側にファイル一覧表示

Alt+V+F+W

▶ タブを非表示

Alt+V+F+H

V. 共通費情報ファイル

目次

はじめに

I. 共通メニュー

II. 内訳書ファイル

III. 見積比較ファイル

IV. 歩掛りファイル

V. 共通費情報ファイル

V-1. 画面説明

工事種別の区分.....V-3

共通仮設費の区分.....V-4

V-2. 機能説明

[ファイル(F)]メニュー.....V-5

新規作成.....V-5

開く.....V-5

閉じる.....V-5

上書き保存.....V-5

名前を付けて保存.....V-5

参照フォルダの設定.....V-5

共通費情報保守画面の終了.....V-5

[編集(E)]メニュー.....V-6

切り取った行を元に戻す.....V-6

切り取り.....V-6

コピー.....V-6

切り取った行を挿入する.....V-6

コピーした行を挿入する.....V-6

新規挿入.....V-6

削除.....V-6

すべて選択.....V-7

内訳書設定範囲.....V-7

名称の変更.....V-7

[表示(V)]メニュー.....V-8

上位に戻る.....V-8

下位に進む.....V-8

[オプション(O)]メニュー.....V-9

工事種別・共通仮設費の区分を出力.....V-9

バックアップ.....V-11

文字色の設定.....V-11

[ウィンドウ(W)]メニュー.....V-12

重ねて表示.....V-12

左右に並べて表示.....V-12

上下に並べて表示	V-12
[ヘルプ(H)]メニュー	V-13
ホームページ	V-13
リファレンスマニュアル	V-13
バージョン情報	V-13

操作説明 (eラーニング)

内訳書作成システムの操作説明は、下記のeラーニングを参照してください。

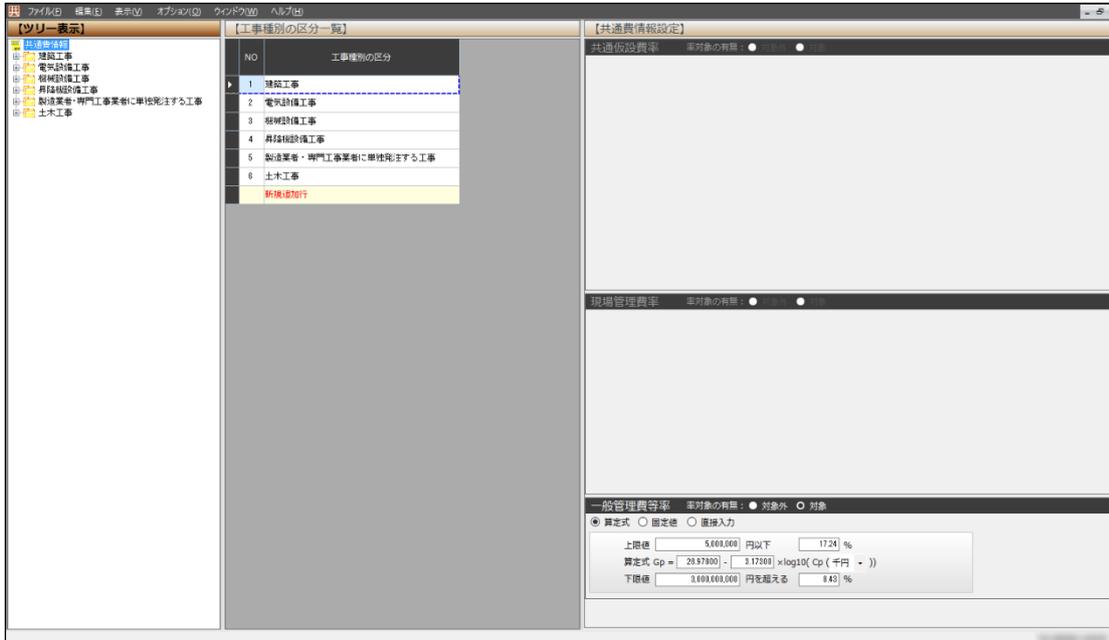
https://www.ribc.or.jp/ribc/ribc4_1.html



V-1.画面説明

共通費情報ファイルには、共通費計算で参照する率や計算式及び補正係数等が設定されています。

工事種別の区分



一番上の階層には、工事種別の区分に関する情報が収録されています。
 この画面では、**一般管理費等率**の算定方法を設定することができます。

・算定式

一般管理費等率 率対象の有無：● 対象外 ○ 対象

算定式 固定値 直接入力

上限値 円以下 %

算定式 $Gp = \frac{28.97800}{Cp} - \frac{3.17300}{Cp} \times \log(Cp)$ (Cp: 千円)

下限値 円を超える %

一般管理費等率を算定式により算出します。

・固定値

一般管理費等率 率対象の有無：● 対象外 ○ 対象

算定式 固定値 直接入力

Gp = %

一般管理費等率を固定値にします。

・直接入力

一般管理費等率 率対象の有無：● 対象外 ○ 対象

算定式 固定値 直接入力

一般管理費等率

一般管理費等

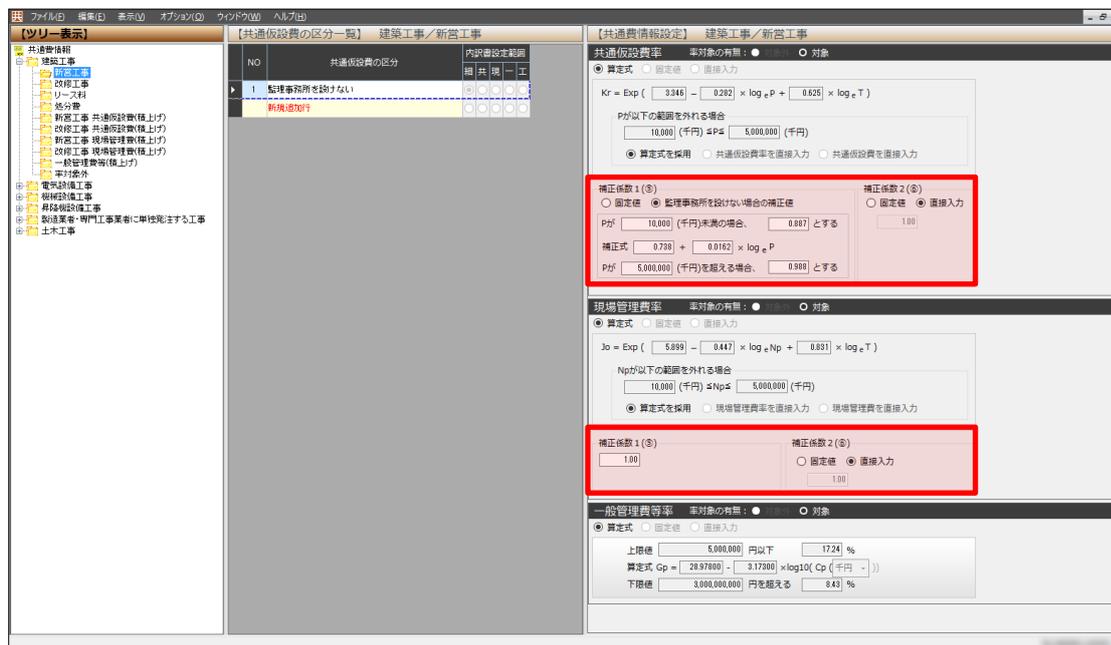
共通費の算定結果画面で、一般管理費等率もしくは一般管理費等を入力します。

共通仮設費の区分



二番目の階層には、共通仮設費の区分に関する情報が収録されています。

この画面では、共通仮設費率と現場管理費率の算定方法を設定することができます。



また、三番目の階層では、補正係数を設定することができます。

V-2.機能説明

[ファイル(F)]メニュー

新規作成



Ctrl + N
Alt + F + N

 共通費情報ファイルを新規作成します。

開く



Ctrl + O
Alt + F + O

 共通費情報ファイルを開きます。

閉じる



Ctrl + W
Alt + F + C

 共通費情報ファイルを閉じます。

上書き保存



Ctrl + S
Alt + F + S

 共通費情報ファイルを上書き保存します。

名前を付けて保存

Alt + F + A

 共通費情報ファイルに名前を付けて保存します。

参照フォルダの設定

Alt + F + E

「開く」や「名前を付けて保存」のときに表示されるフォルダを設定します。

共通費情報保守画面の終了



Alt + F + X

共通費情報保守を終了します。

[編集(E)]メニュー

切り取った行を元に戻す



Alt + E + B

切り取った行を元の状態に戻します。

切り取り



Ctrl + X
Alt + E + X

選択した行を切り取ります。

※上位の行を指定すると、下位の行も切り取られます。

例1：切り取り&行挿入で、切り取った行を別の位置に移動する時に使用します。

例2：切り取り&行挿入で、切り取った行を別の  共通費情報ファイルに挿入する時に使用します。

コピー



Ctrl + C
Alt + E + C

選択した行をコピーします。

※上位の行を指定すると、下位の行もコピーされます。

例1：コピー&行挿入で、コピーした行を別の位置に挿入する時に使用します。

例2：コピー&行挿入で、コピーした行を別の  共通費情報ファイルに挿入する時に使用します。

切り取った行を挿入する



Alt + E + I

切り取った行を挿入します。

コピーした行を挿入する



Alt + E + I

コピーした行を挿入します。

新規挿入



Alt + E + W

新規の行を挿入します。

削除



Del
Alt + E + D

選択した行を削除します。

※上位の行を指定すると、下位の行も削除されます。

すべて選択



Ctrl + A
 Alt + E + A

表示されている行がすべて選択されます。

内訳書設定範囲

Alt + E + U

共通仮設費の区分に対する内訳書の設定範囲を設定します。

NO	共通仮設費の区分	内訳書設定範囲			
		編	共	現	工
▶ 1	新築工事	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	改修工事	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3	リース料	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4	処分費	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5	新築工事 共通仮設費(種上げ)	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6	改修工事 共通仮設費(種上げ)	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7	新築工事 現場管理費(種上げ)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
8	改修工事 現場管理費(種上げ)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
9	一般管理費等(種上げ)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
10	率対象外	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	新規追加行	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

▶ 細目別内訳

▶ 共通仮設費

▶ 現場管理費

▶ 一般管理費等

▶ 工事内訳

名称の変更



F2
 Alt + E + M

行の名称を変更します。

[表示(V)]メニュー

上位に戻る



Alt + V + U

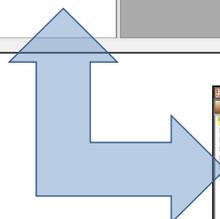
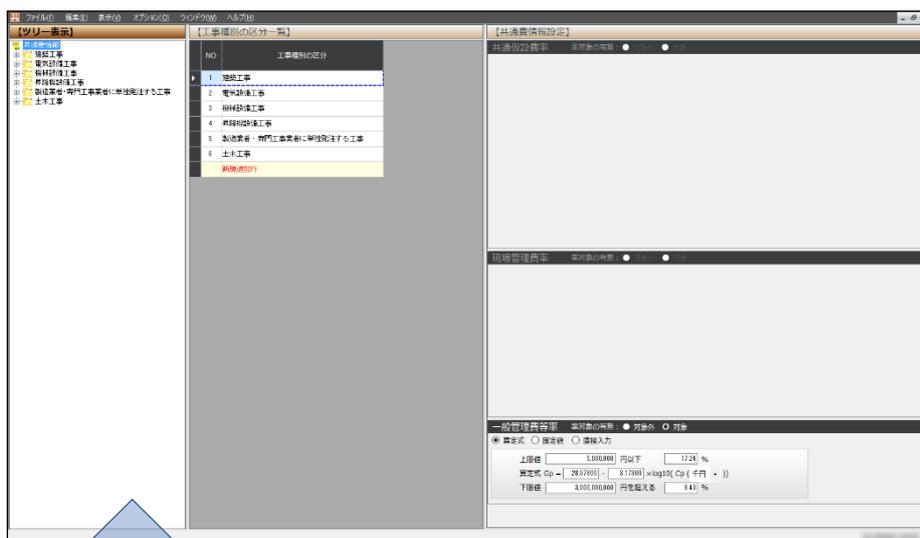
選択した行の上位の階層を表示します。

下位に進む



Alt + V + O

選択した行の下位の階層を表示します。



[オプション(O)]メニュー

工事種別・共通仮設費の区分を出力

Alt + 0 + 0

 共通費情報ファイルのデータを  Excel ファイルに出力します。

※ユーザー独自の仕様で共通費計算をおこなう場合の  Excel ファイルを作成するときに利用することができます。

- Excel ファイルの仕様

「出力」シート

 共通費情報ファイルの共通仮設費の区分一覧が出力されます。

共通費の算定時に、 内訳書ファイルの金額が出力されます。

工事種類	敷地	共通仮設費の区分1	共通仮設費の区分2	共通仮設費の区分3	当初
宮構	1	建築工事	新宮工事		0
宮構	1	建築工事	新宮工事	監理事務所を設けない	0
宮構	1	建築工事	改修工事		0
宮構	1	建築工事	改修工事	監理事務所を設けない	0
宮構	1	建築工事	リース料		0
宮構	1	建築工事	処分費		0
宮構	1	建築工事	新宮工事 共通仮設費(積上ず)		0
宮構	1	建築工事	改修工事 共通仮設費(積上ず)		0
宮構	1	建築工事	新宮工事 現場管理費(積上ず)		0
					当初
					184,128,704
					0
					0
					0
					0
					0
					1,980,900
					0
					0

※当該シートの行または列の追加や削除を行うと、共通費の算定が正常におこなえません。

「負担金出力」シート

名称	当初	変更1回	変更2回	変更3回	変更4回	変更5回
負担金1(課税)	0	0	0	0	0	0
負担金2(課税)	0	0	0	0	0	0
負担金3(課税)	0	0	0	0	0	0
負担金4(課税)	0	0	0	0	0	0
負担金5(課税)	0	0	0	0	0	0
負担金6(課税)	0	0	0	0	0	0

負担金出力用のシートが出力されます。

共通費の算定時に、 内訳書ファイルの負担金の金額が出力されます。

「読込」シート

共通費	当初	変更1回	変更2回	変更3回
共通仮設費	0	0	0	0
現場管理費	0	0	0	0
一般管理費等	0	0	0	0
当初諸員比率を乗じる額	0	0	0	0
新たな追加の工事①に諸員比率を乗じる額	×	0	0	0

共通費の算定結果読込用のシートが出力されます。

別シート等で共通費を算定し、当該シートのセルに算定結果が反映されるようにします。

「工期」シート

工期出力用のシートが出力されます。

共通費の算定時に、工期入力画面の情報が出力されます。

工期入力

主たる工種を選択し、工期を入力してください

主たる工種(S): 建築工事

工種	敷地	工事名1	工事名2	当初	変1	変2	変3	変4	変5	変6	変7	変8	変9	変10
宮積工事	敷地1	建築工事	新宮工事	5.0										
		電気設備工事	新宮工事	5.0										
		機械設備工事	新宮工事	5.0										

監理事務所の有無(Q) 前払い金支出割合補正係数(M) 契約保証費有無(K)

外部ファイル計算テンプレート:xlsx

実行(E) キャンセル

工種	敷地	共通仮設費の区分1	共通仮設費の区分2	共通仮設費の区分3	当初
宮積	1	建築工事	新宮工事		0.0
宮積	1	建築工事	改修工事		0.0
宮積	1	電気設備工事	新宮工事		0.0
宮積	1	電気設備工事	改修工事		0.0
宮積	1	機械設備工事	新宮工事		0.0
宮積	1	機械設備工事	改修工事		0.0
宮積	1	昇降機設備工事	昇降機設備工事		0.0



当初
5.0
0.0
5.0
0.0
5.0
0.0
0.0
0.0

「補正」シート

契約1回

監理事務所	1.00	認める	← 建築工事のみ
前払い金支出割合	1.00		
契約保証	0.00		

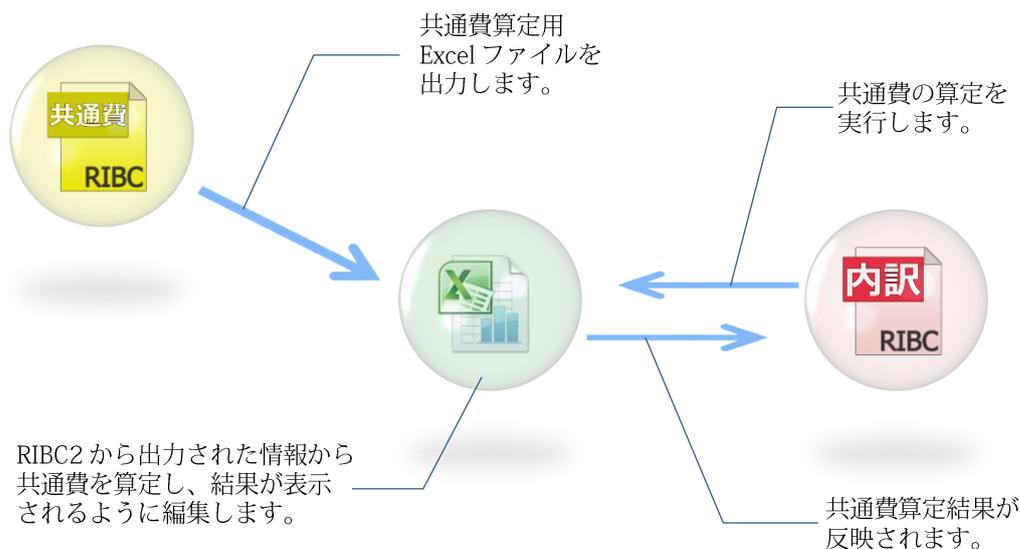
監理事務所を設けない場合の補正

共通仮設費率の補正率	0.90	← ユーザー設定
------------	------	----------

工期出力画面（下段）情報出力用のシートが出力されます。

共通費の算定時に、工期入力画面（下段）の情報が出力されます。

・独自計算ファイルによる共通費算定の作業例



バックアップ

Alt + 0 + B

▶ フォルダの内容表示

Alt+0+B+V

内訳書作成システムのオプションメニューで設定したバックアップフォルダが表示されます。

▶ フォルダのクリア

Alt+0+B+C

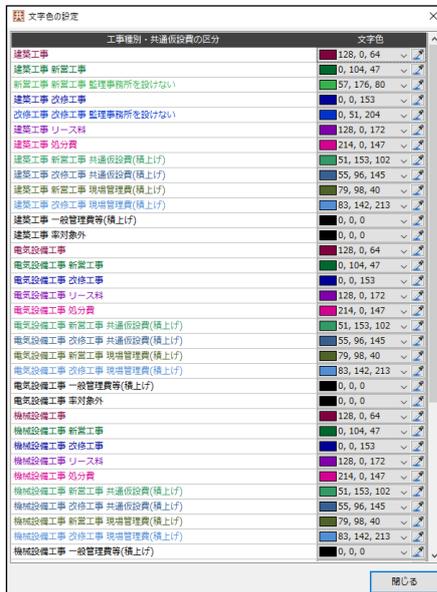
バックアップフォルダ内の共通費情報ファイルを削除します。

文字色の設定



Alt + 0 + C

内訳 内訳書ファイルの工事種別の区分や、共通仮設費の区分、積み上げの区分で表示される名称の文字色を変更します。



名称	数量	単位	金額	備考	費地	更新日	共通仮設費の区分 (初期値)
建築工事							
行	寄						
	1	式	194,129,704	001	費地!	18/01/10	建築工事 新築工事
計			194,129,704				
電気設備工事							
行	寄						
	1	式	11,444,190	001	費地!	18/10/24	電気設備工事 新築工事
計			11,444,190				
機械設備工事							
行	寄						
	1	式	27,519,810	001	費地!	18/10/24	機械設備工事 新築工事
計			27,519,810				

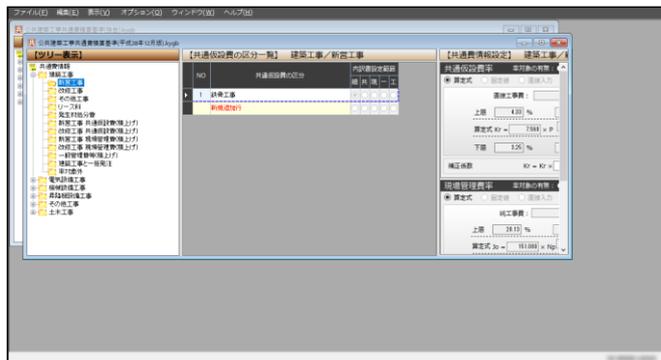
[ウィンドウ(W)]メニュー

重ねて表示



Alt + W + C

複数のファイルを重ねて表示します。

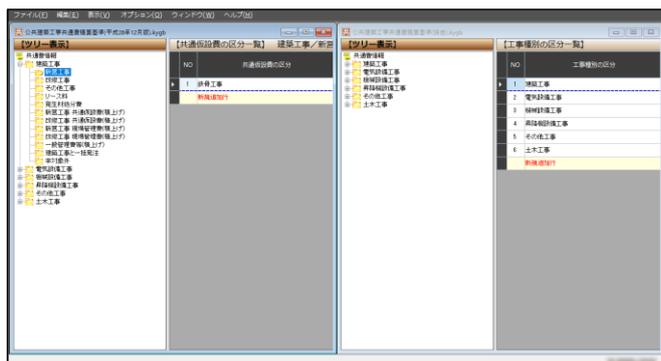


左右に並べて表示



Alt + W + V

複数のファイルを左右に並べて表示します。



上下に並べて表示



Alt + W + H

複数のファイルを上下に並べて表示します。



[ヘルプ(H)]メニュー

ホームページ



Alt + H + H

■ コスト研ホームページ URL

<https://www.ribc.or.jp/>

リファレンスマニュアル



Alt + H + M

表示しているファイルに関するリファレンスマニュアルが表示されます。

バージョン情報



Alt + H + V



VI. 単価登録

目次

VI. 単価登録

VI-1. 画面説明

列見出し	VI-3
計算区分	VI-4

VI-2. 機能説明

[ファイル(F)]メニュー	VI-5
新規作成	VI-5
開く	VI-5
閉じる	VI-5
上書き保存	VI-5
名前を付けて保存	VI-5
ファイルプロパティ	VI-6
端数処理	VI-6
セキュリティ	VI-6
印刷	VI-7
印刷プレビュー(表紙・目次・マトリクス表)	VI-9
単価登録システムの終了	VI-9
[編集(E)]メニュー	VI-10
切り取り	VI-10
コピー	VI-10
貼り付け	VI-10
行を挿入	VI-10
削除	VI-10
選択行の内容をクリア	VI-10
一括クリア	VI-11
すべて選択	VI-11
検索	VI-11
マトリクス表の表紙・裏表紙を編集	VI-11
[表示(V)]メニュー	VI-12
ファイル一覧	VI-12
ツリー表示	VI-12
画面分割/解除	VI-13
ツールバー	VI-13
最新の情報に更新	VI-13
[データ(D)]メニュー	VI-14
前回単価データ読込	VI-14
率一括入力	VI-14
マトリクス書式設定	VI-14
名称選択	VI-14
[オプション(O)]メニュー	VI-15
システム設定	VI-15
[ウィンドウ(W)]メニュー	VI-16

重ねて表示.....	VI-16
上下に並べて表示.....	VI-16
左右に並べて表示.....	VI-16
[ヘルプ(H)]メニュー.....	VI-17
お問い合わせ先.....	VI-17
ホームページ.....	VI-17
官庁営繕関係統一基準・技術基準.....	VI-18
リファレンスマニュアル.....	VI-18
eラーニング.....	VI-18
起動パスワードを変更する場合(eラーニング).....	VI-18
パソコンの機種変更を行う場合(eラーニング).....	VI-19
ライセンスユーザー情報.....	VI-19
バージョン情報.....	VI-19
[ツール(T)]メニュー.....	VI-20
名称保守.....	VI-20
多地区単価印刷.....	VI-20

VII. 名称ファイル

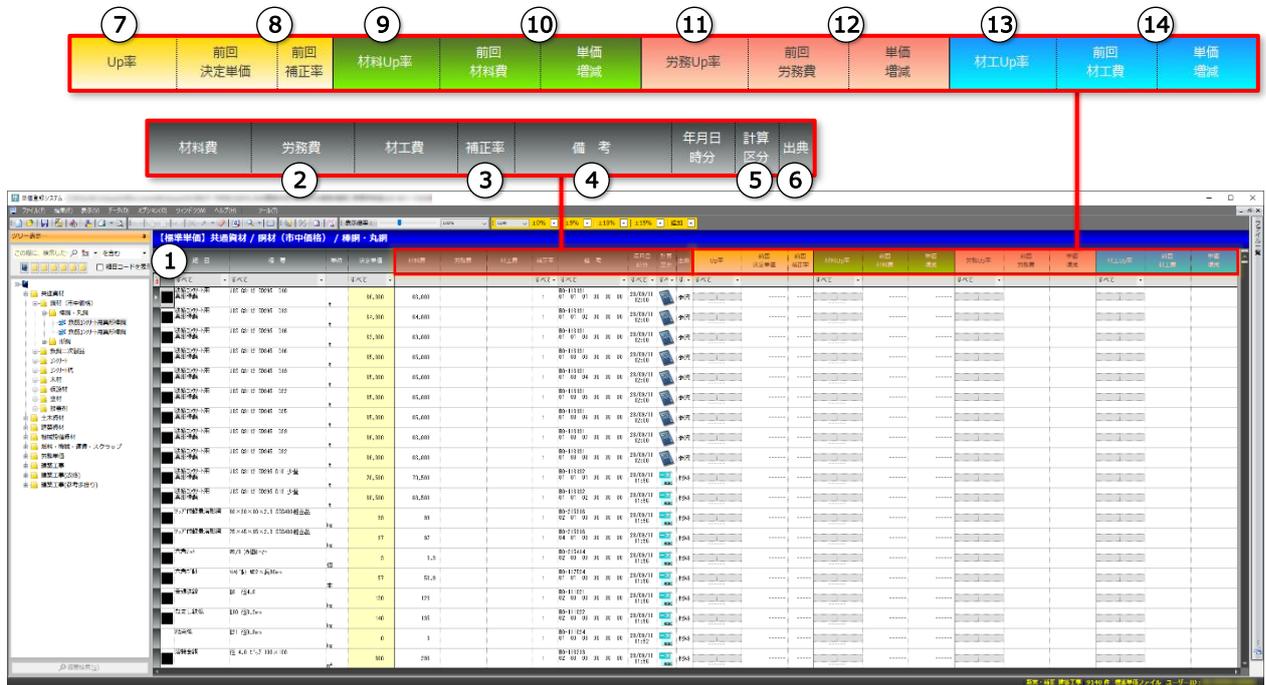
操作説明（eラーニング）

内訳書作成システムの操作説明は、下記のeラーニングを参照してください。

https://www.ribc.or.jp/ribc/ribc4_1.html



VI-1.画面説明



列見出し

単価登録画面の列見出しには、以下の項目が表示されます。

名 称	説 明
①	<p>細目列の左に ■アイコンが表示されている単価は、物価資料の掲載価格及び掲載価格等を用いて算定された複合単価等です。</p> <p>細目列の左に 🗑️アイコンが表示されていて、文字が青色で表示されている行は、マトリクス書式設定に「印刷不要」が設定されていることを示します。</p>
②	<p>材 料 費 決定単価の内訳を表示します。なお、単価によっては、空白で表示される欄があります。</p> <p>労 務 費</p> <p>材 工 費</p>
③	補 正 率 単価に割増しまたは低減を行う場合に入力します。
④	備 考 下段：メモ欄。
⑤	計 算 区 分 単価の出典根拠と状態を表示します。
⑥	出 典 計算根拠の歩掛り、または単価の種類を表示します。
⑦	前 回 U p 率 $(\text{決定単価} - \text{前回決定単価}) \div \text{決定単価}$ の計算結果を%で表示します。

名 称		説 明
⑧	前回決定単価	前回単価データ読込機能で読み込んだ標準単価ファイルの決定単価欄と補正率欄を表示します。
	前回補正率	
⑨	材 料 U p 率	単価増減 ÷ 材料費の計算結果を%で表示します。
⑩	前回材料費	前回単価データ読込機能で読み込んだ標準単価ファイルの材料費欄を表示し、合わせて増減値を表示します。
	単 価 増 減	
⑪	労 務 U p 率	単価増減 ÷ 労務費の計算結果を%で表示します。
⑫	前回労務費	前回単価データ読込機能で読み込んだ標準単価ファイルの労務費欄を表示し、合わせて増減値を表示します。
	単 価 増 減	
⑬	材 工 U p 率	単価増減 ÷ 材工費の計算結果を%で表示します。
⑭	前回材工費	前回単価データ読込機能で読み込んだ標準単価ファイルの材工費欄を表示し、合わせて増減値を表示します。
	単 価 増 減	

計算区分

	未計算	単価計算が正常に行われなかった単価。
	計算	単価計算が正常に行われた単価。
	一次単価	一次単価ファイルから転記された単価。
	キーボード	材料費、労務費、材工費欄のいずれかを手入力した単価。

VI-2.機能説明

[ファイル(F)]メニュー

新規作成



Ctrl + N
Alt + F + N

 標準単価ファイルを新規作成します。



開く



Ctrl + O
Alt + F + O

 標準単価ファイルを開きます。

※ 利用期限が過ぎた  標準単価ファイルは開くことができません。

閉じる



Ctrl + W
Alt + F + C

 標準単価ファイルを閉じます。

上書き保存



Ctrl + S
Alt + F + S

 標準単価ファイルを上書き保存します。

名前を付けて保存

F12
Alt + F + A

 標準単価ファイルに名前を付けて保存します。

ファイルプロパティ



Ctrl + B
Alt + F + B

 標準単価ファイルの情報を表示します。

必要に応じ [タイトル] ボックスと [サブタイトル] ボックスに入力します。

タイトルボックスは印刷リストのヘッダー部分やツリー画面のルート部分に表示されます。

端数処理



Alt + F + H

 標準単価ファイル毎に以下の設定を行います。

- ・ 補正率欄に 1.0 以外の値を入力した場合の決定単価欄の丸め処理。
 - ※ 端数処理のデフォルト設定は、「公共建築工事積算基準等資料」および「工事費積算における数値の取扱い (例) (国土交通省作成)」に準じています。

セキュリティ



Alt + F + E

セキュリティ設定の情報は個々のデータファイルに登録され、当該のデータファイルを作成したユーザーに限って設定を変更することができます。

※ 公開情報の設定を変更できるファイルを受領した場合を除きます。

セキュリティの設定は以下のいずれかを選択することができます。

- ・ **すべて** 提供先でもすべてのデータが表示されます。
- ・ **0円クリア後マスク表示** 単価登録システムでは、ファイルを開く際、決定単価欄等の単価を0円クリアします。内訳書作成システムでは、内訳書に単価を登録する際、単価欄を0円クリアした後、さらにマスク(****)表示します。

セキュリティ設定は、提供先によって、異なる設定にすることができます。

また、提供先の公共機関や設計・積算事務所のユーザーIDが分かっている場合は、個々の団体ごとに異なる設定を登録することもできます。

※ 提供先のユーザー名をすべて削除すると、他のユーザーではファイルが開けなくなります。

印刷



Alt + F + P

※ 利用期限が過ぎた標準単価ファイルは、使用することができません。

▶ 表紙・目次・マトリクス表

Alt+F+P+F

表紙・裏表紙・目次・マトリクス表を同時に印刷することができます。

また、目次・マトリクス表には、透かし文字を印字することができます。

印刷書式設定

範囲指定: すべて 選択した範囲 開始ページ番号: 1 ページから

透かし文字を出力する

表紙

裏表紙

目次 目次スタイル: 書式1 書式2 奇数で終わる場合、目次の最後に白紙を含める

マトリクス表

マトリクス表スタイル

マトリクス表

経年比較表

前期決定単価(上段) / 決定単価(下段) UP率(上段) / 決定単価(下段)

会抜きマトリクス表(決定単価を*****(マスク))

公表マトリクス表(非公表部分の決定単価を墨塗り)

物価資料の掲載価格及び掲載価格を用いて算定された複合単価等の決定単価を墨塗り

指定した決定単価を墨塗り

墨塗り決定単価指定ファイル

出力 設定

○ファイル名: (未設定)

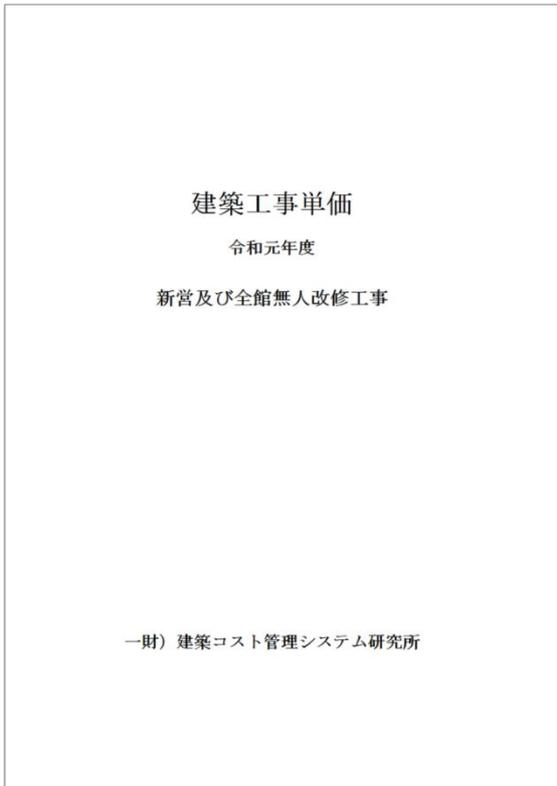
○シート名: (未設定)

マトリクス表オプション

歩掛り区分 ページ抜き 印刷スタイル設定... スタイル設定なし

PDF出力 印刷 キャンセル(C)

表紙 (例)



目次 (透かし文字入り)

XXXX	
共通資料/仮材料(2014.10.1)	
電算集約	80-011251 1
通算工事/仮税/仮消費税/仮引当、仮納税額、準備	
仮引当	80-011412 1
仮納税額	80-011411 1
通算工事/仮税/仮納税額/仮引当	
電気設備	80-011310 1
電気設備(標準)先行方式	80-011310 2
電気設備	80-011312 2
電気設備	80-011313 2
電気設備	80-011314 2
電気設備(標準)先行方式	80-011310 3
電気設備	80-011312 3
電気設備	80-011313 3
電気設備	80-011314 3
内装仕上設備	80-011320 3
内装仕上設備(標準)先行方式	80-011320 4
内装仕上設備	80-011321 4
内装仕上設備(標準)先行方式	80-011321 5
内装仕上設備	80-011322 5
内装仕上設備	80-011341 7
内装仕上設備	80-011342 8
通算工事/仮税/仮納税額/仮引当・標準仕建費	
金網張	80-011350 8
金網張(大規模)	80-011350 9
金網張(標準)	80-011351 9
金網張(標準)先行方式	80-011351 9
金網張	80-011352 9
金網張(標準)先行方式	80-011352 9
金網張	80-011353 9
金網張(標準)先行方式	80-011353 9
金網張	80-011354 9
金網張(標準)先行方式	80-011354 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011370 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011371 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011372 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011373 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011374 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011375 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011376 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011377 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011378 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011379 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011380 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011381 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011382 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011383 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011384 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011385 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011386 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011387 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011388 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011389 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011390 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011391 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011392 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011393 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011394 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011395 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011396 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011397 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011398 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011399 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011400 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011401 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011402 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011403 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011404 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011405 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011406 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011407 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011408 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011409 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011410 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011411 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011412 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011413 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011414 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011415 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011416 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011417 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011418 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011419 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011420 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011421 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011422 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011423 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011424 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011425 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011426 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011427 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011428 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011429 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011430 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011431 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011432 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011433 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011434 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011435 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011436 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011437 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011438 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011439 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011440 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011441 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011442 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011443 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011444 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011445 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011446 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011447 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011448 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011449 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011450 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011451 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011452 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011453 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011454 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011455 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011456 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011457 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011458 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011459 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011460 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011461 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011462 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011463 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011464 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011465 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011466 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011467 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011468 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011469 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011470 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011471 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011472 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011473 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011474 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011475 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011476 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011477 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011478 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011479 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011480 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011481 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011482 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011483 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011484 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011485 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011486 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011487 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011488 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011489 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011490 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011491 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011492 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011493 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011494 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011495 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011496 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011497 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011498 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011499 9
通算工事/仮税/仮納税額	80-011500 9

VI. 単価登録

VI-2. 機能説明

マトリクス表

XXXX					
共通資材／仮設材／ネット・シート					
種目	摘要	単位	単価	備考	
電甲塗網	供用1日積料	㎡	0.43	合成 B0-011251	
建築工事／仮設／共通仮設／仮囲い・仮設鉄板・運搬					
仮囲い 補工 B0-191412					

経年比較表

- ・ 前回決定単価（上段）／決定単価（下段）

XXXX					
共通資材／仮設材／ネット・シート					
種目	摘要	単位	単価	備考	
電甲塗網	供用1日積料	㎡	0.43 0.43	合成 B0-011251	
建築工事／仮設／共通仮設／仮囲い・仮設鉄板・運搬					
仮囲い 補工 B0-191412					

- ・ UP率（上段）／決定単価（下段）

XXXX					
共通資材／仮設材／ネット・シート					
種目	摘要	単位	単価	備考	
電甲塗網	供用1日積料	㎡	0.0% 0.43	合成 B0-011251	
建築工事／仮設／共通仮設／仮囲い・仮設鉄板・運搬					
仮囲い 補工 B0-191412					

金抜きマトリクス表

XXXX					
共通資材／仮設材／ネット・シート					
種目	摘要	単位	単価	備考	
電甲塗網	供用1日積料	㎡	*****	合成 B0-011251	
建築工事／仮設／共通仮設／仮囲い・仮設鉄板・運搬					
仮囲い 補工 B0-191412					

公表マトリクス表

物価資料の掲載価格及び掲載価格等を用いて算定された複合単価等の決定単価を墨塗りで印刷します。
細目列の左に■が表示されている決定単価が対象になります。

XXXX				
共通資材/仮設材/ネット・シート				
種目	摘要	単位	単価	備考
亀甲金網	供用1日積料	m	0.43	合帳 B0-011251
建築工事/仮設/共通仮設/仮囲い・仮設鉄板・運搬				
仮囲い				
			m	施工 B0-131412
供用1日積料 修理費含む	仮囲鉄板	H=2.0m t=1.2mm w=500	-	■
		H=3.0m t=1.2mm w=500	-	■
基本料 修理費含む	仮囲鉄板	H=2.0m t=1.2mm w=500	-	■
		H=3.0m t=1.2mm w=500	-	■

▶ 経年比較・ツリーリスト

Alt+F+P+P

経年比較、ツリーリストを印刷します。

経年比較 単価登録画面の様式で [前回単価] [今回単価] [Up 率] を3段で表示します。
前回単価が登録されていない項目は [-----] で印字します。

操作マニュアル										標準単価経年比較	
建築工事/仮設/共通仮設/仮囲い・仮設鉄板・運搬											
細目	摘要	単位	決定単価	材料費	労務費	材工費	補正率	備考			
仮囲い	設置費 H=2.0m	仮囲鉄板	3,680	0	3,062.8	0	1.2	B0-131412			
		m	3,560	0	2,964	0	1.2	01 01 01 00 00 00			
			-3,26%	0.00%	+16.13%	0.00%					
仮囲い	設置費 H=3.0m	仮囲鉄板	4,640	0	3,868.8	0	1.2	B0-131412			
		m	4,490	0	3,744	0	1.2	01 01 02 00 00 00			
			-3.23%	0.00%	+16.13%	0.00%					
仮囲い	撤去費 H=2.0m	仮囲鉄板	1,980	0	1,649.2	0	1.2	B0-131412			
		m	1,920	0	1,596	0	1.2	02 01 01 00 00 00			
			-3.03%	0.00%	+16.13%	0.00%					
仮囲い	撤去費 H=3.0m	仮囲鉄板	2,500	0	2,083.2	0	1.2	B0-131412			
		m	2,420	0	2,016	0	1.2	02 01 02 00 00 00			
			-3.20%	0.00%	+16.13%	0.00%					

ツリーリスト [ツリー表示] 見出し画面を印刷します。

標準単価ツリーリスト	
共通資材	
仮設材	
ネット・シート	
仮囲い	B0-131412
亀甲金網	B0-011251
建築工事	
仮設	
共通仮設	
仮囲い・仮設鉄板・運搬	
仮囲い運搬	B0-131414
仮設鉄板敷	B0-131431
仮設敷鉄板運搬	B0-131697

印刷プレビュー(表紙・目次・マトリクス表)



Alt + F + V

表紙・裏表紙・目次・マトリクス表の印刷イメージを画面に表示します。

単価登録システムの終了



Alt + F + X

単価登録システムを終了します。

[編集(E)]メニュー

切り取り



Ctrl + X
Alt + E + T

選択した行を切り取ります。

例：切り取り&行挿入で、切り取った行を別の  標準単価ファイルに挿入する時に使用します。

コピー



Ctrl + C
Alt + E + C

セルまたは選択した行をコピーします。

例：コピー&行挿入で、コピーした行を別の  標準単価ファイルに挿入する時に使用します。

貼り付け



Ctrl + V
Alt + E + P

コピーしたセルの値を、別のセルに貼り付けます。

※ 貼り付けできるセル：材料費、労務費、材工費、補正率、備考

行を挿入



Alt + E + I

別の  標準単価ファイルでコピーまたは切り取りをおこなった行を挿入します。

削除



Del
Alt + E + D

 標準単価ファイルの行を削除します。

選択行の内容をクリア



Alt + E + R

選択した行の備考欄、材料費欄、労務費欄、材工費欄をクリアします。

▶ 備考欄	Alt+E+R+0
▶ 材料費欄	Alt+E+R+1
▶ 労務費欄	Alt+E+R+2
▶ 材工費欄	Alt+E+R+3

一括クリア



Alt + E + N

ファイル内の単価欄を一括操作でゼロクリアします。

すべて選択

Ctrl + A
Alt + E + A

すべての行を選択します。

検索



Alt + E + F

▶ 摘要名称検索



Alt+E+F+T

選択した単価行と細目名称が一致する、他の摘要名称の単価行を検索します。

マトリクス表の表紙・裏表紙を編集



Alt + F + M

マトリクス表に出力する表紙と裏表紙を編集します。

[表示(V)]メニュー

ファイル一覧



Alt + V + F

現在開いているファイル一覧を表示します。

- | | |
|---------------|-----------|
| ▶ 右側にタブ表示 | Alt+V+F+R |
| ▶ 左側にタブ表示 | Alt+V+F+L |
| ▶ 右側にファイル一覧表示 | Alt+V+F+E |
| ▶ 左側にファイル一覧表示 | Alt+V+F+W |

ツリー表示



Alt + V + T

単価の名称をフォルダに分類して階層表示します。

- | | |
|--------------------------|-----------|
| ▶ 右側にタブ表示 | Alt+V+T+R |
| ▶ 左側にタブ表示 | Alt+V+T+L |
| ▶ 右側にツリー表示 | Alt+V+T+E |
| ▶ 左側にツリー表示 | Alt+V+T+W |
| ▶ ファイルを左右に並べて表示している時は非表示 | Alt+V+T+J |

画面分割／解除



Alt + V + V

ファイル内の離れた部分を上下に分割表示させることができます。

▶ 画面分割

Alt+V+V+P

▶ 画面分割解除

Alt+V+V+D

ツールバー



Alt + V + B

▶ ファイル

Alt+V+B+F



▶ 編集

Alt+V+B+E



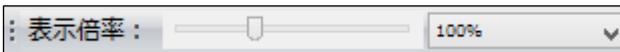
▶ データ

Alt+V+B+D



▶ 表示倍率

Alt+V+B+Z



▶ Up 率

Alt+V+B+R



最新の情報に更新



F5

Alt + V + R

 標準単価ファイルと  名称ファイルを同時に編集している時に、

 名称ファイルで編集した名称・摘要・単位等の最新の情報を、単価登録画面に反映します。

※  標準単価ファイルを一度閉じて、システムを再起動する方法でも  名称ファイルの最新の情報を、単価登録画面に反映させることができます。

[データ(D)]メニュー

前回単価データ読込



Alt + D + T

前回の計算で作成した  標準単価ファイルから、単価コードが一致した単価を読み込みます。処理が終了すると、[前回 Up 率] ～ [単価増減]（背景色が黄・緑・赤・青）の各欄を更新します。前回単価ファイルに単価が登録されていなかった行は、[前回 Up 率] 欄～ [単価増減] 欄の率や単価に [-----] を表示します。

率一括入力



Alt + D + R

任意の複数行を指定して、補正率欄を一括入力します。

マトリクス書式設定



Alt + D + F

マトリクス表の書式設定は、細目名称毎に次の操作を行うことができます。

- ・ 摘要名称の配列（縦と横）を指定できます。
- ・ 当該細目の単価欄や備考欄の印刷を省略する／しないの設定ができます。

※ ただし、複数の名称を一括して設定することはできません。

名称選択



Ctrl + W

Alt + D + W

 名称ファイルに登録済みの細目名称と摘要を選択して、 標準単価ファイルに行を登録し、材料費欄や労務費欄、材工費欄に単価を手入力します。

[オプション(O)]メニュー

システム設定

Ctrl + M
Alt + O + S

システム設定画面には、新規に作成するファイルの初期値や、既存のファイルを開いたときの動作などを設定することができます。

1. 初期設定

a. 既定のファイルの場所



標準単価ファイルの保存先フォルダをパソコンに記憶させることができます。

※ 選択したフォルダを消去して [未設定] に戻すときは、既定のファイルの場所ボックスの文字列を削除します。

b. バックアップファイルを作成する

単価登録システムで参照するファイルのバックアップファイルを作成することができます。

[バックアップファイルを作成する] を選択すると、ファイルを保存したときに自動的にバックアップファイルが作成されます。

2. システムファイル

a. システムファイル参照フォルダ

Windows のネットワークを使って、システムファイルを複数のパソコンで共有することができます。共有できる情報は以下のとおりです。

- ・公開情報設定
- ・端数処理設定

3. 端数処理（初期値）

標準単価ファイルの端数処理のシステム設定値を確認したり、編集したりすることができます。

※ 端数処理のデフォルト設定は、「公共建築工事積算基準等資料」および「工事費積算における数値の取扱い（例）（国土交通省作成）」に準じています。

[ウィンドウ(W)]メニュー

重ねて表示



Alt + W + C

複数のファイルを重ねて表示します。

上下に並べて表示



Alt + W + V

複数のファイルを上下に並べて表示します。

左右に並べて表示



Alt + W + H

複数のファイルを左右に並べて表示します。

[ヘルプ(H)]メニュー

お問い合わせ先



Alt + H + C

■ ヘルプデスク (システムの内容、操作方法についてのお問い合わせ)

9:00～12:00 および 13:00～17:30 (土日祝祭日、指定の休業日を除く)

TEL 03-5425-2518

E-Mail ribchelp@ribc.or.jp

一般財団法人 建築コスト管理システム研究所 技術専門員

■ 契約窓口 (お申込み、契約等についてのお問い合わせ)

9:00～12:00 および 13:00～17:30 (土日祝祭日、指定の休業日を除く)

- ・ 都道府県、政令指定都市、国土交通省 (協議会ユーザー)

TEL 03-6453-0857

- ・ その他の公共発注機関 (公共機関ユーザー)

TEL 03-3434-3715

- ・ 設計・積算事務所等 (一般ユーザー)

TEL 03-3434-3290

一般財団法人 建築コスト管理システム研究所 システム部

ホームページ



Alt + H + H

■ コスト研ホームページ URL

<https://www.ribc.or.jp/>

官庁営繕関係統一基準・技術基準



Alt + H + P

国の統一基準類を閲覧できるページが表示されます。

官庁営繕関係統一基準		PDF	Web
公共建築工事精算基準(平成28年12月版)	第1編 総則 (表2-1-1 建築工事 表2-1-2 電気設備工事 表2-1-3 機械設備工事)	PDF	Web
公共建築工事標準単価精算基準(平成31年版)	第2編 建築工事 第3編 電気設備工事 第4編 機械設備工事 第5編 昇降機設備工事	PDF	Web
公共建築数量精算基準(平成29年版)		PDF	Web
公共建築設備数量精算基準(平成29年版)	第1編 総則 第2編 共通事項 第3編 電気設備工事 第4編 機械設備工事	PDF	Web
公共建築工事共通費精算基準(平成28年12月版)		PDF	Web
公共建築工事内訳書標準書式	公共建築工事内訳書標準書式 建築工事編(平成30年版) 3-1 建築工事内訳書標準書式 3-2 建築改修工事内訳書標準書式 公共建築工事内訳書標準書式 設備工事編(平成30年版) (1)電気設備工事内訳書標準書式 (2)機械設備工事内訳書標準書式 (3)昇降機設備工事内訳書標準書式	PDF	Web
公共建築工事見積標準書式	公共建築工事見積標準書式 建築工事編(平成30年版) 公共建築工事見積標準書式 設備工事編(平成30年版) 第3章 電気設備工事 第4章 機械設備工事	PDF	Web
公共建築工事標準仕様書	公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成31年版 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)平成31年版 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)平成31年版	PDF	Web
公共建築改修工事標準仕様書	公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成31年版 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)平成31年版 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)平成31年版	PDF	Web
公共建築設備工事標準準則	公共建築設備工事標準準則(電気設備工事編)平成31年版 公共建築設備工事標準準則(機械設備工事編)平成31年版	PDF	Web
官庁営繕の技術基準	建築工事標準仕様書(5) 建築工事標準仕様書(1/2)	PDF	

リファレンスマニュアル



Alt + H + M

表示しているファイルに関するリファレンスマニュアルが表示されます。

eラーニング



Alt + H + L

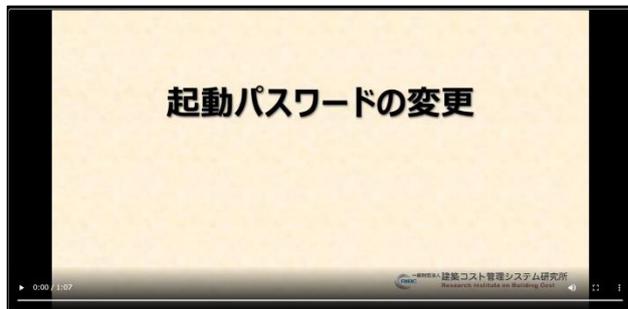
■ コスト研ホームページ (eラーニング) URL

https://www.ribc.or.jp/ribc/ribc4_1.html

起動パスワードを変更する場合(eラーニング)

Alt + H + X

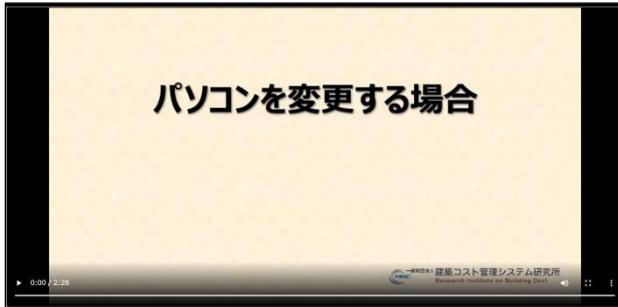
起動パスワードを変更する場合の操作方法を確認できる動画が表示されます。



パソコンの機種変更を行う場合(e ラーニング)

Alt + H + Y

パソコンの機種変更を行う場合の操作方法が確認できる動画が表示されます。



ライセンスユーザー情報



Alt + H + U

ライセンス認証のユーザー情報を確認できます。

担当者氏名:	<input type="text"/>		
電話番号:	<input type="text"/>	内線番号:	<input type="text"/>
E-MAIL:	<input type="text"/>		

バージョン情報



Alt + H + A



[ツール(T)]メニュー

名称保守



Alt + T + M

名称ファイルを編集する画面が表示されます。

多地区単価印刷



Alt + T + T

多地区単価の印刷を実行すると、最大 10 地区の項目を一頁に並べて印刷することができます。

※ 利用期限が過ぎた 標準単価ファイルは、使用することができません。

多地区設定

ファイル種別選択
 標準単価 一次単価

多地区印刷を行うファイル名を設定し、地区名を入力してください。

1	北海道	C:\RIBC20\ATAW標準単価\#建設工事標準単価(北海道地区).kfb	参照	クリア
2	東北	C:\RIBC20\ATAW標準単価\#建設工事標準単価(東北地区).kfb	参照	クリア
3	関東	C:\RIBC20\ATAW標準単価\#建設工事標準単価(関東地区).kfb	参照	クリア
4	北陸	C:\RIBC20\ATAW標準単価\#建設工事標準単価(北陸地区).kfb	参照	クリア
5	中部	C:\RIBC20\ATAW標準単価\#建設工事標準単価(中部地区).kfb	参照	クリア
6	近畿	C:\RIBC20\ATAW標準単価\#建設工事標準単価(近畿地区).kfb	参照	クリア
7	中国	C:\RIBC20\ATAW標準単価\#建設工事標準単価(中国地区).kfb	参照	クリア
8	四国	C:\RIBC20\ATAW標準単価\#建設工事標準単価(四国地区).kfb	参照	クリア
9	九州	C:\RIBC20\ATAW標準単価\#建設工事標準単価(九州地区).kfb	参照	クリア
10	沖縄	C:\RIBC20\ATAW標準単価\#建設工事標準単価(沖縄地区).kfb	参照	クリア

印刷物
 目次リスト 多地区単価表

印刷オプション
 通算 経年比較
 金額抜き ページ抜き 刊行物単価を含む単価を墨塗りする

印刷イメージ

建設工事・仮設・共通仮設・仮囲い・仮設鉄板・運搬														
組	目	種	単位	北海道	東北	関東	北陸	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	備考
仮囲い	供用1日資料 修理工費含む 仮面鉄板 #=2.0m t=1.2mm w=500	m		5	6	7	5	8	8	6	5	7	5	80-131412 04 01 01 01 00 00
仮囲い	供用1日資料 修理工費含む 仮面鉄板 #=3.0m t=1.2mm w=500	m		6	7	9	6	7	7	7	6	7	7	80-131412 04 01 02 01 00 00
仮囲い	基本料 修理工費含む 仮面鉄板 #=2.0m t=1.2mm w=500	m		280	280	280	270	280	280	270	270	280	280	80-131412 05 01 01 01 00 00
仮囲い	基本料 修理工費含む 仮面鉄板 #=3.0m t=1.2mm w=500	m		370	370	370	370	370	370	360	360	380	370	80-131412 05 01 02 01 00 00
仮設鉄板敷	供用1日資料 敷鉄板 1524×6096×22mm 3ヵ月以下	㎡		5	5	7	5	7	6	6	5	7	5	80-131431 04 01 01 05 00 00
仮設鉄板敷	供用1日資料 敷鉄板 1524×6096×22mm 6ヵ月以下	㎡		4	5	7	5	5	7	6	4	7	5	80-131431 04 01 01 01 00 00
仮設鉄板敷	供用1日資料 敷鉄板 1524×6096×22mm 12ヵ月以下	㎡		5	5	8	5	5	7	5	5	8	5	80-131431 04 01 01 02 00 00
仮設鉄板敷	供用1日資料 敷鉄板 1524×6096×22mm 24ヵ月以下	㎡		5	4	6	4	6	6	5	4	6	4	80-131431 04 01 01 03 00 00
仮設鉄板敷	控費表 敷鉄板 1524×6096×22mm	㎡		110	110	120	100	110	120	110	110	120	110	80-131431 05 01 01 00 00 00
建設工事・仮設・直接仮設・足場														
組	目	種	単位	北海道	東北	関東	北陸	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	備考
地足場	供用1日資料 修理工費含む	㎡		5	4	4	4	4	5	4	4	4	4	80-131516 05 00 00 00 00 00
地足場	基本料 修理工費含む	㎡		92	92	92	92	92	92	92	92	92	92	80-131516 06 00 00 00 00 00
枠組木足場 (手すり先行方式)	建材 600×1700 布材500×1枚 12ヵ月未満 供用1日資料 修理工費含む	㎡		8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	80-131519 02 03 05 02 01 01
枠組木足場 (手すり先行方式)	建材 600×1700 布材500×1枚 12ヵ月未満 基本料 修理工費含む	㎡		350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	80-131519 02 03 06 02 01 01
枠組木足場 (手すり先行方式)	建材 900×1700 布材500×240 12ヵ月未満 供用1日資料 修理工費含む	㎡		9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	80-131519 02 03 05 02 01 01
枠組木足場 (手すり先行方式)	建材 900×1700 布材500×240 12ヵ月未満 基本料 修理工費含む	㎡		9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	80-131519 02 03 05 03 01 01
枠組木足場 (手すり先行方式)	建材 900×1700 布材500×240 12ヵ月未満 供用1日資料 修理工費含む	㎡		9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	80-131519 02 03 05 04 01 01
枠組木足場 (手すり先行方式)	建材 900×1700 布材500×240 12ヵ月未満 基本料 修理工費含む	㎡		390	390	390	390	390	390	390	390	390	390	80-131519 03 06 06 02 01 01
枠組木足場 (手すり先行方式)	建材 900×1700 布材500×240 12ヵ月未満 基本料 修理工費含む	㎡		380	380	380	380	380	380	380	380	380	380	80-131519 03 06 06 03 01 01
枠組木足場 (手すり先行方式)	建材 900×1700 布材500×240 12ヵ月未満 基本料 修理工費含む	㎡		380	380	380	380	380	380	380	380	380	380	80-131519 03 06 06 04 01 01

VII.名称ファイル

目次

VI. 単価登録

VII. 名称ファイル

VII-1. 画面説明

列見出し.....	VII-3
-----------	-------

VII-2. 機能説明

[ファイル(F)]メニュー.....	VII-5
新規作成.....	VII-5
開く.....	VII-5
閉じる.....	VII-5
上書き保存.....	VII-5
名前を付けて保存.....	VII-5
ファイルプロパティ.....	VII-6
印刷.....	VII-6
名称保守の終了.....	VII-6
[編集(E)]メニュー.....	VII-7
細目分類登録.....	VII-7
細目名称登録.....	VII-7
切り取り.....	VII-7
コピー.....	VII-7
貼り付け.....	VII-8
行を挿入.....	VII-8
削除.....	VII-8
すべて選択.....	VII-8
摘要印刷位置（マトリクス）設定.....	VII-8
備考の編集.....	VII-8
単位選択.....	VII-8
[表示(V)]メニュー.....	VII-9
上位に戻る.....	VII-9
下位に進む.....	VII-9
画面分割／解除.....	VII-9
[データ(D)]メニュー.....	VII-10
名称ファイルのマージ.....	VII-10
細目－摘要順序更新.....	VII-10
[オプション(O)]メニュー.....	VII-11
システム設定.....	VII-11
[ウィンドウ(W)]メニュー.....	VII-12
重ねて表示.....	VII-12
上下に並べて表示.....	VII-12
左右に並べて表示.....	VII-12
[ヘルプ(H)]メニュー.....	VII-13
ホームページ.....	VII-13

リファレンスマニュアル.....	VII-13
eラーニング.....	VII-13
バージョン情報.....	VII-13

操作説明（eラーニング）

内訳書作成システムの操作説明は、下記のeラーニングを参照してください。

https://www.ribc.or.jp/ribc/ribc4_1.html

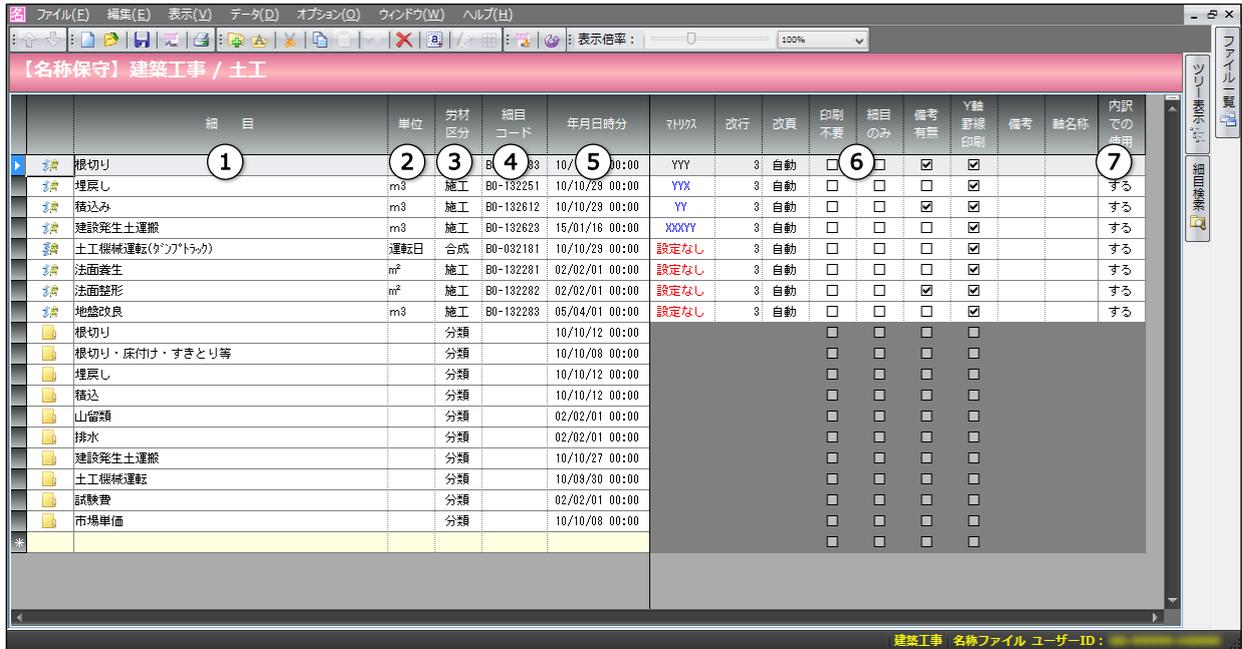


VII-1.画面説明

名称データは、細目分類→細目名称→摘要名称の階層で構成されています。

階層を切り替えるときは、名称をクリックし、[表示]メニューの[↑上位に戻る]または[↓下位に進む]をクリックします。

※細目分類はデータにより複数の階層（最大6階層）で構成されているものもあります。



列見出し

名称保守画面の列見出しには、以下の項目が表示されます。

名 称	説 明
① 細 目	細目分類または、細目名称が表示されます。 ※反転表示のアイコンはユーザーが作成した細目名称です。 細目分類 施工、 合成、 材工、 材料、 労務
② 単 位	細目名称が表示されているときに表示されます。
③ 労 材 工 分	分類、合成、材料、労務、施工、材工のいずれかが表示されます。
④ 細 目 コ ー ド	工事区分と独自区分、細目番号が表示されます。
⑤ 年 月 日 時 分	更新した日付と時間が表示されます。

名 称		説 明
⑥	マトリクス 軸 名 称	細目名称の行で表示されます。マトリクス表の設定が表示されます。 各欄ともクリックまたはダブルクリックで設定を変更することができます。 ※青文字の細目名称は、マトリクス表の設定で [印刷不要] が設定されています。
⑦	内訳での使用	[しない] 表示の名称は、内訳書作成システムの行挿入画面（標準単価ファイルからの単価を選択する画面）で当該名称の単価を表示しません。

VII-2.機能説明

[ファイル(F)]メニュー

新規作成



Ctrl + N
Alt + F + N

 名称ファイルを新規作成します。

開く



Ctrl + O
Alt + F + O

 名称ファイルを開きます。

閉じる



Ctrl + W
Alt + F + C

 名称ファイルを閉じます。

上書き保存



Ctrl + S
Alt + F + S

 名称ファイルを上書き保存します。

名前を付けて保存

F 12
Alt + F + A

 名称ファイルに名前を付けて保存します。

ファイルプロパティ



Ctrl + B
Alt + F + B

• ファイル情報

 名称ファイルの情報を表示します。

• ファイル構成

- 名称を作成する部署が複数ある場合、部署毎に独自区分 1～9 を割り当てると、細目コードの重複を防止することができます。
- 他に名称を作成する部署がないときは、独自区分 1 をクリックし、ユーザー名を入力します。

※番号の右側の欄は番号割り当ての根拠などをメモする場合などに利用できる欄で、ユーザー名や部署名を入力することができます。なお、入力しなくても単価計算は行うことができます。

• 細目発番方法

コード番号の発番方法を選択します。

- **自動発番** システムが空き番号の小さい値から順に設定します。
- **手動発番** 任意の番号を選択して細目名称を登録するときに選択します。

• 工種出典

 名称ファイルに保存されている「その他」の率または補正率の工種の出典根拠を表示します。

印刷



Ctrl + P
Alt + F + P

細目－摘要リスト、ツリーリストを印刷します。

- **細目－摘要リスト** 細目の名称と摘要を印刷します。
- **ツリーリスト** ツリー画面を印刷します。

名称保守の終了



Alt + F + X

名称保守を終了します。

[編集(E)]メニュー

細目分類登録



Alt + E + S

細目分類（空白行）を挿入します。

※コスト研から提供された細目分類の変更はできません。

細目名称登録



Alt + E + M

細目名称を挿入します。

- ・細目発番方法が「手動発番」の場合は、任意の細目コードを設定します。
- ・細目発番方法が「自動発番」の場合は、自動で細目コードが設定されます。

※細目コードが「B0」、「E0」、「M0」で始まる名称はコスト研から提供される名称となり、細目名称や摘要名称の変更はできません。

※コスト研から提供された細目名称に、摘要名称を追加することはできます。

- ・摘要グループ名の変更、追加はできません。
- ・コスト研から提供された摘要名称の変更はできません。

切り取り

Ctrl + X
Alt + E + T

選択した細目分類や細目名称を切り取ります。

例：切り取り&行挿入で、切り取った細目分類や細目名称を別の細目分類、または同じ細目分類に挿入する時に使用します。

※他の  名称ファイルから細目分類や細目名称を移動することはできません。

※細目分類や細目名称、摘要名称を移動すると、 名称ファイルを参照する  歩掛りファイル、 一次単価ファイル、 「その他」の率ファイル、 標準単価ファイル、 補正率ファイル、 計算情報ファイルも移動します。

コピー

Ctrl + C
Alt + E + C

選択した細目分類や細目名称をコピーします。

例1：コピー&行挿入で、コピーした細目分類や細目名称を別の細目分類、または同じ細目分類に挿入する時に使用します。

例2：コピー&行挿入で、コピーした細目分類や細目名称を他の  名称ファイルに挿入する時に使用します。

※他の  名称ファイルにコピーした細目名称には、新しい細目コードを設定します。

貼り付け



Ctrl + V
Alt + E + P

コピーしたセルの値を、別のセルに貼り付けます。

行を挿入



Alt + E + I

コピーまたは切り取りをおこなった行を挿入します。

削除



Del
Alt + E + D

選択した細目分類や細目名称を削除します。

※コスト研から提供された細目分類や細目名称の削除はできません。

すべて選択



Ctrl + A
Alt + E + A

すべての行を選択します。

摘要印刷位置(マトリクス)設定



Alt + E + F

マトリクス表の摘要グループの印刷書式を設定します。

横軸 (X) と縦軸 (Y) の組み合わせを設定します。

備考の編集



Alt + E + E

マトリクス表に出力される備考を編集します。

単位選択



Alt + E + Y

登録した細目名称の単位を選択します。

[表示(V)]メニュー

上位に戻る



Alt + V + U

階層を切り替えるときに使用します。

下位に進む



Alt + V + B

階層を切り替えるときに使用します。

画面分割／解除



Alt + V + V

ファイル内の離れた部分を上下に分割表示させることができます。

▶ 画面分割

Alt+V+V+P

▶ 画面分割解除

Alt+V+V+D

[データ(D)]メニュー

名称ファイルのマージ



Alt + D + M

現在使用している  名称ファイルに、コスト研から提供された新しい  名称ファイルのデータを追加します。

※同じ名称データがあった場合は、日付の新しい名称データが上書きされます。

※新規に追加される名称データは、既存の細目分類の最後に作成された日付の入った細目分類の中に登録されます。

※工種の情報は、現在使用している  名称ファイルと新しい  名称ファイルの更新日付を比較し、更新日付の新しい内容で置き換えをします。

細目一摘要順序更新



Alt + D + R

細目分類や細目名称の表示順序を更新します。

[オプション(O)]メニュー

システム設定



Ctrl + M
Alt + O + S

a. 既定のファイルの場所



名称ファイルの保存先フォルダをパソコンに記憶させることができます。

※選択したフォルダを消去して [未設定] に戻すときは、既定のファイルの場所ボックスの文字列を削除します。

b. バックアップファイルを作成する



名称ファイルのバックアップファイルを作成することができます。

[バックアップファイルを作成する] を選択すると、ファイルを保存したときに自動的にバックアップファイルが作成されます。

[ウィンドウ(W)]メニュー

重ねて表示



Alt + W + C

複数のファイルを重ねて表示します。

上下に並べて表示



Alt + W + V

複数のファイルを上下に並べて表示します。

左右に並べて表示



Alt + W + H

複数のファイルを左右に並べて表示します。

[ヘルプ(H)]メニュー

ホームページ



Alt + H + H

■ コスト研ホームページ URL

<https://www.ribc.or.jp/>

リファレンスマニュアル



Alt + H + M

名称保守に関するリファレンスマニュアルが表示されます。

eラーニング



Alt + H + E

■ コスト研ホームページ (eラーニング) URL

https://www.ribc.or.jp/ribc/ribc4_1.html

バージョン情報



Alt + H + A



